

令和5年度第1回 診療報酬調査専門組織・医療技術評価分科会  
議事次第

日時：令和5年11月20日（月）17時00分～

会場：オンライン開催

議 題

- 1 令和6年度診療報酬改定に向けた医療技術の評価について（案）
- 2 その他

# 診療報酬調査専門組織・医療技術評価分科会委員名簿

(五十音順)

氏名	所属・役職
青木 茂樹	順天堂大学 健康データサイエンス学部 学部長／ 医学研究科放射線診断学 主任教授
植木 浩二郎	国立国際医療研究センター研究所糖尿病研究センター長
大川 周治	明海大学歯学部機能保存回復学講座有床義歯補綴学分野 前教授
大屋敷 一馬	東京医科大学 名誉教授
荻野 均	医学研究所北野病院心臓血管外科特任部長
柏木 聖代	東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科 ヘルスサービスリサーチ看護学分野 教授
川畑 仁人	聖マリアンナ医科大学リウマチ・膠原病・アレルギー内科 主任教授
川村 雅文	帝京大学医学部長 外科学講座教授
小林 治	国立がん研究センター中央病院感染症部長
近藤 正英	筑波大学医学医療系 保健医療政策学・医療経済学分野 教授
○ 瀬戸 泰之	東京大学医学部消化管外科 教授
西 洋孝	東京医科大学 産科婦人科学分野 主任教授
沼部 幸博	日本歯科大学生命歯学部歯周病学講座教授
野口 暉夫	国立循環器病研究センター 副院長／心臓血管内科 部長
野崎 博之	川崎市立川崎病院 病院長／脳神経内科 部長
富士 幸蔵	昭和大学横浜市北部病院泌尿器科 教授
前原 健寿	東京医科歯科大学脳神経機能外科教授・診療科長
眞野 成康	東北大学病院教授・薬剤部長
◎ 森尾 友宏	東京医科歯科大学 執行役・副学長／同大学院 発生発達病態学分野 教授
矢富 裕	国際医療福祉大学大学院長

◎分科会長、○分科会長代理

## 診療報酬調査専門組織運営要綱

### (所掌事務)

第1条 診療報酬調査専門組織は、診療報酬体系の見直しに係る技術的課題に関し、次の各号に掲げる事項等について、専門的な調査及び検討を行う。

- 1 DPC導入の評価及び影響の検証等を含む入院医療並びに外来医療等の評価
- 2 医療機関のコスト
- 3 医療技術の評価
- 4 医療機関等の消費税負担
- 5 その他の技術的課題

### (組織)

第2条 診療報酬調査専門組織は、常時、診療報酬調査専門組織に参加し診療報酬体系の見直しに係る技術的課題に関し意見を述べる委員（以下「本委員」という。）100名以内及び本委員に対し、必要に応じ個々の技術的課題について参考となる意見を述べる委員（以下「専門委員」という。）90名以内により構成する。

2 本委員及び専門委員にはそれぞれ保険医療専門審査員をもって充てる。

### (分科会の設置等)

第3条 診療報酬調査専門組織には、診療報酬体系の見直しに係る技術的課題に関し、専門的な調査又は検討を行うため、第1条に定める事項について分科会を設置する。

2 分科会長は、その分科会を構成する本委員の中から互選により選出する。

3 分科会長は、分科会の事務を総理し、分科会を代表する。

4 分科会長に事故があるときは、その分科会を構成する委員のうち分科会長が指名する委員がその職務を代行する。

### (定足数)

第4条 分科会は、本委員の2分の1以上の出席がなければ会議を開き、意見の確認を行うことができない。ただし、第6条に規定する意見書の提出があった委員は出席したものとみなす。

### (専門委員の会議への参加)

第5条 専門委員は診療報酬体系の見直しに係る技術的課題に関し、分科会長又は本委員が必要と認めた場合に限り、会議に参加し、意見を述べることができる。

(欠席委員の意見提出)

第6条 本委員又は専門委員は、やむを得ない理由により出席できない場合は、当該議題について予め意見書を提出することができる。

(開催)

第7条 分科会は、必要に応じて開催するものとする。

(審議の公開)

第8条 分科会の審議は公開とする。ただし、分科会長が必要と認めるときは、審議を非公開とすることができる。

(庶務)

第9条 診療報酬調査専門組織の庶務は保険局医療課において処理する。

(補足)

第10条 この要綱に定めるもののほか、分科会の議事運営に必要な事項は分科会長が各分科会に諮って定める。

附 則

この要綱は平成15年7月1日から施行する。

附 則 (所掌事務の追加及び委員の増員の一部施行) この要綱は平成18年7月1日から施行する。

附 則 (組織の改編)

この要綱は平成23年10月1日から施行する。

附 則 (所掌事務の追加)

この要綱は平成24年6月1日から施行する。

附 則 (所掌事務の追加及び委員の増員の一部施行) この要綱は平成24年7月1日から施行する。

附 則 (所掌事務の変更) この要綱は平成30年5月23日から施行する。

附 則 (所掌事務の変更)

この要綱は令和4年3月23日から施行する。

## 令和6年度診療報酬改定に向けた医療技術の評価等について（案）

### 1. 現状について

- 令和6年度診療報酬改定に向けて、診療報酬における医療技術の適正な評価の観点から、医療技術評価分科会において、学会等から提出された医療技術評価・再評価提案書（以下「提案書」という。）に基づき、新規医療技術の評価及び既存技術の再評価（以下単に「評価」という。）に関する検討を行っている。
  
- 具体的には、本年2月から6月にかけて、学会等から合計858件（重複分を含めると863件）の提案書が厚生労働省に提出された。学会等からのヒアリングの内容と、今般医療技術評価分科会の下に設置したワーキンググループの意見を踏まえ、事務局において提案内容や重複提案の有無の確認を行ったうえで、「医療技術評価分科会における評価の対象となる技術（案）」を作成した。
  
- 一方、令和4年度診療報酬改定における中医協答申書附带意見も踏まえ、令和6年度診療報酬改定に向けては、関係学会からの提案とは別に、分科会において指定する以下の既存医療技術について、報告書の提出を求めることとなった。
  - A) 令和4年度診療報酬改定において対応する優先度の高いものとされたうち、提案書の「ガイドライン等での位置づけ」の欄において、「ガイドライン等で記載あり」とされた技術（計112件）
  - B) 平成28年度から令和4年度までの診療報酬改定において、レジストリの登録を要件として保険適用された技術（計35件）

### 2. 令和6年度診療報酬改定における対応について

#### （1）評価の対象等について

- 令和4年度診療報酬改定までの取扱い及び令和5年2月9日の医療技術評価分科会における検討を踏まえ、以下の取扱いとする。
  - ① 分科会に提案書が提出された医療技術について
    - ・ 評価の対象となる医療技術は、医科診療報酬点数表第2章特掲診療料第1部「医学管理等」から第13部「病理診断」、又は歯科診療報酬点数表第2章特掲診療料第1部「医学管理等」から第14部「病理診断」に該当する技術として評価されている又はされることが適当な医療技術であって、医療技術としてアウトカムが改善する等の有効性をデータで示すことができるものに限る。
    - ・ また、提案書が提出された医療技術の実施に当たり、薬事承認されていない医

薬品、医療機器又は体外診断薬を使用するものは、原則として分科会における評価の対象外とする。提案書が提出された後、令和5年8月末日までに承認が確認されたものについては、評価の対象となる。

- ② 先進医療として実施されている医療技術について
  - ・ 先進医療として実施されている医療技術についても、平成30年度診療報酬改定以降の取扱いと同様に、分科会における評価の対象とする。
- ③ 保険医療材料等専門組織において審議を行った医療技術について
  - ・ 保険医療材料等専門組織で審議された医療技術のうち医療技術評価分科会での審議が必要とされた医療技術について、分科会における評価の対象とする。
  - ・ 技術料に一体として包括して評価される医療機器についてのチャレンジ申請により、保険医療材料等専門組織において技術料の見直しを行うことが適当とされた医療技術についても、分科会における評価の対象とする。

## (2) 報告書について

- すべての対象技術から報告書の提出を受け、事務局において追加の質問やヒアリングを行ったところ。
- 報告書の分析結果から、「ガイドライン等で記載あり」とされた技術については、各々の医療技術において取組の状況・内容等が異なるなかで、臨床試験やレジストリ登録による取組も認められたところ。
- レジストリの登録が要件となっている医療技術については、症例数の不足等により解析が行われていない技術が51.4%であった。一方で、解析を終了し論文を上梓したものが14.3%であり、また一定程度症例が蓄積された技術においては、これまでの中間解析結果を論文として上梓している等の取組が行われていることが確認された。

## (3) 医療技術の体系的な分類について

- 令和4年度診療報酬改定において、DPCデータの検証を通じて、KコードとSTEM7の対応関係に係る一定の評価結果と課題が得られたことを踏まえ、厚生労働省行政推進調査事業「リアルワールドデータ（RWD）に基づく外科手術等の高度化・多様化する医療技術の評価及びRWDの活用に資する研究」において、以下のような方針で検討を進めることとなった。

- ① 体系化の対象とする術式の選択について
  - ・ 1つのKコードに対して、手術部位ごとにSTEM7が分類されている整形外科領域の

一部の術式について体系化が可能と考えられたことを踏まえ、整形外科領域の同様の術式についても検証を進めるとともに、関係団体等とも連携しつつ、令和6年度診療報酬改定において検証結果に基づくKコードの体系化を検討する。

② 評価方法の検討について

- ・ DPC データの麻酔時間を用いた現状の評価方法については一定の限界も存在することから、関係学会の保有するデータベースを補完的に利用する等、関係団体等とも連携しつつ、更なる評価方法について検討を進める。

**3. 令和6年度診療報酬改定に向けた医療技術評価等の進め方について（案）**

(1) 評価の対象等について

- 本日の分科会において、「医療技術評価分科会における評価の対象となる技術（案）」に基づき、各技術が分科会における評価の対象となるか否かについて検討することとする。

その結果、「医療技術評価分科会における評価の対象となる技術」とされたものについて、今後、分科会において評価を行うこととし、「医療技術評価分科会における評価の対象とならない技術」とされたものについては、評価を行わないこととする。

- なお、先進医療として実施されている技術については、先進医療会議の検討結果を踏まえて評価する必要があることから、提案書等の資料を先進医療会議に共有し、先進医療会議での評価に資するために必要な連携を確保することとする。

- 令和6年1月を目途に開催予定の分科会において結果をとりまとめ、その後中央社会保険医療協議会（中医協）へ報告し、中医協総会において最終的な検討を行う。

(2) 報告書について

- 「ガイドライン等で記載あり」とされた医療技術については、技術毎に取組の状況等が異なるところ、今後新規エビデンス等によりガイドライン上の位置づけの変更が行われた場合、学会から技術の見直しも含めた提案がなされることが予想される。

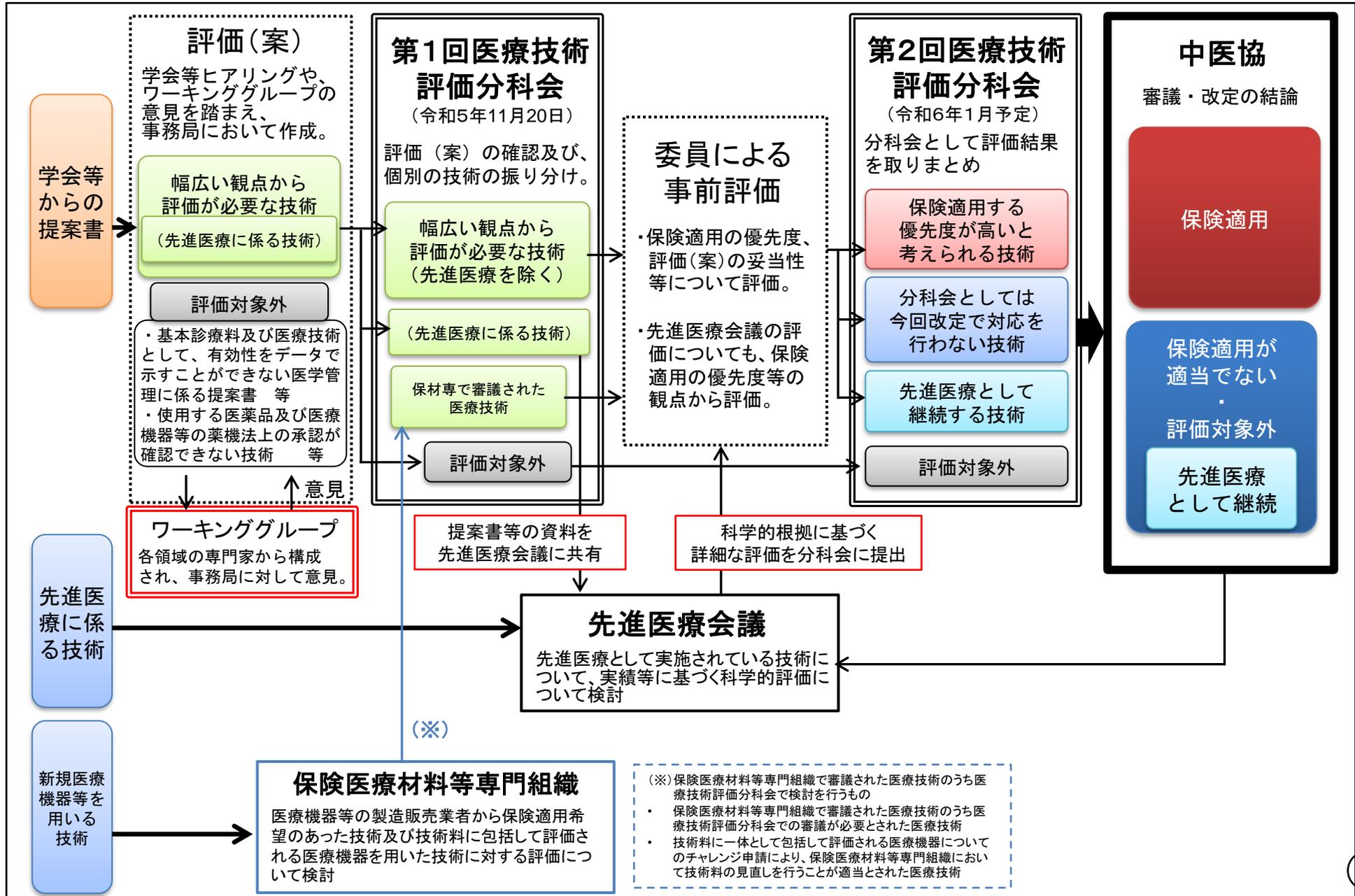
一方で、令和4年度中医協附帯意見も踏まえ、今後新たな医療技術が保険収載された場合には、学会等が収載後にどのような取組を行うかについて、医療技術評価分科会として把握を行うことが必要であり、令和6年度保険収載された医療技術のうち、「ガイドライン等で記載あり」とされた医療技術については、報告を求めることとする。

- レジストリ登録を要件とされた技術については、症例の登録数が少ない等の理由のため解析が行われていないものが一定認められており、症例の登録状況や解析結果も含めて、今後も改定毎の報告を求めることとする。

(3) 医療技術の体系的な分類について

- 研究班において、データの利活用の観点から、DPC データを用いて、Kコードと STEM 7との突合による研究を行っており、研究班から分科会に対して報告を受けることとし、それに基づいて検討を進めることとする。

# 医療技術評価分科会における評価の進め方（令和6年度診療報酬改定）



診調組 技-1-1参考2  
5 . 1 1 . 2 0

中医協 総-5  
5 . 2 . 1 5

中医協 診-1  
5 . 2 . 1 5

診調組 技-1  
5 . 2 . 9

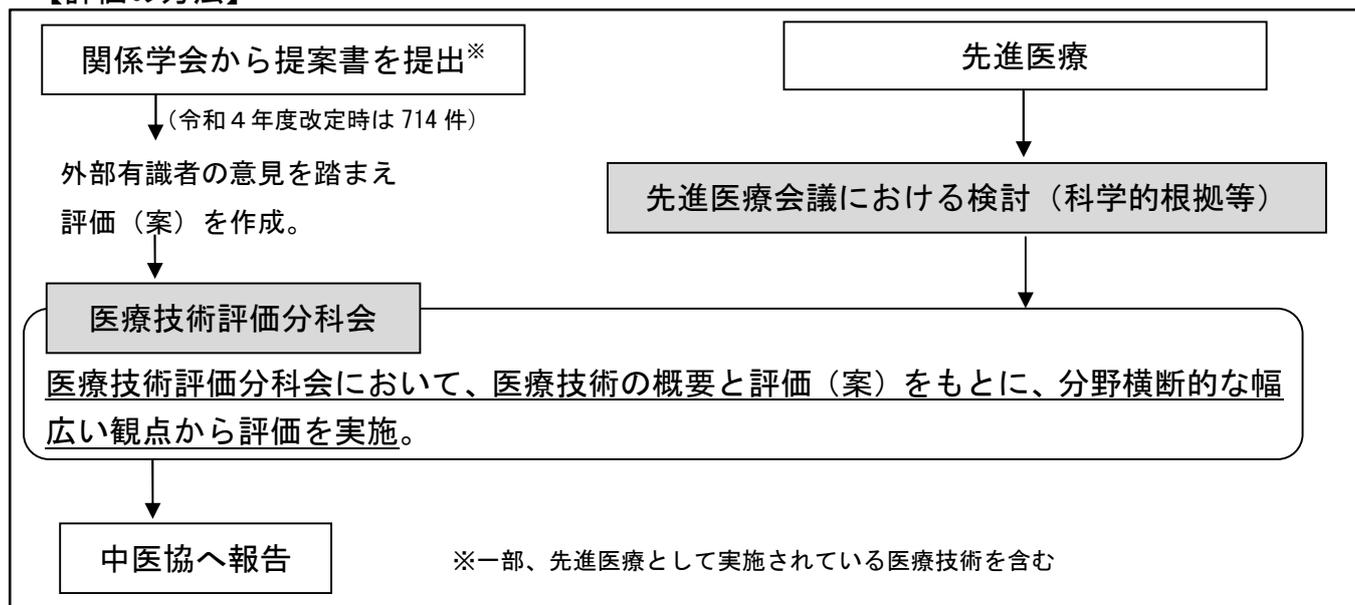
## 令和6年度診療報酬改定に向けた医療技術の評価方法等について（案）

### 1. 令和4年度診療報酬改定における対応

#### (1) 令和4年度診療報酬改定における評価の概要

- 新規医療技術の評価及び既存医療技術の再評価については、診療報酬改定毎に、学会等から提出された技術評価提案書を踏まえ、医療技術評価分科会（以下、「分科会」という。）において検討を進め、中央社会保険医療協議会（以下、「中医協」という。）総会へ報告を行ってきた。

#### 【評価の方法】



#### (2) 令和4年度診療報酬改定における主な論点

- 既存医療技術の再評価に係る令和4年度診療報酬改定における主な論点は以下のとおり。
  - ① 診療ガイドライン等に基づく医療技術の評価について
    - ・ 令和4年度診療報酬改定において、学会等が作成する「診療ガイドライン」等に基づく質の高い医療を進める観点から、提案書において、診療ガイドライン等における当該医療技術の位置づけ等を明記する欄を新設し、当該医療技術の評価の参考

とすることとした。

- ・ 以上の見直しのもと、令和4年度診療報酬改定において評価対象となる技術であって、診療報酬改定において対応する優先度の高いものとされたうち、提案書の「ガイドライン等での位置づけ」の欄において、「ガイドライン等で記載あり」とされたものは、113件（未掲載技術36件、既掲載77件）であった。
- ・ 提案書において「ガイドライン等での位置づけ」の記載を求めたことにより、提案のあった技術の診療ガイドライン等での位置づけを明確に把握することが可能となったことに加え、ガイドラインでの位置づけについて、分科会として、今後その変化等を把握することが可能となることが見込まれた。

## ② レジストリに登録され、実施された医療技術の評価について

- ・ 令和4年度診療報酬改定において、レジストリに登録することを要件として保険適用された医療技術については、レジストリへの登録状況及び当該医療技術の実績等について、関連学会等を主体として検証した上で、分科会への報告等を行うとともに、引き続き有効性・安全性等に係る評価を行うこととした。
- ・ 以上の方針のもと、学会等から分科会に提案書の提出があった技術のうち、レジストリへの登録に関連して、ロボット支援下内視鏡手術に関するものであって、関連学会等によってレジストリを用いた当該技術の検証がなされたものは13件であった。
- ・ レジストリの解析結果を踏まえ、令和4年度診療報酬改定においては、胃癌に係る内視鏡手術用支援機器を用いて行った手術について、評価を見直すとともに、食道癌、胃癌及び直腸癌に係る内視鏡手術用支援機器を用いて行った手術について、施設基準を見直した。

- 令和4年度診療報酬改定においては、適切に医療技術の評価・再評価を行う観点から、医療技術評価提案書の提出に係るプロセスを見直すこととされた。

（参考）「個別改定項目について」（抜粋）

今後、適切に医療技術の評価・再評価を行う観点から、医療技術評価分科会における検討結果を分析するとともに、診療ガイドラインの改訂やレジストリ等のリアルワールドデータの解析結果を、当該分科会において把握できるよう、医療技術評価提案書の提出に係るプロセスを見直す。

- また、令和4年度診療報酬改定における中医協答申書附帯意見として、医療技術の評価について、以下のような指摘があり、令和4年5月18日中医協総会において、本分科会において検討を進めることとされた。

（参考）「中医協答申書附帯意見」（抜粋）

（医療技術の評価）

診療ガイドライン等に基づく質の高い医療を進める観点から、診療ガイドラインの改訂やレジストリ等のリアルワールドデータの解析結果を把握し、それらを踏まえた適切な医療技術の評価・再評価を継続的に行うことができるよう、医療技術の評価のプロセスも含め引き続き検討すること。

## 2. 令和6年度診療報酬改定に向けた対応（案）

### （1）令和6年度の評価の具体的な進め方について

#### （ア）分科会における評価の対象となる医療技術

○ 令和2、4年度診療報酬改定と同様の取扱いとする。

##### ① 分科会に提案書が提出された医療技術について

- ・ 評価の対象となる医療技術は、医科診療報酬点数表第2章特掲診療料第1部「医学管理等」から第13部「病理診断」、又は歯科診療報酬点数表第2章特掲診療料第1部「医学管理等」から第14部「病理診断」に該当する技術として評価されている又はされることが適当な医療技術であって、医療技術としてアウトカムが改善する等の有効性をデータで示すことができるものに限る。
- ・ また、提案書が提出された医療技術の実施に当たり、薬事承認されていない医薬品、医療機器又は体外診断薬を使用するものは、原則として分科会における評価の対象外とする。承認が見込まれるものについては、令和5年8月末日までに確実に承認取得が可能な場合のみ、評価の対象となる。

##### ② 先進医療として実施されている医療技術について

- ・ 先進医療として実施されている医療技術についても、平成30年度診療報酬改定以降の取扱いと同様に、分科会における評価の対象とする。

#### （イ）提案書の様式

○ 令和4年度診療報酬改定で用いた様式を一部修正したものを用いる。提案書の様式については、以下の留意点がある。

- ① 当該医療技術が用いられることが想定される診療科について、選択する欄あり
- ② 学会等が作成する「診療ガイドライン」等に基づく質の高い医療を進める観点から、診療ガイドライン等における当該医療技術の位置づけ等を明記する欄あり
- ③ 当該医療技術により予想される影響額については、社会医療診療行為別統計に基づき算出されることが主であるものの、それ以外のデータを用いて算出される場合もあることを踏まえ、備考欄あり
- ④ 当該医療技術に関連して減点や削除が可能と考えられる医療技術について、現に当該医療技術の対象となる患者に対して行われている医療技術も含めて記載することを明確化

- ⑤ 参考文献について、雑誌名等を具体的に記載する欄あり

#### (ウ) 医療技術の評価等の進め方

- 令和2、4年度診療報酬改定と同様に、学会等からの医療技術の提案に対する評価（案）の作成に当たり、WGを設置し、意見を求めることとする。

### (2) 医療技術の体系的な分類について

令和4年度診療報酬改定において、DPCデータの検証を通じて、KコードとSTEM7の対応関係に係る一定の評価結果と課題が得られたことを踏まえ、厚生労働省行政推進調査事業「リアルワールドデータ（RWD）に基づく外科手術等の高度化・多様化する医療技術の評価及びRWDの活用に資する研究」において、以下のような方針で検討を進めることとなった。

#### ① 体系化の対象とする術式の選択について

- ・ 1つのKコードに対して、手術部位ごとにSTEM7が分類されている整形外科領域の一部の術式について体系化が可能と考えられたことを踏まえ、整形外科領域の同様の術式についても検証を進めるとともに、関係団体等とも連携しつつ、令和6年度診療報酬改定において検証結果に基づくKコードの体系化を検討する。

#### ② 評価方法の検討について

- ・ DPCデータの麻酔時間を用いた現状の評価方法については一定の限界も存在することから、関係学会の保有するデータベースを補完的に利用する等、関係団体等とも連携しつつ、更なる評価方法について検討を進める。

### (3) 医療技術の再評価について

- 令和4年度診療報酬改定における中医協答申書附帯意見も踏まえ、令和6年度診療報酬改定に向けては、下記①に示される医療技術を対象として、関係学会からの報告書の提出を求めることが、令和4年10月7日の本分科会において決定され、同年10月26日の中医協総会においても了承されたところ。

#### ① 医療技術の指定について

- ・ 関係学会からの提案とは別に、分科会において指定する既存医療技術について関係学会へ報告を求め、以下の医療技術を分科会における再評価の対象とする。

- A) 令和4年度診療報酬改定において対応する優先度の高いものとされたうち、提案書の「ガイドライン等での位置づけ」の欄において、「ガイドライン等で記載あり」とされた技術（計113件）
- B) 平成28年度から令和4年度までの診療報酬改定において、レジストリの登録を要件として保険適用された技術（計35件）

② 報告書の様式

- ・ 既存の提案書は、臨床的位置づけに基づく学会からの提案内容をその根拠とともに記載する様式となっていることから、分科会において指定した技術について、現行の診療報酬上の評価の観点から臨床的位置づけや根拠の変化の有無を記載する報告書様式を新設した。
- ・ 新設の報告書様式について、ガイドライン等での位置づけの変化及びレジストリの解析結果を記載する項目を設けた。

③ 報告書提出後の対応について

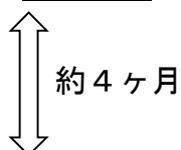
- ・ 必要に応じて提出学会等に対して事務局によるヒアリング・WGからの意見聴取等を行い、分科会において評価を行ってはどうか。
- ・ 評価結果を中医協総会に報告することを検討する。

**3. 今後のスケジュール（案）**

○ 提案書について

令和6年度診療報酬改定に向け、提案書の作成や、分科会における評価等に必要な時間を確保する観点から、下記のスケジュールで実施することとする。

令和5年 2月中旬 提案書受付開始（前回改定：2月10日）



6月上旬 提出締切（前回改定：6月11日）

6月～

- ・ 提案内容の重複や薬事承認等の確認
- ・ WGの意見を聴取しつつ、事務局において評価（案）を作成
- ・ 評価（案）を元に分科会において評価

令和5年度内

評価結果を中医協総会に報告

○ 報告書について

報告書の作成や、分科会における評価等に必要な時間を確保する観点から、下記のスケジュールで実施することとする。

令和5年 2月中旬 報告書受付開始



4月下旬 提出締切

4月～

- ・事務局によるヒアリング・WGからの意見聴取等を行い、事務局において評価案を作成
- ・評価（案）を元に、分科会において評価

令和5年度内

- ・評価結果を中医協総会に報告

# 医療技術評価提案書（案）

中医協 総-6-1  
5 . 2 . 15

中医協 診-2-1  
5 . 2 . 15

診調組 技-2-1  
5 . 2 . 9

医療技術評価提案書（保険未収載技術用） 表紙	
整理番号（6桁）	
関連技術の整理番号 ※事務局使用欄	

提出年月日 令和5年 月 日

提案される医療技術名	
------------	--

## 1. 申請団体

主たる申請団体名	
代表者氏名	
申請団体 事務連絡先 ※必ず連絡の取れ る連絡先を記載す ること	郵便番号 所在地 電話番号 E-Mail FAX番号 担当者氏名
上記以外の申請団体名 (共同提案学会名)	

## 2. 技術担当者（提案される医療技術の医学的内容について連絡をすることがある。）

担当者氏名	
担当者連絡先	所属施設名
	診療科
	役職
	所属施設所在地
	所属施設電話番号
	E-Mail
	FAX番号 ※無い場合は自宅等

※ 必ず全ての空欄に記載することとし、該当しない場合も「該当なし」等と記載すること。記載のない欄がある場合は受け付けられない。

※ 1つの申請団体が複数の提案書を提出する場合には、「提案される医療技術名」は同じにならないようにすること。類似の技術がある場合には、「〇〇術（××について）」「〇〇術（△△について）」などとし、区別できるように記載すること。

※ 複数の団体が同一技術の提案をする場合は、可能な限り団体間で調整し、1つの提案書にまとめて提出すること。

医療技術評価提案書（保険未収載技術用）

整理番号 ※事務処理用		
提案される医療技術名		
申請団体名		
提案される医療技術が関係する診療科	主たる診療科（1つ）	リストから選択
	関連する診療科（2つまで）	リストから選択
		リストから選択
提案される医療技術又は提案される医療技術に類似した医療技術の提案実績の有無	有無をリストから選択	
「実績あり」の場合、右欄も記載する	過去に提案した年度（複数回提案した場合は、直近の年度）	リストから選択
	提案当時の医療技術名	
	追加のエビデンスの有無	有無をリストから選択
提案される医療技術の概要（200字以内）		
文字数：		
対象疾患名		
保険収載が必要な理由（300字以内）		
文字数：		

【評価項目】

①提案される医療技術の対象 ・疾患、病態、症状、年齢等		
②提案される医療技術の内容 ・方法、実施頻度、期間等 （具体的に記載する）		
③対象疾患に対して現在行われている医療技術（当該医療技術が検査等であつて、複数ある場合は全て列挙すること）	区分	区分をリストから選択
	番号 医療技術名 既存の治療法・検査法等の内容	
④有効性・効率性 ・新規性、効果等について③との比較 ・長期予後等のアウトカム		
⑤ ④の根拠となる研究結果等	研究結果	エビデンスレベルをリストから選択
	ガイドライン等での位置づけ	位置づけをリストから選択
⑥普及性 ※患者数及び実施回数の推定根拠等	年間対象患者数(人) 国内年間実施回数(回)	

⑦医療技術の成熟度 ・学会等における位置づけ ・難易度（専門性等）		
・施設基準 （技術の専門性等を踏まえ、必要と考えられる要件を、項目毎に記載すること）	施設の要件 （標榜科、手術件数、検査や手術の体制等） 人的配置の要件 （医師、看護師等の職種や人数、専門性や経験年数等） その他 （遵守すべきガイドライン等その他の要件）	
⑧安全性 ・副作用等のリスクの内容と頻度		
⑨倫理性・社会的妥当性 （問題点があれば必ず記載）		
⑩希望する診療報酬上の取扱い	妥当と思われる診療報酬の区分 点数（1点10円） その根拠	区分をリストから選択
関連して減点や削除が可能と考えられる医療技術（③対象疾患に対して現在行われている医療技術を含む）	区分 番号 技術名 具体的な内容	区分をリストから選択
予想影響額	プラスマイナス 予想影響額（円） その根拠 備考	リストから選択
⑪提案される医療技術において使用される医薬品、医療機器又は体外診断薬 （主なものを記載する）		
⑫提案される医療技術の海外における公的医療保険（医療保障）への収載状況	いずれか一つをリストから選択	1) を選択した場合は、下の欄に詳細を記載。
※ 該当する場合、国名、制度名、保険適用上の特徴 （例：年齢制限）等		
⑬提案される医療技術の先進医療としての取扱い		いずれか一つをリストから選択
⑭その他		
⑮当該申請団体以外の関係学会、代表的研究者等		
⑯参考文献 1	1) 名称 2) 著者 3) 雑誌名、年、月、号、ページ 4) 概要	
⑯参考文献 2	1) 名称 2) 著者 3) 雑誌名、年、月、号、ページ 4) 概要	
⑯参考文献 3	1) 名称 2) 著者 3) 雑誌名、年、月、号、ページ 4) 概要	
⑯参考文献 4	1) 名称 2) 著者 3) 雑誌名、年、月、号、ページ 4) 概要	
⑯参考文献 5	1) 名称 2) 著者 3) 雑誌名、年、月、号、ページ 4) 概要	

※⑮については、1.の「主たる申請団体」および「上記以外の申請団体」以外に、提案される医療技術に関する研究、会合、論文発表等を実施している学会等の関連団体や研究者等の名称を記載すること。

提案される医療技術に使用する医薬品、医療機器又は体外診断用医薬品について

整理番号

提案される医療技術名	
申請団体名	

※ 薬事承認されていない医薬品、医療機器又は体外診断用医薬品を使用した技術は、原則として医療技術評価分科会での評価の対象外である。承認見込みの場合、令和5年（2023年）8月末日迄に承認取得が可能な場合のみ、評価の対象となることに留意すること。

※ 医薬品、医療機器又は体外診断薬については、当該技術の核となるものについて必ず具体的な薬品名、製品名を記載すること。

※ 該当する製品の添付文書を添付すること。

※ 薬事承認上の内容等が不明な場合は、添付文書を確認するか、製造販売会社等に問い合わせること。

※ 記載が不十分であると判断した場合は評価の対象外となるため、必要事項をもれなく記載すること。

【医薬品について】

名称（販売名、一般名、製造販売企業名）	薬事承認番号	収載年月日	薬事承認上の「効能又は効果」	薬価（円）	備考 ※薬事申請及び公知申請の状況等（薬事承認見込みの場合等はその旨を記載）

【医療機器について】

名称（販売名、一般名、製造販売企業名）	薬事承認番号	収載年月日	薬事承認上の「使用目的、効能又は効果」	特定保険医療材料	備考 特定保険医療材料に該当する場合は、番号、名称、価格を記載 （※薬事申請及び公知申請の状況等（薬事承認見込みの場合等はその旨を記載）

【体外診断用医薬品（検査用試薬）について】

名称（販売名、一般名、製造販売企業名）	薬事承認番号	収載年月日	薬事承認上の「使用目的」	備考 ※薬事申請及び公知申請の状況等（薬事承認見込みの場合等はその旨を記載）

【その他記載欄（上記の欄に記載しきれない内容がある場合又は再生医療等製品を使用する場合には以下を記入すること）】

--

**医療技術評価提案書（保険既収載技術用） 表紙**

整理番号（6桁）	
関連技術の整理番号 ※事務局使用欄	

提出年月日 令和5年 月 日

提案される医療技術名	
------------	--

1. 申請団体

主たる申請団体名	
代表者氏名	
申請団体 事務連絡先 ※必ず連絡の取れる 連絡先を記載すること	郵便番号 所在地 電話番号 E-Mail FAX番号 担当者氏名
上記以外の申請団体名 (共同提案学会名)	

2. 技術担当者（提案される技術の医学的内容について連絡をすることがある。）

担当者氏名	
担当者連絡先	所属施設名 診療科 役職 所属施設所在地 所属施設電話番号 E-Mail FAX番号 ※無い場合は自宅等

※ 必ず全ての空欄に記載すること。記載のない欄がある場合は受け付けられない。

※ 1つの申請団体が複数の提案書を提出する場合には、「提案される医療技術名」は同じにならないようにすること。類似の技術がある場合には、「〇〇術（××について）」「〇〇術（△△について）」などとし、区別できるように記載すること。

※ 複数団体が同一技術の提案をする場合、可能な限り団体間で調整し、1つの提案書にまとめて提出すること。

**医療技術評価提案書（保険既記載技術用）**

整理番号 ※事務処理用		
提案される医療技術名		
申請団体名		
提案される医療技術が関係する診療科	主たる診療科（1つ）	リストから選択
	関連する診療科（2つまで）	リストから選択
		リストから選択
提案される医療技術又は提案される医療技術に類似した医療技術の提案実績の有無	有無をリストから選択	
「実績あり」の場合、右欄も記載する	過去に提案した年度（複数回提案した場合は、直近の年度）	リストから選択
	提案当時の医療技術名	
	追加のエビデンスの有無	有無をリストから選択
診療報酬区分	区分をリストから選択	
診療報酬番号		
再評価区分（複数選択可）	1-A 算定要件の見直し（適応）	該当する場合、リストから○を選択
	1-B 算定要件の見直し（施設基準）	該当する場合、リストから○を選択
	1-C 算定要件の見直し（回数制限）	該当する場合、リストから○を選択
	2-A 点数の見直し（増点）	該当する場合、リストから○を選択
	2-B 点数の見直し（減点）	該当する場合、リストから○を選択
	3 項目設定の見直し	該当する場合、リストから○を選択
	4 保険記載の廃止	該当する場合、リストから○を選択
5 新規特定保険医療材料等に係る点数	該当する場合、リストから○を選択	
6 その他（1～5のいずれも該当しない）	該当する場合、リストから○を選択	
「6 その他」を選んだ場合、右欄に記載		
提案される医療技術の概要（200字以内）		
文字数：		
再評価が必要な理由		

**【評価項目】**

①再評価すべき具体的な内容（根拠や有効性等について記載）		
②現在の診療報酬上の取扱い ・対象とする患者 ・医療技術の内容 ・点数や算定の留意事項		
診療報酬区分（再掲）	区分をリストから選択	
診療報酬番号（再掲）		
医療技術名		
③再評価の根拠・有効性	治癒率、死亡率やQOLの改善等の長期予後等のアウトカム	
	ガイドライン等での位置づけ	リストから選択
④普及性の変化 ※下記のように推定した根拠		

年間対象者数の変化	見直し前の症例数（人） 見直し後の症例数（人）	
年間実施回数の変化等	見直し前の回数（回） 見直し後の回数（回）	
⑤医療技術の成熟度 ・学会等における位置づけ ・難易度（専門性等）		
・施設基準（技術の専門性等を踏まえ、必要と考えられる要件を、項目毎に記載すること）	施設の要件（標榜科、手術件数、検査や手術の体制等） 人的配置の要件（医師、看護師等の職種や人数、専門性や経験年数等） その他（遵守すべきガイドライン等その他の要件）	
⑥安全性 ・副作用等のリスクの内容と頻度		
⑦倫理性・社会的妥当性 （問題点があれば必ず記載）		
⑧点数等見直しの場合	見直し前 見直し後 その根拠	
⑨関連して減点や削除が可能と考えられる医療技術（当該医療技術を含む）	区分 番号 技術名 具体的な内容	区分をリストから選択
⑩予想影響額	プラスマイナス 予想影響額（円） その根拠 備考	リストから選択
⑪算定要件の見直し等によって、新たに使用される医薬品、医療機器又は体外診断薬		
⑫その他		
⑬当該申請団体以外の関係学会、代表的研究者等		
⑭参考文献 1	1) 名称 2) 著者 3) 雑誌名、年、月、号、ページ 4) 概要	
⑭参考文献 2	1) 名称 2) 著者 3) 雑誌名、年、月、号、ページ 4) 概要	
⑭参考文献 3	1) 名称 2) 著者 3) 雑誌名、年、月、号、ページ 4) 概要	

⑭参考文献 4	1) 名称	
	2) 著者	
	3) 雑誌名、年、月、号、ページ	
	4) 概要	
⑭参考文献 5	1) 名称	
	2) 著者	
	3) 雑誌名、年、月、号、ページ	
	4) 概要	

※⑬については、1.の「主たる申請団体」および「上記以外の申請団体」以外に、提案される医療技術に関する研究、会合、論文発表等を実施している学会等の関連団体や研究者等の名称を記載すること。

提案される医療技術に使用する医薬品、医療機器又は体外診断用医薬品について

整理番号

提案される医療技術名	
申請団体名	

※ 薬事承認されていない医薬品、医療機器又は体外診断薬を使用した技術は、原則として医療技術評価分科会での評価の対象外である。承認見込みの場合、令和5年（2023年）8月末日迄に承認取得が可能な場合のみ、評価の対象となることに留意すること。

※ 医薬品、医療機器又は体外診断薬については、当該技術の核となるものについて必ず具体的な薬品名、製品名を記載すること。

※ 該当する製品の添付文書を添付すること。

※ 薬事承認上の内容等が不明な場合は、添付文書を確認するか、製造販売会社等に問い合わせること。

※ 記載が不十分であると判断した場合は評価の対象外となるため、必要事項を漏れなく記載すること。

【医薬品について】

名称（販売名、一般名、製造販売企業名）	薬事承認番号	収載年月日	薬事承認上の「効能又は効果」	薬価（円）	備考 ※薬事申請及び公知申請の状況等（薬事承認見込みの場合等はその旨を記載）

【医療機器について】

名称（販売名、一般名、製造販売企業名）	薬事承認番号	収載年月日	薬事承認上の「使用目的、効能又は効果」	特定保険医療材料	特定保険医療材料に該当する場合は、番号、名称、価格を記載（※薬事申請及び公知申請の状況等（薬事承認見込みの場合等はその旨を記載）

【体外診断用医薬品（検査用試薬）について】

名称（販売名、一般名、製造販売企業名）	薬事承認番号	収載年月日	薬事承認上の「使用目的」	備考 ※薬事申請及び公知申請の状況等（薬事承認見込みの場合等はその旨を記載）

【その他記載欄（上記の欄に記載しきれない内容がある場合又は再生医療等製品を使用する場合には以下を記入すること）】

--

中医協 総－6－2  
5 . 2 . 1 5

中医協 診－2－2  
5 . 2 . 1 5

診調組 技－2－2  
5 . 2 . 9

## 医療技術評価提案書 記載要領 (案)

### 【通則】

1. 医療技術評価分科会において評価を行う技術は、以下のとおりである。

(1) 評価の対象となる医療技術の範囲

評価の対象となる医療技術は、原則として以下に含まれるものとする。

- ① 医科診療報酬点数表 第2章特掲診療料第1部医学管理等から第13部病理診断まで
- ② 歯科診療報酬点数表 第2章特掲診療料第1部医学管理等から第14部病理診断まで

(2) 提案される医療技術に係る医薬品等について

提案される医療技術において用いる医薬品、医療機器及び体外診断薬等は、全て薬事承認を得たものとする。薬事承認を得ていない医薬品等を用いる医療技術は、原則として医療技術評価分科会における評価の対象外とする。ただし、令和5年8月末日までに薬事承認が確実に可能な場合、評価の対象とする。

2. 医療技術評価提案書（以下「提案書」という。）には、「医療技術評価提案書（保険未収載用）」（以下「提案書（未収載用）」という。）と「医療技術評価提案書（保険既収載技術用）」（以下「提案書（既収載用）」という。）がある。提案書は必ず、令和6年度診療報酬改定に向けて作成されたものを使用すること。令和6年度診療報酬改定に向けて作成されたもの以外を使用した場合、評価の対象外となるため、十分注意すること。

3. 医療技術の提案にあたり、どちらの提案書の様式を用いるかについては、以下に従い選択すること。

(1) 提案される医療技術が、現に診療報酬点数表に収載されていないものであり、かつ、以下の(2)のいずれにも該当しない場合は、「提案書（未収載用）」を用いること。

(2) 提案される医療技術が、以下のいずれかに該当する場合は「提案書（既収載用）」を用いること。

- ・ 現に診療報酬点数表に収載されている医療技術について、新たな適応疾患等に保険適用を拡大することを提案する場合
- ・ 現に診療報酬点数表に収載されている医療技術について、施設基準、回数制限等の算定要件の見直し又は点数の見直しを提案する場合

- ・ 現に診療報酬点数表に掲載されている医療技術であるが、別の技術料として新設することが妥当と考えられる場合
  - ・ 過去に診療報酬点数表に掲載されていた医療技術であって、現に診療報酬点数表に掲載されていないものについて、再評価を提案する場合
  - ・ 新規特定保険医療材料等により新設される技術料に係る医療技術について提案する場合
4. 提案書への記載に当たっては、公表することを前提とすること。なお、機密事項としての取扱いを希望する項目がある場合には、その旨を明記すること。
5. 平易な用語や図表を用いて、A4用紙1枚でまとめた「提案される医療技術の概要をまとめた資料（以下「概要図」という。）」を添付すること。概要図には、「医療技術名」、「医療技術の概要」、「対象疾患名」、「現在当該疾患に対して行われている治療との比較」、「有効性」及び「診療報酬上の取扱い」を必ず記載すること。概要図は、先進医療会議の資料を参考として記載すること。  
なお、必要であれば、海外のデータを用いても差し支えない。
- (参考) 先進医療会議  
<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/other-hoken.html?tid=129195>
6. 提案される医療技術を評価する上で有用と考えられる文献等について、5つを上限として提案書に添付できることとする。ただし、「提案される医療技術において用いる医薬品、医療機器又は体外診断薬」に関する添付文書等については、この限りでない。
7. 提案書の記載に当たっては、以下を遵守すること。
- ・ 既に記載されている項目や内容を変更することなく、空欄を埋める形で記載すること。
  - ・ セルの結合や削除はしないこと。なお、印刷ページで4ページ以内に収まる範囲であれば、各行の高さを変更しても差し支えない。
  - ・ 文字の大きさは12ポイントとし、欄外には記載しないこと。
8. 記載する事項がない項目については、当該項目欄に「特になし」と必ず記入すること。
9. 提案される医療技術がレジストリを要件とする医療技術である場合、当該技

術に係るレジストリについて検証を行った上で、検証結果を提案書に添付すること。

#### 【提案書（未収載用）の記載方法】

##### 1. 「申請団体名」について

提案書の記載内容について確認が可能な申請団体名を記載すること。

##### 2. 「提案される医療技術が関係する診療科」について

「主たる診療科」については、提案される医療技術が最も用いられることが想定される診療科を1つ選択すること。「関連する診療科」については、主たる診療科以外で、提案される医療技術が用いられることが想定される診療科がある場合には、該当する診療科を2つまで選択すること（ない場合には、「00なし」を選択すること。）。なお、「申請技術が関係する診療科」の選択に当たっては、可能な限り「38 その他」を選択せず、リストの中の診療科から選択すること。

##### 3. 「提案される医療技術又は提案される医療技術に類似した医療技術の提案実績の有無」について

過去の診療報酬改定に向けた医療技術の評価の際に提案されたが、新規保険収載等の対応がなされなかった医療技術について、改めて提案される場合には、「提案実績あり」を選択すること。そうでない場合には「提案実績なし」を選択すること。

「提案実績あり」を選択した場合には、直近の提案がなされた年度及び提案技術名を記載するとともに、直近の提案の内容との違い（追加のエビデンスの有無）について、追加のエビデンスがある場合、「有」を選択し、それが分かるように提案書に印を付す等、わかりやすく示すこと。

##### 4. 「保険収載が必要な理由」について

提案される医療技術について、対象となる疾病等に関する現状及び保険収載された際に期待される効果を、評価項目（有効性、安全性等）に記載したデータ等を用いて、300字以内で簡潔に記載すること。

##### 5. 評価項目について

###### ① 「提案される医療技術の対象」について

疾患、病態、症状及び年齢等、提案される医療技術の対象となる患者群を具体的に記載する。

②「提案される医療技術の内容」について

提案される医療技術について、具体的な手技・手法、実施に要する時間（例：手術時間、検査時間等）、個々の患者における実施頻度及び治療期間等を記載すること。

③「対象疾患に対して現在行われている医療技術」について

現在、①で記載した患者群に対して、診断・治療等の目的で行われている既収載医療技術について、区分番号と共に記載すること。

なお、提案される医療技術が検査等であって、現に複数の検査等において診断・治療を行っている場合には、現に収載されている医療技術を全て記載すること。その際、区分が複数にある場合は、「その他」を選択し、該当する区分を全て右欄に記載すること。

④「有効性・効率性」及び⑤「④の根拠となる研究結果等」について

治癒率・死亡率・QOLの改善等の長期予後のアウトカムや、診断の正確性の向上等について、③で記載した既存技術の有効性と可能な範囲で比較した上で、両者の相違点がわかるように、データや学会のガイドライン等に基づき記載すること。また、その概要について記載した上で、エビデンスの質（エビデンスレベル）を明記し、当該有効性に関する資料（ガイドラインや論文の写し等）を必ず添付すること（ガイドラインや論文等である場合、参考文献の欄にも記載すること）。

エビデンスレベルは、1a、1b、2a、2b、3、4、5又は6の中から選択することとし、それぞれのエビデンスレベルの分類は以下とする。

1a：ランダム化比較試験（RCT）のメタアナリシス

1b：少なくとも1つのRCT

2a：少なくとも1つのランダム割付けを伴わない前向きコホート研究

2b：少なくとも1つのランダム割付けを伴わない後ろ向きコホート研究

3：ケースコントロール研究

4：前後比較、対照群を伴わない研究

5：症例報告、ケースシリーズ

6：専門家個人の意見（専門家委員会報告を含む）

ガイドライン等における位置づけについて、提案される医療技術がガイドライン等に記載されている場合には、当該ガイドライン等の名称、発行年、発行団体名、提案される医療技術に関する記載の概要について記載するとと

もに、参考文献の欄にも記載すること。また、提案される医療技術に係るガイドライン等が「診療ガイドライン」である場合には、「Minds 診療ガイドライン作成マニュアル 2020」

([https://minds.jcqhc.or.jp/s/guidance\\_2020\\_3\\_0](https://minds.jcqhc.or.jp/s/guidance_2020_3_0)) 等に準じて質を確保しているかどうかについて、評価ツール等

([https://minds.jcqhc.or.jp/s/evaluation\\_tool](https://minds.jcqhc.or.jp/s/evaluation_tool)) を用いた自己点検の状況や、Minds に掲載された診療ガイドラインであるかどうかについても記載すること。提案される医療技術がガイドライン等に記載されていない場合には、提案される医療技術について掲載され得るガイドライン等の名称、発行年、発行団体名、当該ガイドラインの改訂の見込みの時期、提案される医療技術が当該ガイドライン改訂時に記載される見込みについて記載すること。

#### ⑥ 「普及性」について

①及び②の記載内容を踏まえ、患者数の将来予測推計を、学会のデータ、患者調査結果等を活用し記載すること。また、提案される医療技術の（年間）実施回数の将来予測推計（提案される医療技術を実施できる医療機関の数及び実施回数の推計）を、学会等が保有するデータや社会医療診療行為別統計（旧：社会医療診療行為別調査）結果等を活用し記載すること。

（参考）

- ・患者調査

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&toukei=00450022&tstat=000001031167&second=1>

- ・社会医療診療行為別統計（令和3年）

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=datalist&toukei=00450048&tstat=000001029602&cycle=7&tclass1=000001166295&tclass2=000001166326&tclass3=0001166327&tclass4val=0>

《社会医療診療行為別統計を用いた年間実施回数の調べ方》

(i) 上記 URL のうち、調べたい統計表の「CSV」マークをクリックすると、該当する統計表が閲覧できる。

※ 個別の処置や手術等の算定回数については、医科診療 2 表番号 1～3（細分類）を参照すると便利である。

(ii) 調べたい診療行為の、「総数」の中の「実施件数、回数」を見る。

例：下記の「〇〇術」であれば「200回」となる。

	(点数)	実施件数	回数	(総)点数
〇〇術	12345	150	200	2469000

この調査は、1か月の算定回数の調査であるため、年間実施回数を推計する際には12倍する。

例：「200回×12=2400回」となる。

#### ⑦「医療技術の成熟度」について

提案される医療技術の学会等における位置づけや難易度（例えば、必要と考えられる医師の専門性、経験年数及び施設基準等）について記載すること。

施設基準については、提案される医療技術の専門性等を踏まえ、施設、人的配置の要件等について、根拠となるデータも含め記載を行うこと。

#### ⑧「安全性」について

提案される医療技術を実施した際に発生した又は発生が予想される副作用・合併症・事故などのリスクについて、その内容と頻度を記載すること。また、③に記載した既存医療技術の安全性と可能な範囲で比較すること。

#### ⑨「倫理性・社会的妥当性」について

提案される医療技術に関し、倫理性、社会的妥当性の視点から考慮すべき点があれば具体的に記載すること。

例) 脳死移植における臓器移植法との関係（法的問題点）

移植医療における倫理的問題（倫理的問題点）等

※ 考慮すべき点がないと判断した場合は、「問題なし」と記載すること。

#### ⑩「希望する診療報酬上の取扱い」について

提案される医療技術が保険収載となった場合、診療報酬点数表上妥当と思われる区分（「D検査」、「K手術」等）を1つ選択し、点数（〇〇点）及びその根拠（類似医療技術の点数との対比、実勢コストとの対比等）を記載すること。

また、既に保険収載されている医療技術のうち、提案される医療技術を保険収載することで代替されること等により、既存医療技術の対象者数が減少するなどして、保険収載の必要がなくなる又は点数を減点することが可能な医療技術があれば、どの程度減点が可能か等、具体的に記載すること。なお、記載した医療技術が必ず削除又は減点されるわけではない。

さらに、提案される医療技術の新規性や一症例当たりの効果（治癒率、入

院・通院期間、合併症等の比較、費用の比較)等を踏まえ、提案される医療技術を保険収載した場合の医療費への影響を試算すること。また、費用の比較に当たっては、算出の根拠も記載するとともに、提案される医療技術に直接係る費用だけでなく、提案される医療技術が用いられることにより減少が期待される費用が想定できる場合は、併せて記載すること。

ただし、増加と記載されたことにより、提案される医療技術への評価が変わるものではない。

予想影響額の算出方法は以下のとおりとする。

$$\text{予想影響額} = \text{下記 (x)} - \text{(y) 円 増・減}$$

**(x) : 提案される技術に係る予想年間医療費 ( = (a) × (b) × (c) )**

(a) 妥当と思われる診療報酬点数 (⑩の数値)

(b) 予想される年間対象患者数 (⑥の数値)

(c) 予想される一人当たりの年間実施回数

※社会医療診療行為別統計の年間実施回数を使用する場合は、提案される医療技術に係る予想年間医療費 = (a) × 予想される年間実施回数 ((b) × (c)) となる。

**(y) : 提案される技術の保険収載に伴い減少すると予想される医療費**

例) ・代替される既存医療技術の対象者減少に伴う医療費減少

・入院期間の短縮、重症化抑制、合併症抑制に伴う医療費減少等

なお、提案される医療技術について費用－効果分析、費用－便益分析などの経済評価が実施されていれば (海外での研究も含む)、その結果を記載すること。

備考欄については、上記の予想影響額の算出方法とは異なる方法で予想影響額を算出した場合に使用すること。

⑪「提案される医療技術において用いる医薬品、医療機器又は体外診断薬」について

提案される医療技術の実施に当たって、医薬品、医療機器又は体外診断薬を用いる場合、当該医薬品等について医薬品医療機器等法上の承認状況を確認する観点から、主なものについて、その名称 (販売名及び一般名)、薬事承認又は認証の有無 (承認又は認証番号)、医薬品医療機器等法の「使用目的、効能又は効果」、薬価又は材料価格等の内容を記載し、併せて添付文書を添付すること。ただし、一般的に普及し、かつ、明らかに医薬品医療機器等法上の承認内容に適して使用されているもの (例: 心電図等監視装置、手

術に用いる鉗子等基本的器械類、消炎鎮痛剤等基本的医薬品）は除く。

医薬品、医療機器及び体外診断薬について、未承認のもの又は適応外使用による医療技術に関しては、原則として評価の対象とならないので注意すること。承認見込みの場合、令和5年8月末日までに確実に承認取得が可能な場合のみ、評価の対象となる。

なお、当該項目の記載や添付資料が不十分な場合には、適切な評価が困難であるため、評価の対象とならない点に十分注意すること。また、提案に当たって企業と情報共有等を行った場合には、その旨を「その他記載欄」に記入すること。

#### ⑫「提案される医療技術の海外における公的医療保険（医療保障）への収載状況」について

提案される医療技術の海外における公的医療保険（医療保障）（例：米国 Medicare、英国 NHS 等）への収載状況について、以下のいずれかを選択すること。

- 1) 収載されている
- 2) 調べたが収載を確認できない
- 3) 調べていない

また、1) を選択した場合は、国名、制度名、保険適用上の特徴（例：年齢制限）を記載の上、それを示す資料を添付すること。

#### ⑬「提案される医療技術の先進医療としての取扱い」について

提案される医療技術の先進医療としての取扱い状況について、以下のいずれかを選択すること。また、b 又は c を選択した場合は、現状について簡単に記載すること。

- a. 承認を受けている
- b. 届出されたが承認されなかった
- c. 届出中
- d. 届出はしていない

#### ⑭「その他」について

その他、QOL の改善等について、上記までの記載で網羅されておらず特記すべき事項があれば記載すること。

#### ⑮「当該申請団体以外の関係学会、代表的研究者等」について

1. の「主たる申請団体」および「上記以外の申請団体」以外に、提案され

る医療技術に関する研究、会合、論文発表等を実施している学会等の関連団体や、研究者等の名称を記載すること。

⑩「参考文献」について

提案される医療技術を評価する上で有用と考えられる文献等について、主たるもので最新のもの5つを上限として、その概要等を記載すること。

【提案書（既収載用）の記載方法】

1. 「申請団体名」について

【提案書（未収載用）の記載方法】 1. を参照すること。

2. 「提案される医療技術が関係する診療科」について

【提案書（未収載用）の記載方法】 2. を参照すること。

3. 「提案される医療技術または提案される医療技術に類似した医療技術の提案実績の有無」について

【提案書（未収載用）の記載方法】 3. を参照すること。

4. 「診療報酬区分」について

提案される医療技術が該当する診療報酬区分について、いずれか一つの区分を選択する。なお、通則の「1」の通り、Aに該当する場合は医療技術評価分科会の評価の対象とならないことに留意すること。

5. 「再評価区分」及び「提案される医療技術の概要」について

当該技術の保険収載の取扱いについて再評価を希望する場合は、再評価区分を選択（複数選択可）し、その概要を該当欄に記載すること。

	概要	例
(1-A) 算定要件の見直し (適応)	適応疾患等の拡大や縮小等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の疾患の診断についても有効性が明らかとなった検査</li> <li>・他の疾患についても長期成績等の有効性が明らかとなった手術</li> </ul>
(1-B) 算定要件の見直し (施設基準)	提案される医療技術に係る現行の施設基準の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質の担保の観点から施設基準を設けるべき手術</li> <li>・現行の基準が厳しすぎるため保険診療に支障が生じている</li> </ul>

		手術
(1-C) 算定要件の見直し (回数制限)	回数制限の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回数制限が現在のエビデンスと合致していない検査</li> <li>・回数制限がないため不必要に実施されている検査・処置</li> </ul> ※これらについて、患者の生活上の有用性(QOLの改善への寄与等)も含め、その理由を記載すること。
(2-A) 点数の見直し(増点) (2-B) 点数の見直し(減点)	提案される医療技術に係る保険点数の再評価 (増点・減点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たなエビデンスにより、臨床上的有用性が高いことが示された技術</li> </ul> ※これらについて、類似技術の点数との対比、原価との対比等を記載すること。
(3) 項目設定の見直し	保険既記載の医療技術で算定できているものの、新たなガイドラインや文献等により、別の技術料又は加算としての評価等を希望	
(4) 保険記載の廃止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案される医療技術が、既に行われていない</li> <li>・提案される医療技術は実施されているが、有効性・安全性等に疑義が生じている</li> </ul>	
(5) 新規特定保険医療材料等に係る点数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規特定保険医療材料又は新規体外診断用医薬品により、平成30年度改定まで既存の項目の点数を準用して算定している</li> </ul>	
(6) その他(1~4のいずれも該当しない)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記に該当する区分がない場合にのみ、本区分を選択</li> </ul>	(例) ガイドラインの変更等により、呼称の変更が必要である(但し、変更により算定範囲が拡大する場合を除く。)

## 6. 評価項目について

### ①「再評価すべき具体的な内容」について

提案される医療技術の保険記載の取扱いについて再評価の提案内容を記載すること。また、点数の見直しの場合は、現行の点数から何点に見直すのか具体的に記載すること。

### ②「現在の診療報酬上の取扱い」について

提案される医療技術の現在の取扱いについて、対象としている患者、技術の内容及び現在の診療報酬上の評価等について具体的に記載すること。

③「再評価の根拠・有効性」について

再評価の根拠や有効性（治癒率、死亡率や QOL の改善等の長期予後等のアウトカム）を可能な限りデータや学会のガイドライン等に基づき記載すること。また、当該再評価の理由に関する資料（論文の写し等）を必ず添付すること。

ガイドライン等での位置づけについて、提案される医療技術がガイドライン等に記載されている場合、当該ガイドライン等の名称、発行年、発行団体名、提案される医療技術に関する記載の概要について記載するとともに、参考文献の欄にも記載すること。また、提案される医療技術に係るガイドライン等が「診療ガイドライン」の場合については、「Minds 診療ガイドライン作成マニュアル 2020」（[https://minds.jcqhc.or.jp/s/guidance\\_2020\\_3\\_0](https://minds.jcqhc.or.jp/s/guidance_2020_3_0)）等に準じて質を確保しているかどうかについて、評価ツール等

（[https://minds.jcqhc.or.jp/s/evaluation\\_tool](https://minds.jcqhc.or.jp/s/evaluation_tool)）を用いた自己点検の状況や、Minds に掲載された診療ガイドラインであるかどうかについても記載すること。提案される医療技術がガイドライン等に記載されていない場合、提案される医療技術について掲載され得るガイドライン等の名称、発行年、発行団体名、当該ガイドラインの改訂の見込みの時期、提案される医療技術が当該ガイドライン改訂時に記載される見込みについて記載すること。

④「普及性の変化」について

年間対象者数の変化や年間実施回数の変化等を記載するとともに、そのように推定した根拠も記載すること。なお、年間対象者数の変化や年間実施回数の変化等の記載に当たっては、【提案書（未収載用）の記載方法】5. ⑥を参照すること。

⑤「医療技術の成熟度」について

【提案書（未収載用）の記載方法】5. ⑦を参照すること。

⑥「安全性」について

提案される医療技術を見直すことによって安全性に影響が及ぶと予想される場合（安全性が向上する場合も含む）は、副作用・合併症・事故などのリスクについて、その内容と頻度を記載すること。

⑦「倫理性・社会的妥当性」について

【提案書（未収載用）の記載方法】 5. ⑨を参照すること。

⑧「点数等の見直しの場合」について

見直し前後の点数及び見直し後の点数の根拠について記載すること

⑨「関連して減点や削除が可能と考えられる医療技術」について

提案される医療技術を見直すことによって、他の既存技術の対象者数が減少するなどして、保険収載の必要がなくなる又は点数を減点することが可能な医療技術があれば記載し、どの程度減点が可能か具体的な点数を記載すること。また、同一区分番号内であっても、減点や削除が可能な部分があれば記載すること。なお、記載した技術が必ず削除又は減点されるわけではない。

関連して減点や削除が可能と考えられる医療技術が複数ある場合には、全て記載すること。その際、区分が複数にある場合は、「その他」を選択し、該当する区分を全て右欄に記載すること。

⑩「予想影響額」について

予想影響額の算出方法及び備考欄の取扱いについては、【提案書（未収載用）の記載方法】 5. ⑩を参照すること。

⑪「算定要件の見直し等によって、新たに使用される医薬品、医療機器又は体外診断薬」について

算定要件の見直し等によって、新たに使用される医薬品、医療機器又は体外診断薬がある場合には、【提案書（未収載用）の記載方法】 5. ⑪を参照の上、別紙に記載すること。

当該医薬品等について、未承認のもの又は適応外使用による技術に関しては、原則として評価の対象とならないので注意すること。なお、承認見込みの場合、令和5年8月末日迄に確実に承認取得が可能な場合のみ、評価の対象となる。また、当該項目の記載や添付資料が不十分な場合には評価の対象とならないため、十分注意すること。

⑫「その他」について

【提案書（未収載用）の記載方法】 5. ⑭を参照すること。

⑬「当該申請団体以外の関係学会（共同提案学会名、関連団体名）、代表的研究者等」について

【提案書（未収載用）の記載方法】 5. ⑮を参照すること。

⑭「参考文献」について

【提案書（未収載用）の記載方法】 5. ⑯を参照すること。

保険未収載技術 評価票 (案)

番号：

評価対象技術：

評価者：

I. 評価	
評価項目	評価結果
1. 当該技術の保険収載に係る必要性・妥当性について	1    2    3    4    5 (低 ⇨ 高)
2. 倫理性・社会的妥当性について	問題あり    問題なし
3. 実施施設の限定について	1. 施設基準を設けるべき 2. 必要なし
II. コメント	
(1)既存技術と比較した有効性及び効率性について	
(2)普及性について	
(3)技術的成熟度について	
(4)安全性について	
III. 自由記載欄	

(評価上の留意事項)

I. 評価結果について

- ・「1. 当該技術の保険収載に係る必要性・妥当性について」及び「2. 倫理性・社会的妥当性について」は、提案書①～⑥に記載された内容を、エビデンスレベル等のデータの質・信頼度、臨床的観点からの妥当性などから総合的に評価し、評価結果を○で囲むこと。
- ・「3. 実施施設の限定について」は、提案書①～⑤の記載を総合的に評価し、当該技術を実施する場合には、安全性等の観点から一定の施設に限定する必要である、と判断した場合は、1を○で囲むこと。

II. コメントについて

- ・評価結果を1又は2とした場合は、提案書の内容が不十分と考えられる点
  - ・評価結果を5とした場合は、評価ができると考えられる点
- を少なくとも1項目について、(1)～(4)の「コメント」欄に記載する。(複数記載可)

III. 自由記載欄について

その他、当該技術に関して特記すべき事項がある場合は、記載すること。なお、事務局が提案書記載内容の確認を行った際等に気づいた点を記載することもあるので、評価の際に参考として用いること。

保険既収載技術 評価票（案）

番号：  
 評価対象技術：  
 評価者：

評価結果

I. 評価	
評価項目	評価結果
1. 再評価の必要性・妥当性について	1 2 3 4 5 (低  高)
II. コメント	
(1)有効性等について	
(2)普及性の変化について	
(3)予想される医療費の影響について	
(4)その他（安全性、技術の成熟度、倫理性・社会的妥当性について特記すべき事項があれば）	
III. 自由記載欄	

（評価上の留意事項）

I. 評価結果について

- ・「1. 再評価の必要性・妥当性について」は、提案書①～⑤に記載されている有効性等に関するデータの質・信頼度も含め総合的に評価し、評価結果を○で囲むこと。

II. コメントについて

- ・評価結果を1又は2とした場合は、提案書の内容が不十分と考えられる点
  - ・評価結果を5とした場合は、評価ができると考えられる点
- を少なくとも1項目について、(1)～(4)の「コメント」欄に記載する。（複数記載可）

III. 自由記載欄について

その他、当該技術に関して特記すべき事項がある場合は、記載すること。なお、事務局が提案書記載内容の確認を行った際等に気づいた点を記載することもあるので、評価の際に参考として用いること。

## 医療技術に対する評価について（案）

### 1. 現状・課題

- 医療技術の評価については、中医協総会（以下、「総会」という。）での審議に加え、学会等から医療技術評価分科会（以下、「分科会」という。）に提案のあったものについて分科会で分野横断的な幅広い観点から検討を行っている。また、新たに薬事承認又は薬事承認事項一部変更承認を得た医療機器等を用いた技術については、保険医療材料等専門組織（以下、「保材専」という。）においても、製造販売業者からの保険適用希望に基づき個別に検討を行っている。
  
- このほか、医療機器等の有用性のうち製品導入時には評価できなかった部分について、使用実績を踏まえて保険収載後に再度評価を行うことができる仕組み（チャレンジ申請）がある。令和4年度改定において、技術料に一体として包括して評価される医療機器についてもチャレンジ申請の対象としており、このチャレンジ申請においては、保材専での審議結果を踏まえ技術料の見直しに係る具体的な評価についてさらに分科会で審議するとしている。  
（参考資料）
  
- 近年、情報通信技術など医療機器等に用いられる技術の多様化や、検査に用いられる測定方法の多様化により、類似する既存技術に対する評価との整合性や当該技術を用いた医療の提供体制のあり方の観点から、単に当該医療技術・医療機器等単独の有効性・性能による評価のみでは適切な技術料の設定が困難なものが出てきている。前述のとおり、チャレンジ申請においては技術料の見直しの際には保材専の審議の後にさらに分科会で審議を行うこととしている一方で、技術料の設定・見直しを伴う医療技術に対する評価一般について、分科会と保材専の役割は明確になっていない。
  
- 画期的な医療技術・医療機器等の評価のため幅広い提案の受付を可能にするとともに、既存技術との関係や医療提供体制のあり方等を考慮しながら適切な評価を行うため、これらの審議の進め方について整理する必要がある。  
（保材専においても、保材専と分科会との連携の必要性が指摘されているところ。）

## 2. 今後の運用（案）

○ 医療技術の評価について、審議を行う場を明確化するとともに、以下のとおり運用してはどうか。

- (1) 基本診療料の点数、算定留意事項又は施設基準を変更するものについては、総会で審議する。
- (2) 特掲診療料に関するもののうち以下については、原則として従前のおり学会等からの提案に基づき分科会で審議する。
  - a) 特掲診療料の施設基準を変更するもの
  - b) 医科点数表第2章第1部第1節「医学管理等」又は歯科点数表第2章特掲療料第1部「医学管理等」に新たな技術料を設定するもの
  - c) 薬事承認の範囲のうち患者要件等により保険適用されない範囲がある場合（承認事項一部変更承認によって保険適用されない範囲が生じた場合を除く。）であって、当該保険適用されない範囲の全部又は一部を保険適用するもの（別紙1）

※製造販売業者から保険適用希望書が提出され保材専で審議を行う場合は、原則として（1）又は（2）の変更を要さない範囲において審議を行う。

- (3)（1）及び（2）に該当しないものについては、学会等から分科会に提案がなされた場合は分科会で審議し、製造販売業者から保険適用希望書が提出された場合は従前のおり保材専で審議する。その上で、保材専で審議する場合においては、保険適用希望内容のうち全部又は一部について、具体的な技術料の設定や見直しに当たり分野横断的な幅広い観点からの評価や他の既存技術に対する評価の見直しがあわせて必要と考えられる場合等は、分科会での審議を求めることができるものとする。（別紙2）

（分科会での審議を求める技術として想定されるもの）

- ① 当該医療機器等を用いた技術の評価する場合に、類似する既存技術に対する評価との整合性の観点から、当該既存技術に対する評価を同時に見直す必要があるもの
- ② 当該医療機器等を用いた医療に関する医療提供体制（オンライン診療、在宅医療等）のあり方について検討が必要なもの（医科点数表第2章第2部第2節「在宅療養指導管理料」に新たな技術料を設定するものを含む。）

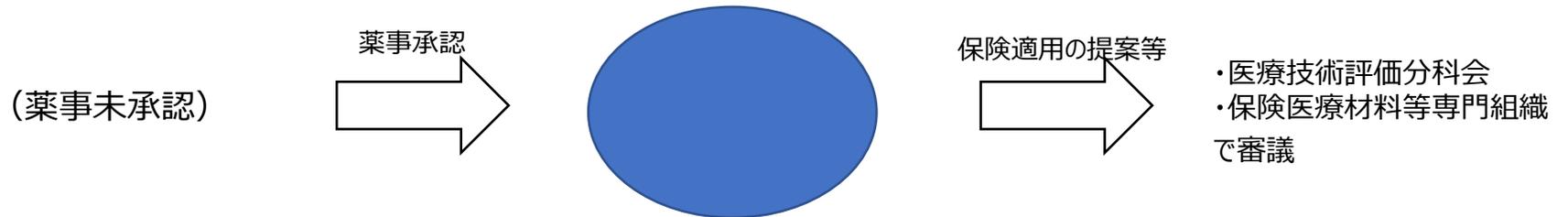
○ なお、上記（3）により分科会での検討が必要とされた場合には、直近の診療報酬改定までに分科会で審議を行う。（別紙2）

○ 当面の間上記の運用を試行的に行い、令和6年度診療報酬改定の際に必要な見直しを行うこととする。

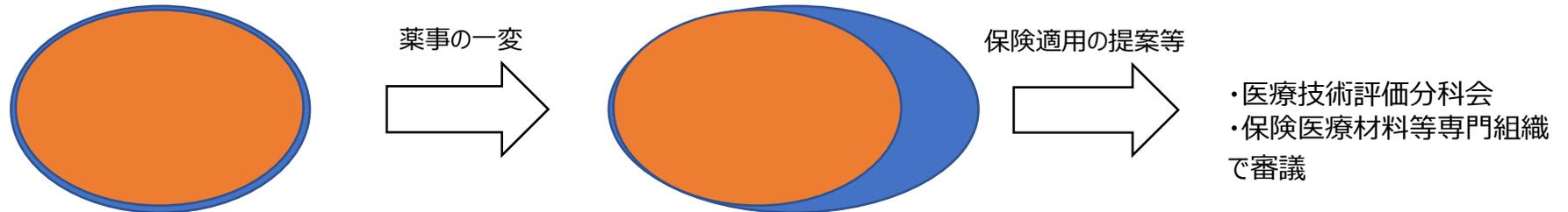
## ＜医療技術の評価における保険適用範囲と薬事承認範囲の関係の主な類型＞

(青が薬事の範囲、橙が保険適用範囲)

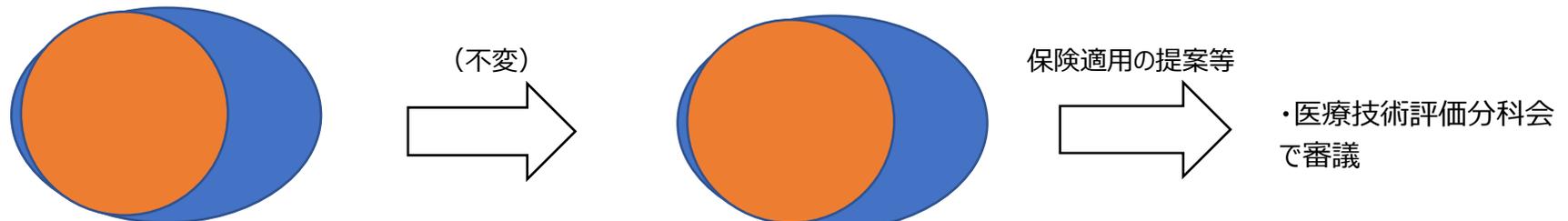
(1) 新たに薬事承認を取得した機器について、保険適用を提案・希望する場合



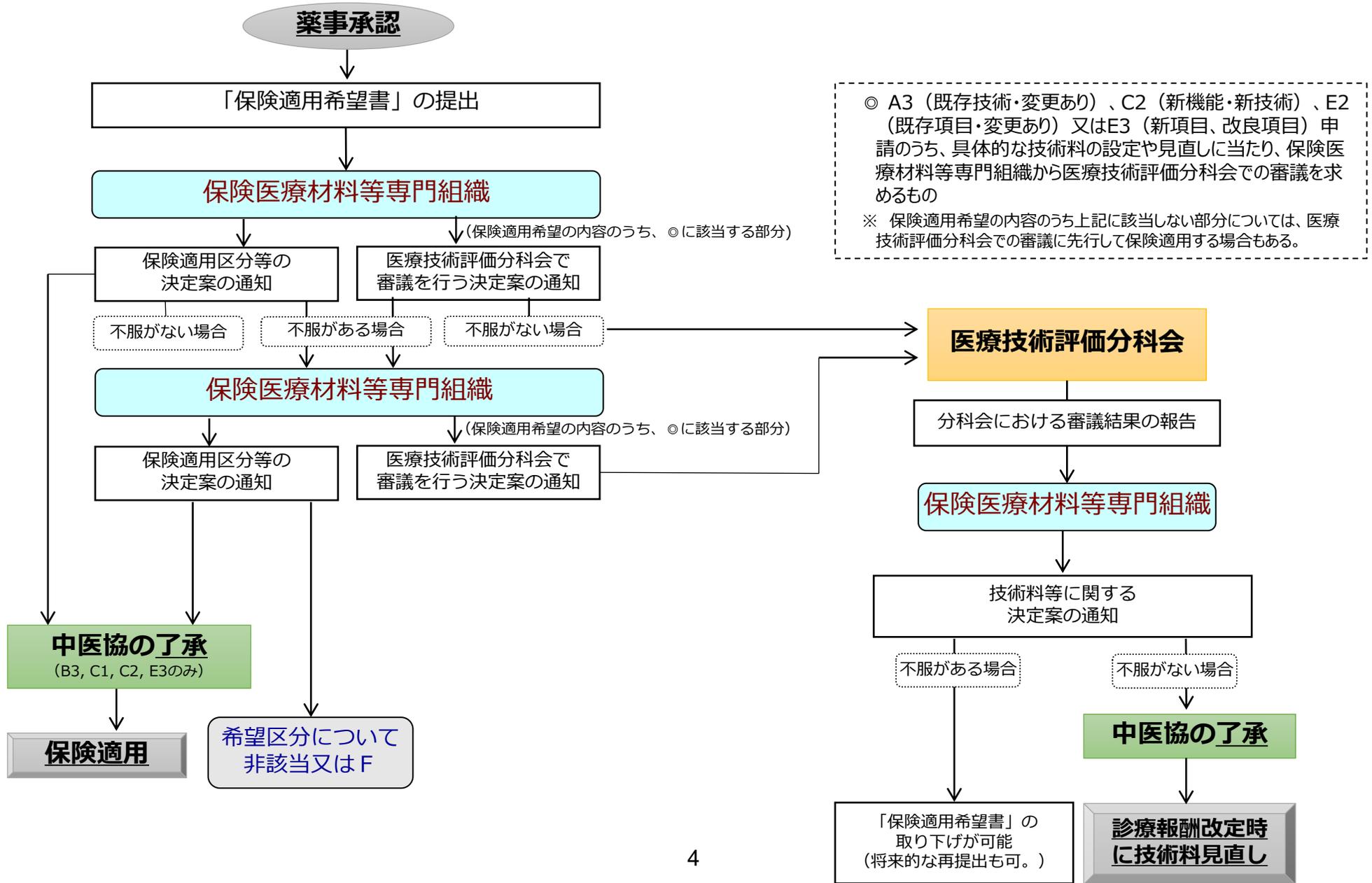
(2) 薬事承認範囲と同一範囲で保険適用されており、一変により広がった薬事承認範囲について保険適用を提案・希望する場合



(3) 薬事承認範囲の一部のみ保険適用されており、保険適用されていない範囲について保険適用を提案・希望する場合



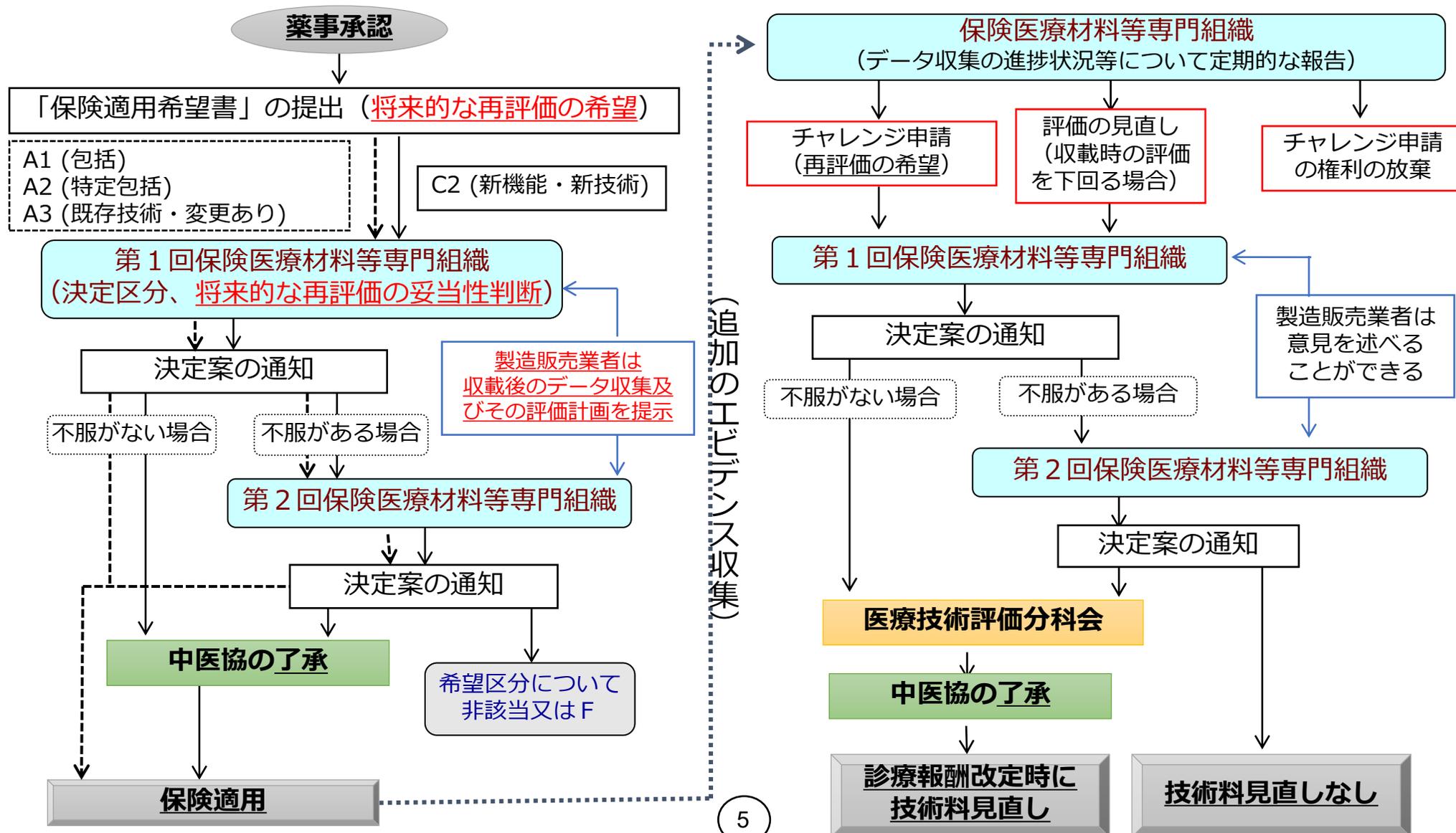
(保険適用希望内容のうち全部又は一部を医療技術評価分科会で審議する場合の流れ)



# チャレンジ申請（技術料包括）

【通常のスキーム+チャレンジ申請の妥当性判断スキーム】

【チャレンジ申請の権利が認められた後のスキーム】



診調組 技-1-1参考4 5 . 1 1 . 2 0
-------------------------------

診調組 技-1参考2 5 . 2 . 9
-------------------------

診調組 技-2参考 3 . 2 . 1
------------------------

診調組 技-1 元 . 6 . 2 7
------------------------

## 医療技術評価分科会に係るワーキンググループ 開催要綱

### 1. 目的

医療技術の評価及び再評価（以下「評価等」という。）に当たり、医療技術評価分科会（以下「分科会」という。）における検討を円滑かつ効率的に進めるため、分科会の下にワーキンググループ（以下「WG」という。）を設置する。WGにおいては、専門的観点から保険診療に係る医療技術の評価等について検討を行う。

### 2. 検討事項

学会等から分科会に提出された医療技術評価提案書又は医療技術再評価提案書（以下「提案書」という。）に対する評価（案）を作成するに当たり、専門的観点から検討を行う。

### 3. WGの構成

- (1) WGは、提案書に係る医療技術の内容に応じ、各専門分野の知識を有する者から構成する。
- (2) 座長は、構成員の中から分科会長が指名する。
- (3) 座長は、WGの事務を総理し、WGを代表する。
- (4) 構成員は、保険医療専門審査員をもって充てる。
- (5) WGの構成員の名簿は、評価の間は非公表とし、当該提案書に係る診療報酬改定の後に公表する。

### 4. 検討方法

WGにおける検討は、以下の手順により実施する。

- (1) 構成員は、WGを開催する前に、提案書の事前評価を行う。
- (2) 事前評価は、主担当および副担当により行う。
- (3) 構成員は、WGにおいて、事前評価を踏まえて提案書の評価（案）について検討を行う。
- (4) 厚生労働省保険局医療課は、WGの検討結果を踏まえ、提案書に対する評価（案）を作成する。

### 5. 事前評価の担当及び検討への参加

- (1) 評価の対象となる提案の申請者又は責任者等である構成員及び当該提案の主たる申請団体と特別の利害関係を有する構成員（関係学会の理事長や

保険担当理事等、当該提案に関連する医薬品、医療機器、体外診断用医薬品、再生医療等製品若しくは関連サービスの開発に関わる者又は提供主体から一定以上の金銭を授受する者等をいう。以下「関与構成員」という。）は、当該提案については、事前評価を担当しない。

- (2) 関与構成員は、当該提案については、WGにおける検討に参加しない。
- (3) (2)の規定にかかわらず、座長が関与構成員の参加が必要と認めた場合、当該関与構成員は、当該提案の検討に参加することとし、座長の求めに応じて発言することができる。

## 6. WGの運営

- (1) WGの庶務は、厚生労働省保険局医療課において行う。
- (2) WGの会議及び資料は、原則として非公開とする。
- (3) 座長は、WG開催に当たり、構成員以外の者で、必要と判断した者（以下「参考人」という。）の出席を求めることができる。
- (4) 参考人は、WGへの参加に当たり知ることのできた秘密及び情報を漏らしてはならない。
- (5) 上記4及び5.については、参考人においても同様の取扱いとする。
- (6) この要綱に定めるもののほか、WGに関して必要な事項は、分科会長が定める。

## 7. 補足

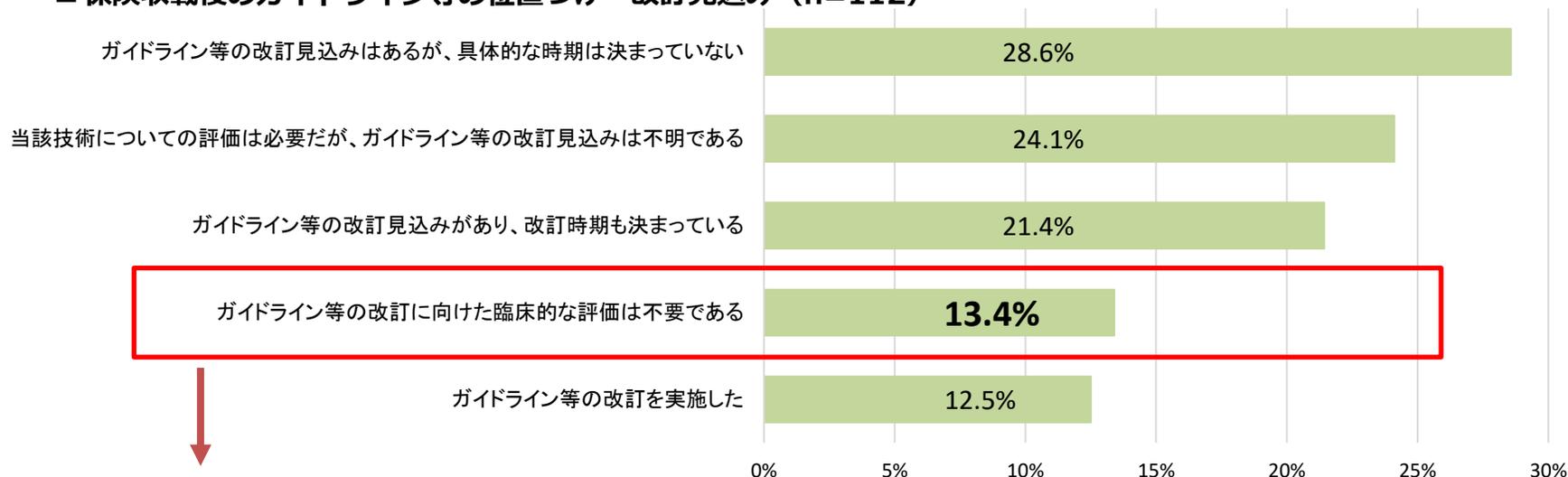
この要綱は、令和元年6月27日から施行する。

○ 今般、提案書が提出され、医療技術評価分科会における評価の対象である医療技術のうち、提案書の「ガイドライン等での位置づけ」の欄において、「ガイドライン等での記載あり」とされたものは、519件であった。

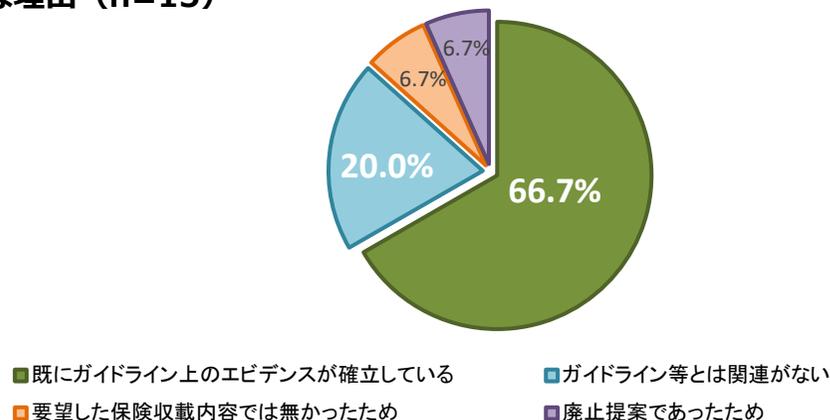
項目	件数
学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出があった技術（再掲）	858件
うち、医療技術評価分科会における評価の対象となるもの（再掲）	760件 （新規284件、既存476件）
うち、「ガイドライン等の位置づけ」の欄において、「ガイドライン等での記載あり」とされたもの	519件 （新規185件、既存334件）

- 令和4年度診療報酬改定において、医療技術評価の対象となる技術であって、対応する優先度の高いものとされたうち、提案書の「ガイドライン等での位置づけ」の欄において、「ガイドライン等で記載あり」とされた技術は112件（新規技術36件、既存技術76件）であった。当該技術における保険収載後のガイドライン等の位置づけ・改訂見込みについて調査したところ、「改訂見込みはあるが、具体的な時期は決まっていない」が28.6%、「当該技術についての評価は必要だが、ガイドライン等の改訂見込みは不明」が24.1%、「ガイドライン等改訂に向けた臨床的な評価は不要である」が13.4%であった。
- ガイドライン等改訂に向けた臨床的な評価が不要である理由は、「既にガイドライン上のエビデンスが確立している」が66.7%であった。

## ■ 保険収載後のガイドライン等の位置づけ・改訂見込み (n=112)



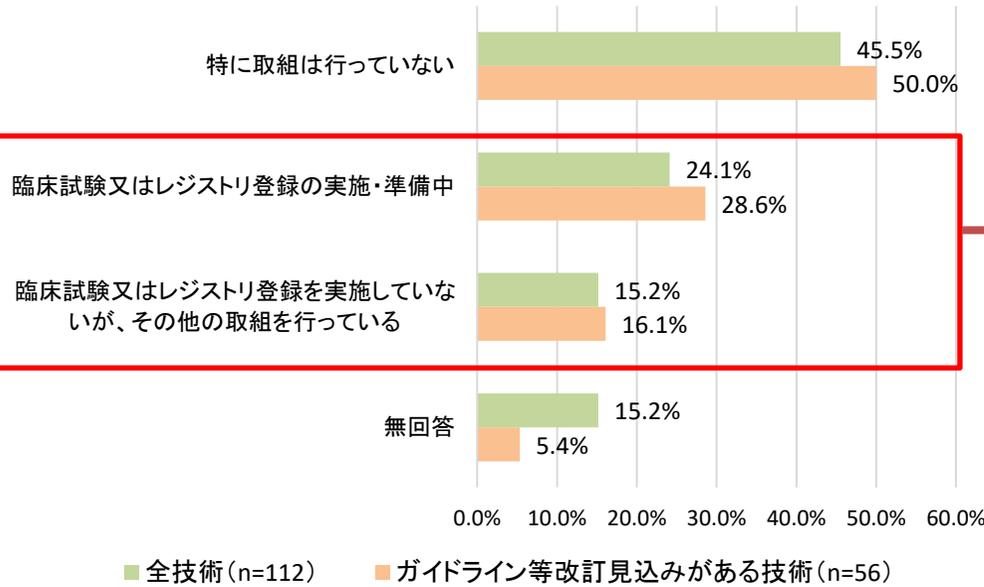
## ■ ガイドライン等改訂が不要な理由 (n=15)



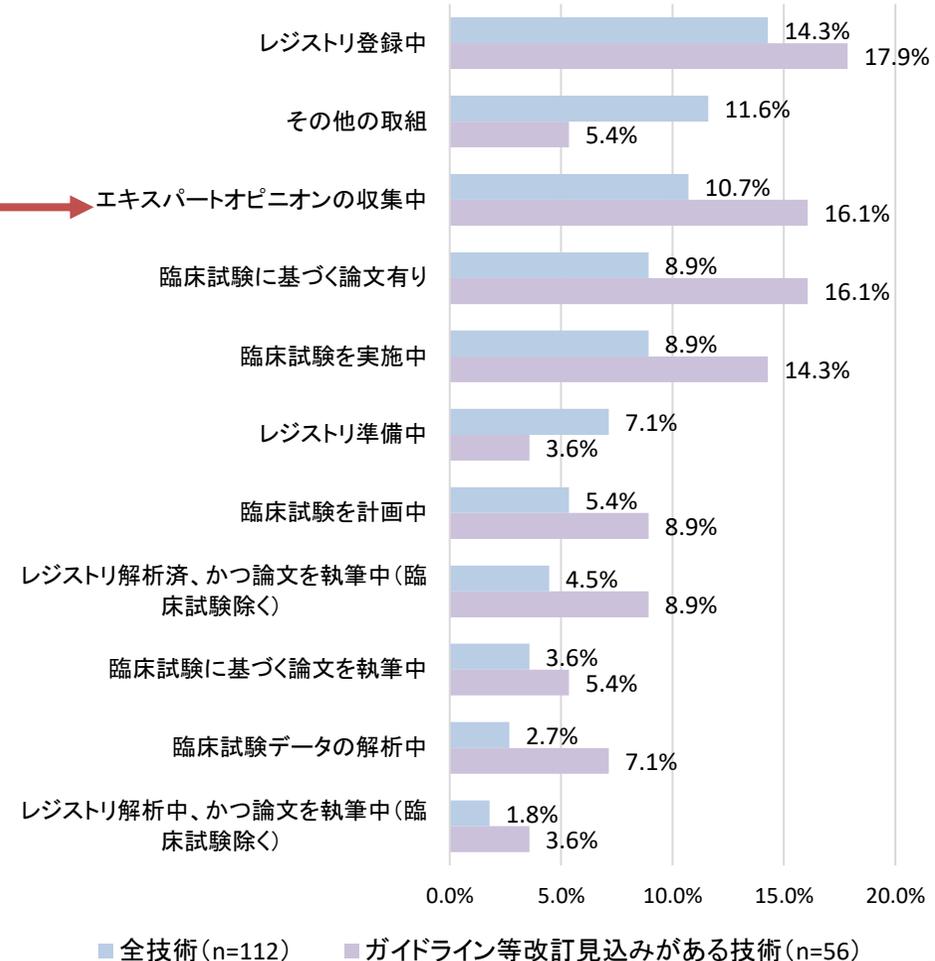
# 「ガイドライン等で記載あり」とされた医療技術について②

- 現在のエビデンス確立・ガイドライン等改訂に向けた取組は全技術で「特に取組は行っていない」が45.5%であった。ガイドライン等改訂見込みがある技術においては、「臨床試験又はレジストリ登録の実施・準備中」が28.6%であった。
- 取組の詳細としては、「レジストリ登録中」、「エキスパートオピニオンの収集中」、「臨床試験を実施中」、「臨床試験を計画中」ともにガイドライン等改訂見込みがある技術の方が取り組んでいる割合は高かった。

■ 現在のエビデンス確立・ガイドライン等改訂に向けた取組



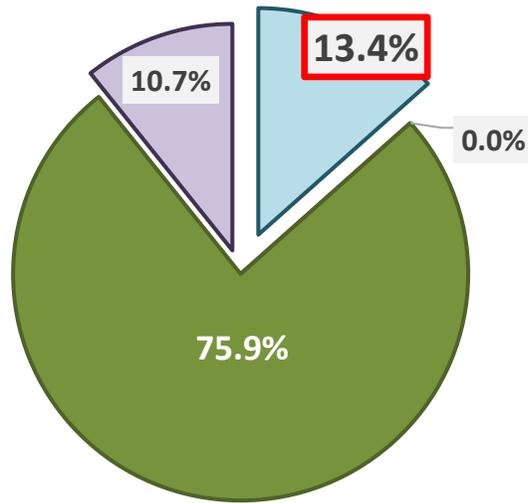
■ 現在のエビデンス確立・ガイドライン等改訂に向けた取組詳細 ※複数回答



# 「ガイドライン等で記載あり」とされた医療技術について③

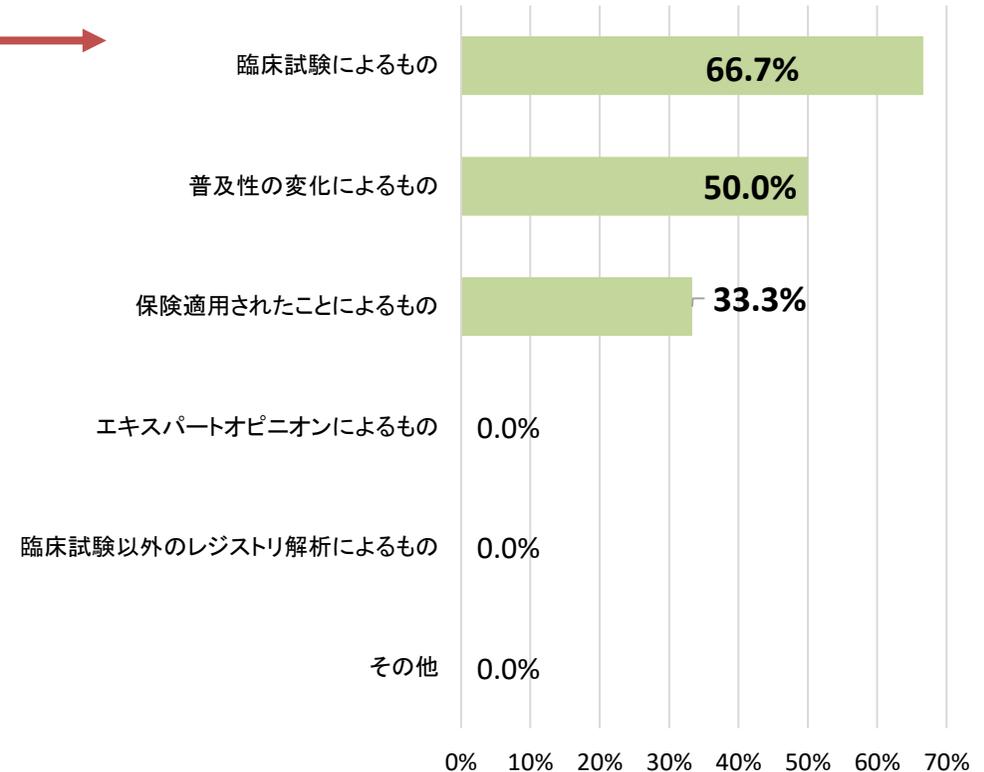
- 保険収載後、ガイドライン等の位置づけの変化として、「推奨度が上がった」と回答があった技術は13.4%であった。
- 推奨度が上がった理由として、「臨床試験によるもの」66.7%、「普及性の変化によるもの」50.0%、「保険適用されたことによるもの」が33.3%であった。

■ 保険収載後のガイドライン等の位置づけの変化 (n=112)



■ 推奨度が上がった ■ 推奨度が下がった ■ 変化なし ■ その他

■ 保険収載後、ガイドライン等の推奨度が上がった理由 (n=6) ※複数回答

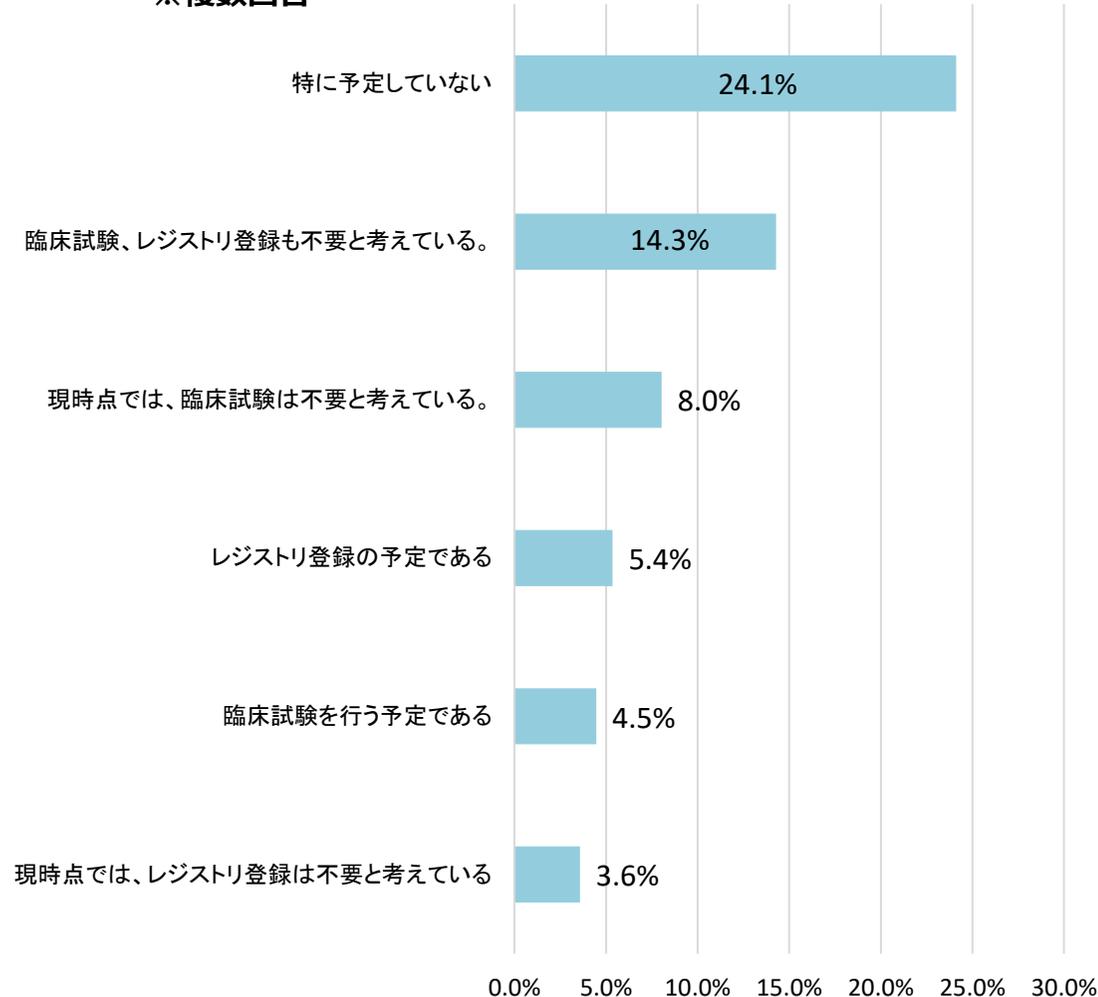


※ガイドライン等で当該技術の推奨度が上がったと回答があった15技術の内、推奨度が上がった理由の記載があった6技術の回答

# 「ガイドライン等で記載あり」とされた医療技術について④

○ 112件の当該技術における、今後の見通しについては、「特に予定していない」24.1%、「臨床試験、レジストリ登録も不要と考えている」14.3%、「現時点では、臨床試験は不要と考えている」8.0%、「レジストリ登録予定」5.4%、「臨床試験実施予定」4.5%、「現時点では、レジストリ登録が不要と考えている」が3.6%であった。

■ 当該技術における、今後の見通しについて (n=112)  
※複数回答



# 「ガイドライン等で記載あり」とされた医療技術について⑤

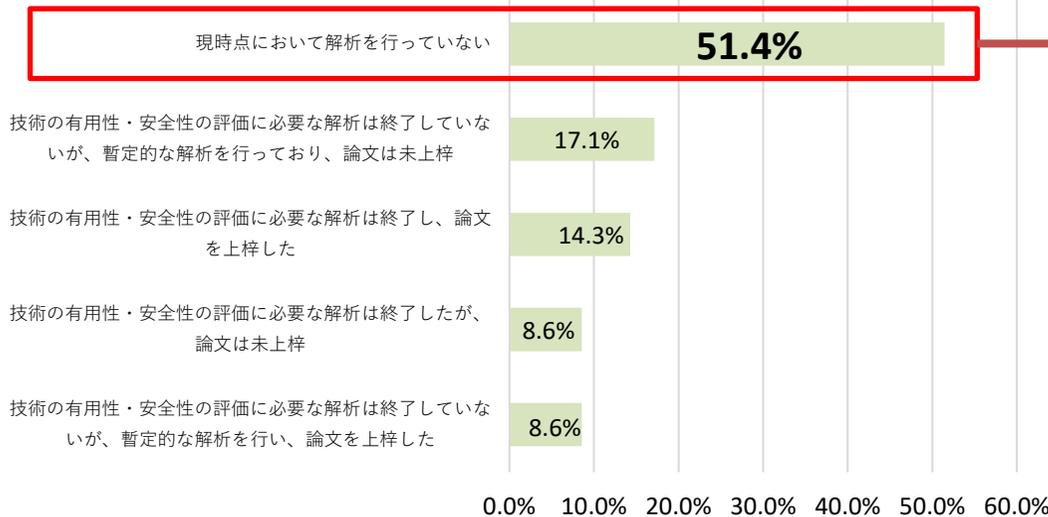
○ 「ガイドライン等で記載あり」とされた医療技術について、ガイドライン改訂に向けた取組として、具体的に以下のようなものが報告されたところ。

技術名	報告学会	ガイドライン改訂(見込み含む)	具体的な取組
超急性期脳卒中加算	日本脳卒中学会	具体的な時期は決まっていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>エキスパートオピニオンを収集し、脳卒中遠隔診療ガイドラインの改訂作業を行っている。</li> <li>実臨床データの収集のため、レジストリ登録を予定している。</li> </ul>
広範囲顎骨指示型装置埋入術・適応イ	日本顎顔面インプラント学会	令和4年8月に指針を作成した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規発刊の治療マニュアルに、当該技術を記載予定。</li> </ul>
ABO血液型不適合間の同種腎移植又はリンパ球抗体陽性の同種腎移植に対する単純血漿交換	日本アフェレシス学会	2024年予定。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガイドライン作成委員会による改訂作業中。</li> <li>レジストリ登録中。</li> </ul>
アレルギー性鼻炎	日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会	2023年予定。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガイドライン作成委員会による改訂作業中。</li> <li>臨床試験を計画中。</li> </ul>
人工知能技術を用いた画像診断補助に対する加算(単純・コンピューター断層撮影)	日本医学放射線学会	具体的な時期は決まっていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本件に特化した委員会を学会内に設置しており、議論中。</li> </ul>

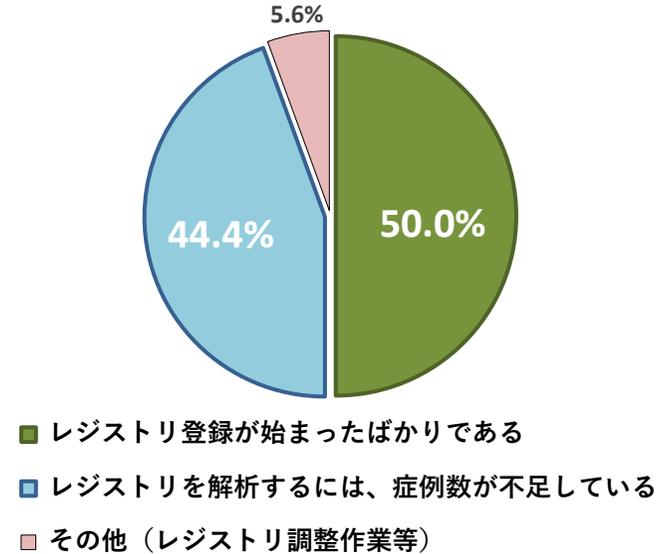
# レジストリの登録を要件として保険適用された技術について①

○ 平成28年以降の診療報酬改定で、レジストリを要件として保険収載された医療技術は35件であり、保険収載後のレジストリ解析状況、今後のガイドライン等の改訂予定については、以下のとおり。

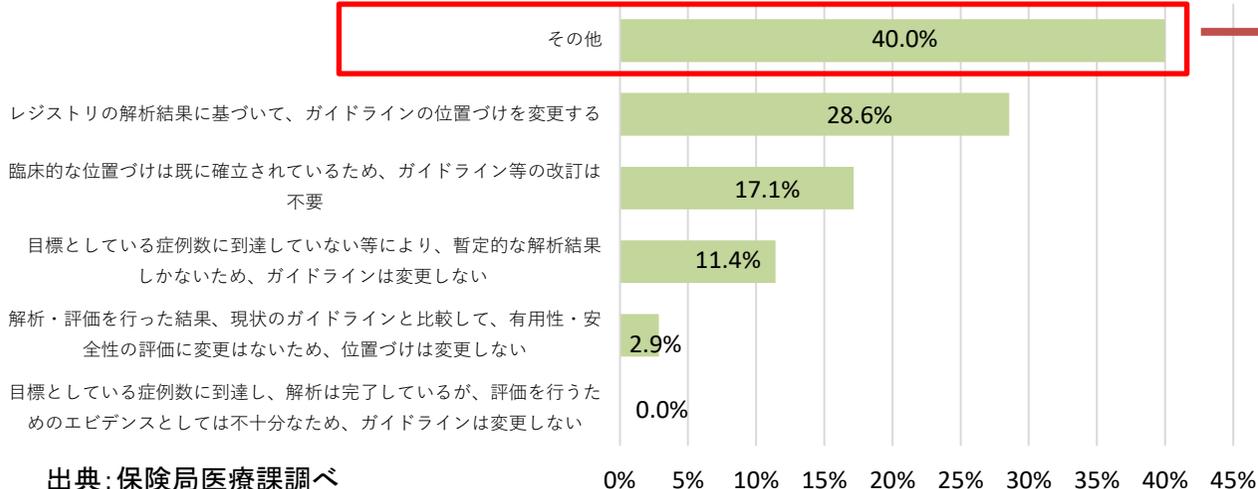
## ■ 保険収載後のレジストリの解析状況 (n=35)



## ■ レジストリが解析できていない理由 (n=18)



## ■ レジストリの解析状況を踏まえた、今後のガイドライン等の改訂予定 (n=35)



## ■ その他の内容 (自由記載)

- ・ レジストリ登録が開始したばかりで解析できる状態ではない。
- ・ ガイドライン等の改訂見込みはあるが、具体的な時期は決まっていない。
- ・ レジストリを解析するには症例数が不足しているが症例集積の状況を見て、ガイドラインを再検討する予定である。
- ・ レジストリ解析により、有効性・安全性の評価を行ったのちにガイドライン等改訂が必要か検討を行う予定。
- ・ ガイドラインは別の研究会で作成されているために、ガイドライン作成には協議が必要。
- ・ レジストリ症例集積数が少なく、解析も開始していないため、ガイドラインは変更しない。
- ・ ガイドライン変更の予定はない。

## レジストリの登録を要件として保険適用された技術について②

○ レジストリを要件として保険収載された医療技術において、保険収載後に一定期間が経過しており症例も相当数蓄積されているなかで、暫定的な解析結果が得られているものは、以下の通りである。

技術名	報告学会	収載年
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除及び肺葉切除又は1肺葉を超えるものに限る。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	日本呼吸器外科学会	平成30年
胸腔鏡下弁置換術	日本胸部外科学会	平成30年
胸腔鏡下弁形成術	日本胸部外科学会	平成30年
腹腔鏡下肝切除術(亜区域切除、1区域切除、2区域切除及び3区域切除以上のもの)	日本肝胆膵外科学会	平成28年
腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	日本泌尿器・ロボティクス学会	平成30年
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	日本産科婦人科学会	平成30年



○ 上記については、ヒアリングを行ったところ結果、以下のような状況等が確認されたところ。

- ・ これまでにすでに中間解析を行っており、論文化もなされている。また、近年追加された症例データを用いて、さらなる解析を行っている。
- ・ 一定の症例数が蓄積されており、これから解析を行う。また、長期予後の解析等を含めた、別の研究計画も検討中である。
- ・ 当該医療技術について、関連学会も含めて、様々な観点(長期予後、周術期合併症)からレジストリ登録等を行っており、それぞれについて、解析・発表等を行っており、今後も更なるデータの活用を検討していく。

診	調	組	技	-	1	-	2
5	.	1	1	.	2	0	

## 医療技術評価分科会における評価の対象となる技術（案）

令和5年11月20日

医療技術評価分科会における評価の対象となる技術（案）＜概要＞

	項目	件数 <sup>注1</sup>	評価対象
1	学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出があった技術	858 件	
①	うち、医療技術評価分科会における評価の対象となるもの	760 件 (新規 284 件 既存 476 件)	○
①－ i	うち、先進医療会議において科学的根拠等に基づく評価が行われる予定の技術 <sup>注2</sup> に係るもの	6 件	
②	うち、医療技術評価分科会における評価の対象とならないもの	98 件	
②－ i	うち、「基本診療料」または医療技術としてアウトカムが改善する等の有効性をデータで示すことができない、制度や指導管理料に係るもの	54 件	×
②－ ii	うち、使用する医薬品及び医療機器等について医薬品医療機器等法上の承認が確認できないもの	44 件	
2	先進医療会議において科学的根拠等に基づく評価が行われる予定の技術	33 件 <sup>注3</sup>	○
3	保険医療材料等専門組織において審議を行った医療技術	4 件	
①	うち、医療技術評価分科会での審議が必要とされた医療技術	3 件	
②	うち、技術料に一体として包括して評価される医療機器についてのチャレンジ申請により、保険医療材料等専門組織において技術料の見直しを行うことが適当とされた医療技術	1 件	○

注1：件数には、重複する提案の数は含まれない。また、今後の検討の進捗によって、変動がありうる。

注2：「先進医療会議において科学的根拠等に基づく評価が行われる予定の技術」とは、先進医療 A の全ての技術及び医薬品医療機器等法上、未承認の医薬品等を伴わない先進医療 B の技術（平成 28 年度以降に先進医療としての実施が終了したものであって、総括報告書が提出されているものに限る）を指す。

注3：本件数には、学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出があった技術に係るものの件数が含まれる。

注4：評価の中には、新規保険収載、既収載技術の増点、減点、廃止、要件の見直し、適応疾患の拡大等が含まれる。

## 医療技術評価分科会における評価の対象となる技術（案）〈目次〉

1. 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出があった技術
  - ① 医療技術評価分科会における評価の対象となるもの  
・・・・・・・・・・ 3～39 ページ  
  
うち、先進医療会議において科学的根拠等に基づく評価が行われる予定の  
技術に係るもの  
・・・・・・・・・・ 40 ページ
  - ② 医療技術評価分科会における評価の対象とならない技術  
・・・・・・・・・・ 41～45 ページ
2. 先進医療会議において科学的根拠等に基づく評価が行われる予定の技術  
・・・・・・・・・・ 46 ページ
3. 保険医療材料等専門組織において審議を行った医療技術  
・・・・・・・・・・ 47 ページ

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、  
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	201201	抗MDA5抗体陽性皮膚筋炎に伴う急速進行性間質性肺炎に対する血漿交換療法	日本アフェシス学会		1
既	201202	血漿交換療法(増点について)	日本アフェシス学会		6
未	202101	AUDIT(アルコール使用障害特定テスト)	日本アルコール・アディクション医学会		11
未	202102	アルコール関連疾患患者減酒指導料	日本アルコール・アディクション医学会		16
既	202201	通院在宅精神療法と依存症集団療法との同日算定	日本アルコール・アディクション医学会		26
既	203201	慢性気道疾患の診断・管理ツールとしての呼気一酸化窒素濃度測定(スパイログラフィー等検査 呼気ガス分析)	日本アレルギー学会		31
既	203202	小児食物アレルギー負荷検査	日本アレルギー学会		37
未	204101	人工知能使用指針を準拠した施設を評価(対象医療機関の拡大)	日本医学放射線学会		42
未	204103	小児腹部骨盤部単純X線写真:生殖腺防護に関する説明加算	日本医学放射線学会		52
既	204201	画像診断管理加算2の見直し(2.5の創設)	日本医学放射線学会		57
既	204203	遠隔連携診療料の項目追加 診断困難小児稀少疾患の画像読影	日本医学放射線学会		67
既	204204	小児画像診断管理加算(小児)(小児被ばく低減加算)	日本医学放射線学会		72
既	204205	ガイドラインを用いた画像診断管理加算の遠隔診療併用の要件緩和	日本医学放射線学会		77
未	206101	生体臓器ドナーの自発的意思の確認のための第三者面接料	日本移植学会		82
既	206201	臓器移植待機中の抗HLA抗体検査(スクリーニング・同定)	日本移植学会		87
未	208101	遠隔連携遺伝性腫瘍カウンセリング加算	日本遺伝カウンセリング学会		97
既	208201	遠隔連携遺伝カウンセリングの難病限定の解除	日本遺伝カウンセリング学会		102
既	209201	NCCオンコパネルによる遺伝性腫瘍および遺伝性疾患の診断	日本遺伝子診療学会		122
既	210201	二次性骨折予防継続管理料:対象疾患の拡大	日本運動器科学会		132
既	210202	骨粗鬆症における骨代謝マーカー測定要件の見直し	日本運動器科学会		137
既	210204	運動器リハビリテーション:初期・早期加算の適応拡大	日本運動器科学会		147

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、  
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	210205	運動器リハビリ:標準的算定期間除外対象疾患の拡大	日本運動器科学会		152
既	214201	クロストリジオイデス・ディフィシルのトキシンB遺伝子検出検査	日本化学療法学会		162
未	215101	18F標識フルシクロピンをを用いた場合のポジトロン断層撮影、ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影、ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影	日本核医学会		167
未	215102	抗がん剤としての治療用放射性医薬品無菌製剤処理加算	日本核医学会		172
既	215202	ポジトロン断層撮影(FDG-PET)、ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影(FDG-PET/CT)又は乳房用ポジトロン断層撮影による乳癌術前補助療法の治療効果判定	日本核医学会		188
既	215203	ポジトロン断層撮影、ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影、ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影及び乳房用ポジトロン断層撮影(治療効果判定・再病期診断の追加)	日本核医学会		193
既	215205	核医学診断(シングルホトンエミッションコンピューター断層撮影 心筋血流予備能比(技術料加算))	日本核医学会		203
既	215206	PET/MRI検査(FDGを用いた場合)	日本核医学会		209
既	215207	シンテグラムおよびシングルホトンエミッションコンピューター断層撮影(放射性医薬品管理者配置)	日本核医学会		214
既	215208	「ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影(一連の検査につき)」の心臓サルコイドーシスへの適応拡大	日本核医学会		219
既	216201	内視鏡的経口カプセル内視鏡留置術	日本カプセル内視鏡学会		224
未	217101	緑内障治療管理料	日本眼科学会		229
未	219101	ハートチーム加算	日本冠疾患学会		240
未	219102	冠動脈血流予備能測定検査QFR	日本冠疾患学会		245
未	220101	感染症コンサルテーション	日本感染症学会		250
未	221101	肝臓リハビリテーション(運動療法)肝疾患運動管理加算	日本肝臓学会		256
未	221102	糖鎖欠損トランスフェリン(GDT)トランスフェリン比	日本肝臓学会		261
未	221103	自己免疫性肝炎における抗平滑筋抗体の測定	日本肝臓学会		266
未	221104	肝腫瘍診断・治療のための画像ナビゲーションシステム	日本肝臓学会		271
既	223201	外来緩和ケア管理料(疼痛)	日本緩和医療学会		276
既	223202	がん患者指導管理料イの算定回数制限撤廃	日本緩和医療学会		281

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、  
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	223203	がん患者指導管理料イの上位点数の追加設定	日本緩和医療学会		286
既	223204	がん性疼痛緩和指導管理料	日本緩和医療学会		291
既	223205	外来緩和ケア管理料(心不全要件の変更)	日本緩和医療学会		296
未	225101	在宅輸血加算	日本血液学会		301
既	225201	B001-2-12「外来腫瘍化学療法診療料1」、「外来腫瘍化学療法診療料2」ならびに付帯する「連携充実加算」、「小児加算」における加算算定項目としての「皮下注射」の追加	日本血液学会		311
既	225202	JAK2遺伝子変異解析	日本血液学会		316
既	225203	赤血球・好中球表面抗原検査	日本血液学会		321
既	226201	特定薬剤治療管理料1	日本結核・非結核性抗酸菌症学会		326
未	228101	電子媒体記録あるいはデータ伝送システムによる夜間血圧測定	日本高血圧学会		331
既	228201	高血圧症治療補助プログラム加算	日本高血圧学会		341
未	229101	トレイルメイキングテスト(TMT-J)	日本高次脳機能障害学会		346
未	229102	オンライン診療による認知機能評価	日本高次脳機能障害学会		351
未	230101	びまん性肺疾患集学的合議評価提供料	日本呼吸器学会		356
既	230201	外来緩和ケア管理料(呼吸不全)	日本呼吸器学会		362
既	230202	CPAP使用、PSGに関する在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料2の算定要件(3)のウの改訂	日本呼吸器学会		367
既	230203	CPAP遠隔モニタリング普及推進を目指す在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料2の(6)の修正	日本呼吸器学会		372
既	230205	在宅酸素療法指導管理料の遠隔モニタリング加算	日本呼吸器学会		384
既	231201	呼吸器疾患診断のための細胞診検体における特殊染色	日本呼吸器内視鏡学会		394
未	232101	外来呼吸ケア管理料	日本呼吸ケア・リハビリテーション学会		399
未	232103	呼吸筋力測定	日本呼吸ケア・リハビリテーション学会		410
既	232201	在宅ハイフローセラピー装置加算	日本呼吸ケア・リハビリテーション学会		415

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、  
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	232202	呼吸器リハビリテーション料	日本呼吸ケア・リハビリテーション学会		421
既	232203	D222在宅経皮的血液ガス分圧測定1, 2及び算定要件(1)イの修正	日本呼吸ケア・リハビリテーション学会		426
未	233101	酸素ポンベ安全性加算	日本呼吸療法医学会		431
既	233201	基礎代謝測定(間接熱量測定)	日本呼吸療法医学会		435
未	235101	在宅急性呼吸不全酸素療法指導管理料	日本在宅医療連合学会		440
未	235103	栄養サポートカンファレンス料	日本在宅医療連合学会		450
未	235104	在宅持続硬膜外ブロック指導管理料	日本在宅医療連合学会		456
未	235105	在宅心不全患者指導管理料	日本在宅医療連合学会		461
未	235106	在宅人工呼吸器指導管理料の加湿器加算	日本在宅医療連合学会		466
既	235205	医療機関からの緊急訪問看護と訪問看護ステーションからの訪問リハビリテーションの同日算定を可能にする	日本在宅医療連合学会		490
既	235206	医療機関からの訪問看護での訪問看護情報提供料算定可能にする	日本在宅医療連合学会		495
既	235207	医療機関からの訪問看護において退院支援指導加算を算定可能にする	日本在宅医療連合学会		500
既	235208	専門医療往診加算	日本在宅医療連合学会		505
既	235209	訪問診療導入初診時加算	日本在宅医療連合学会		509
既	235210	重症急性疾患往診加算	日本在宅医療連合学会		514
未	236101	周産期メンタルヘルス・カウンセリング料	日本産科婦人科学会		518
既	236201	流産検体の染色体検査	日本産科婦人科学会		523
未	237101	遠隔分娩監視装置によるハイリスク妊婦管理料	日本産婦人科医会		528
既	238201	CT・MRI撮影 通則の見直し 画像診断における臨床情報の適切な記載	日本磁気共鳴医学会		533
既	238202	画像診断管理加算の変更(MRI検査の医療安全に関する要件追加)	日本磁気共鳴医学会		538
未	239101	ペアレントトレーニング	日本児童青年精神医学会		543

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、  
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
未	239104	感覚プロフィール(SP)	日本児童青年精神医学会		558
既	239201	通院・在宅精神療法 児童思春期精神科専門管理加算 施設基準(5)診療所の施設基準の変更	日本児童青年精神医学会		563
既	239202	通院・在宅精神療法 児童思春期精神科専門管理加算 施設基準(2)専任の常勤精神科医の変更	日本児童青年精神医学会		568
未	240101	高齢者・中等度難聴指導管理料	日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会		573
未	240102	末梢前庭障害性めまい疾患指導管理料	日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会		579
既	240201	脳血管疾患等リハビリテーション料の対象疾患への末梢前庭障害(内耳性めまい)の追加	日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会		584
既	240202	「EBウイルス核酸定量」の上咽頭癌への算定要件の拡大	日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会		589
既	241201	サイトメガロウイルス核酸定量	日本周産期・新生児医学会		594
未	243101	INOCA(ischemia with non-obstructive coronary artery disease)における冠血流予備能および微小循環抵抗の測定による微小血管狭心症の診断	日本循環器学会		599
未	243102	心臓ペースメーカー指導管理料 遠隔モニタリング加算(植込型心電図の場合)	日本循環器学会		605
未	243103	心脂肪酸代謝SPECTIにおける後期像撮影と洗い出し率の算出	日本循環器学会		610
未	243104	患者およびその家族への心肺蘇生およびAEDやWCDに関する指導	日本循環器学会		615
既	243201	遠隔心大血管リハビリテーションオンライン管理指導料	日本循環器学会		620
既	243202	血圧脈波検査装置	日本循環器学会		625
既	243203	心房細動患者に合併した睡眠時無呼吸患者に対する在宅持続陽圧呼吸療法適応拡大	日本循環器学会		630
既	244201	ペドリズマブ(生物学的製剤)の外來化学療法加算	日本消化管学会		635
既	244202	食道内多チャンネルインピーダンス・pH測定検査	日本消化管学会		640
未	245101	消化器軟性内視鏡安全管理料	日本消化器内視鏡学会		645
未	245102	内視鏡的十二指腸乳頭切除術	日本消化器内視鏡学会		650
既	245201	内視鏡を用いた狭帯域光による画像強調観察法	日本消化器内視鏡学会		655
既	245202	超音波内視鏡検査(胆膵疾患診断目的の超音波内視鏡検査加算の増点)	日本消化器内視鏡学会		660

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、  
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	246201	炎症性腸疾患診断確定済み患者に対する遠隔連携診療料加算	日本消化器病学会		665
未	247101	小児アレルギー疾患指導管理料	日本小児アレルギー学会		670
既	247201	外来栄養食事指導料	日本小児アレルギー学会		676
既	247202	入院栄養食事指導料	日本小児アレルギー学会		681
既	248201	静脈麻酔	日本小児栄養消化器肝臓学会		686
未	250101	成人移行支援連携指導料1, 2	日本小児科学会		706
既	250201	小児特定疾患カウンセリング料	日本小児科学会		711
既	250203	注入ポンプ加算	日本小児科学会		721
既	251201	グロブリンクラス別ウイルス抗体価ヒトパルボウイルスB19	日本小児感染症学会		736
既	253201	携帯型精密輸液ポンプ加算	日本小児血液・がん学会		741
既	253202	在宅悪性腫瘍等患者指導管理料	日本小児血液・がん学会		746
未	254101	小児(乳幼児)在宅ハイフローセラピー指導管理料、小児(乳幼児)在宅ハイフローセラピー装置加算、乳幼児呼吸管理材料加算(2020年保険収載)の適応にハイフローセラピーを追加	日本小児呼吸器学会		756
未	255101	経皮的心房中隔欠損作成術 スタティック法	日本小児循環器学会		767
既	255201	低濃度酸素吸入	日本小児循環器学会		772
既	255202	経皮的動脈血酸素飽和度測定	日本小児循環器学会		777
未	256101	アデノ随伴ウイルスベクターを用いた遺伝子治療における拡散防止対策加算	日本小児神経学会		782
未	256102	顆粒球のフローサイトメトリーによるCD16測定	日本小児神経学会		787
既	256201	小児科療養指導料	日本小児神経学会		792
既	258201	リツキシマブ投与後の造血器腫瘍細胞抗原検査(D005 15)によるB細胞(CD20)モニタリング	日本小児腎臓病学会		802
未	259101	改訂版標準読み書きスクリーニング検査(STRAW-R)	日本小児精神神経学会		812
未	259102	ADHD評価スケール(ADHD-RS-5)	日本小児精神神経学会		817

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、  
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	259202	WISC-R知能検査	日本小児精神神経学会		827
既	259203	全訂版田中ビネー知能検査	日本小児精神神経学会		832
未	260101	小児肥満指導管理料	日本小児内分泌学会		837
既	260201	血糖自己測定器加算 間欠スキャン式持続血糖測定器によるもの	日本小児内分泌学会		842
既	261201	多関節に活動性を有する若年性特発性関節炎の患者に対してアバタセプト製剤を投与した場合の外来化学療法加算	日本小児リウマチ学会		847
未	262101	更年期症候群治療管理技術	日本女性医学学会		852
未	265101	心臓超音波検査3次元画像法	日本心エコー図学会		858
未	265102	Global Longitudinal Strainによるがん治療薬関連心筋障害の診断	日本心エコー図学会		863
未	265103	心臓超音波検査による心臓弁膜症の定量評価	日本心エコー図学会		868
未	265104	心臓超音波検査のデジタル動画保存加算	日本心エコー図学会		873
既	265201	経胸壁心エコー法と経食道心エコー法を同一日に検査した際の診療報酬の個別算定	日本心エコー図学会		878
未	266101	血清コレステロール測定(血液)	日本神経学会		883
未	266102	難治性片頭痛・三叉神経自律神経性頭痛指導料	日本神経学会		888
既	266201	神経学的検査(D239-3)	日本神経学会		894
既	266202	薬剤投与用胃瘻造設術	日本神経学会		899
既	266203	経管栄養・薬剤投与用 カテーテル交換法	日本神経学会		904
既	266204	デジタル脳波判読の遠隔診断	日本神経学会		909
未	268101	難病患者治療継続生活指導管理料	日本神経治療学会		914
既	268201	排痰補助装置による治療	日本神経治療学会		919
既	269201	視神経脊髄炎スペクトラム障害に対するイネピリズマブの外来化学療法加算	日本神経免疫学会		924
既	269202	重症筋無力症および視神経脊髄炎に対するエクリズマブの外来化学療法加算	日本神経免疫学会		929

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、  
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	270201	血流予備量比コンピューター断層撮影	日本心血管インターベンション治療学会		934
既	271201	重症過敏性腸症候群に対する認知行動療法	日本心身医学会		939
既	271202	軽度・中等度の神経性やせ症に対する認知行動療法	日本心身医学会		944
既	271203	神経性過食症に対するガイドセルフヘルプ認知行動療法	日本心身医学会		949
既	271204	特定疾患カウンセリング	日本心身医学会		954
既	272201	アルブミン非結合型ビリルビン	日本新生児成育医学会		959
未	273101	腎容積測定加算	日本腎臓学会		964
既	273201	難治性高コレステロール血症を随伴する薬物治療抵抗性ネフローゼ症候群に対するLDLアフェレシス療法	日本腎臓学会		969
既	273202	経皮的腎生検	日本腎臓学会		974
既	273203	尿蛋白量評価における尿中クレアチニン測定の実験適用	日本腎臓学会		979
未	276101	心不全再入院予防指導管理料	日本心臓リハビリテーション学会		984
既	276201	肺高血圧症を心大血管リハビリテーションの対象疾患に含める	日本心臓リハビリテーション学会		989
既	276202	リハビリテーション実施計画書の説明医師の条件に、専任医師以外の主治医または担当医にも拡大	日本心臓リハビリテーション学会		994
既	276203	心大血管リハビリテーション料に関わる施設基準の拡大：追加専任従事者としての臨床検査技師等の活用とチーム医療の強化	日本心臓リハビリテーション学会		999
既	278201	心アミロイドーシスの診断補助目的のための高感度心筋トロポニン測定	日本心不全学会		1004
未	279101	心療内科外来チーム診療料	日本心療内科学会		1009
既	279201	心身医学療法	日本心療内科学会		1014
既	279202	慢性痛に対する認知療法・認知行動療法	日本心療内科学会		1019
既	280203	BRCA1/2遺伝子検査(血縁者診断、確定診断)	日本人類遺伝学会		1044
既	280204	乳癌サーベイランス	日本人類遺伝学会		1049
既	280205	BRCA1/2遺伝子検査(HBOC)	日本人類遺伝学会		1054

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、  
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	280206	卵巣がんサーベイランス(乳癌発症者限定の解除)	日本人類遺伝学会		1059
既	281201	生殖細胞系列BRCA1/2病的バリエント保持者に対する膵癌サーベイランスの一環としての超音波内視鏡検査(EUS)の保険適応	日本膵臓学会		1064
既	281202	生殖細胞系列BRCA1/2病的バリエント保持者に対する膵癌サーベイランスの一環としての磁気共鳴画像(MRI)の保険適応	日本膵臓学会		1069
未	282101	覚醒維持検査	日本睡眠学会		1074
未	282102	アクチグラフ	日本睡眠学会		1079
既	282201	認知療法・認知行動療法(適応追加)	日本睡眠学会		1084
既	282202	終夜睡眠ポリグラフィ	日本睡眠学会		1089
未	283101	頭痛ダイアリーによる慢性頭痛の遠隔診断・治療支援技術管理料	日本頭痛学会		1094
既	283201	難治性片頭痛に対する認知行動療法	日本頭痛学会		1099
既	283202	群発頭痛の在宅酸素療法指導管理料遠隔モニタリング	日本頭痛学会		1104
既	283203	情報通信機器を用いて頭痛患者の診断もしくは治療をかかりつけ医と連携して専門医が診療する遠隔連携診療加算	日本頭痛学会		1109
既	284201	梅毒血清反応(STS)定性検査、梅毒トレポネーマ抗体定性	日本性感染症学会		1114
未	285101	四肢骨格筋量測定(四肢・体幹の筋肉量、脂肪量) ①DEXA法 ②BIA法	日本整形外科学会		1119
未	286101	不妊治療前の夫の感染症検査	日本生殖医学会		1124
未	286102	不妊治療カウンセリング料	日本生殖医学会		1129
未	286103	射出精子凍結・融解に関する診療報酬点数の新設	日本生殖医学会		1134
既	286201	抗ミューラー管ホルモン測定要件の緩和	日本生殖医学会		1139
既	286202	Y染色体微小欠失検査実施の施設要件緩和	日本生殖医学会		1144
既	286203	精巣内精子採取術回収精子を用いた際の加点の回数緩和	日本生殖医学会		1149
未	287101	糖尿病等の生活習慣病に罹患した通院患者の診療に対する評価	日本精神科病院協会		1154
未	287102	精神科デイ・ケアにおける認知機能リハビリテーション加算	日本精神科病院協会		1159

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、  
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	287201	経頭蓋磁気刺激療法	日本精神科病院協会		1169
既	287203	持続性抗精神病注射薬剤治療指導管理料	日本精神科病院協会		1179
既	287204	入院精神療法(20歳未満)	日本精神科病院協会		1184
既	287205	通院・在宅精神療法 児童思春期精神科管理加算・児童思春期精神科専門管理加算	日本精神科病院協会		1189
既	287206	通院・在宅精神療法の指定医要件の見直し	日本精神科病院協会		1194
既	287207	精神科訪問看護・指導料	日本精神科病院協会		1200
既	287208	救急患者精神科継続支援料	日本精神科病院協会		1205
未	288101	統合失調症ミスマッチ反応検査	日本精神神経学会		1210
既	288201	通院在宅精神療法 注3の加算の算定期限の延長	日本精神神経学会		1220
既	288202	通院在宅・精神療法の算定要件変更	日本精神神経学会		1225
既	288203	精神科ショート・ケア、精神科デイ・ケア(児童思春期加算)	日本精神神経学会		1230
既	288204	WAIS-IV成人知能検査	日本精神神経学会		1235
既	288205	認知症検査に対する初診月における回数制限の撤廃	日本精神神経学会		1240
既	288206	ハイリスク妊産婦連携指導料1,2	日本精神神経学会		1245
既	288207	「通院・在宅精神療法」30分未満の増点	日本精神神経学会		1250
既	288208	向精神薬の多剤減算	日本精神神経学会		1255
未	289101	成人先天性心疾患外来指導管理料	日本成人先天性心疾患学会		1260
既	291201	間歇的導尿(1日につき)の適応・回数制限の見直しと高機能カテーテル加算	日本脊髄障害医学会		1265
既	291202	横隔神経電気刺激装置加算	日本脊髄障害医学会		1271
既	293201	在宅患者訪問点滴注射管理指導料	日本先天代謝異常学会		1276
未	294101	特定薬剤治療管理料対象薬として「ブスルファン注射液」を追加	日本造血・免疫細胞療法学会		1282

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、  
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	294201	血液疾患外来リハビリテーション診療料	日本造血・免疫細胞療法学会		1292
既	294202	周術期口腔機能管理後手術加算	日本造血・免疫細胞療法学会		1297
既	294203	K921-3【末梢血単核球採取(一連につき)】	日本造血・免疫細胞療法学会		1302
既	294204	K922 造血幹細胞移植 3 臍帯血移植	日本造血・免疫細胞療法学会		1307
既	294205	造血幹細胞の細胞調製及び凍結保存	日本造血・免疫細胞療法学会		1312
既	298201	遠隔連携診療料	日本てんかん学会		1323
既	298202	認知機能検査その他の心理検査	日本てんかん学会		1328
未	299101	透析患者における弁膜症治療の選択	日本透析医学会		1333
未	299102	感染症流行期トリアージ加算	日本透析医学会		1338
既	299201	在宅透析患者管理における遠隔モニタリング加算	日本透析医学会		1343
未	301101	アキレス腱断裂修復術(形成を伴うもの)	日本足の外科学会		1348
未	301102	脛骨遠位骨切り術	日本足の外科学会		1352
既	301201	中足骨骨切り術(別手術野算定の関節リウマチ患者限定を解除)	日本足の外科学会		1357
未	302101	急性期脳梗塞における脳CT灌流画像検査	日本医学放射線学会		1362
未	302102	X線動画撮影ならびに動画処理	日本医学放射線学会		1367
未	302103	脂肪肝定量MRI撮影加算	日本医学放射線学会		1372
既	302201	コンピューター断層診断 算定回数の見直し	日本医学放射線学会		1377
既	302202	大腸CT撮影加算の適応拡大	日本医学放射線学会		1382
既	302203	先進画像加算:冠動脈・心臓CT撮影加算の見直し	日本医学放射線学会		1387
既	303201	胃悪性腫瘍手術・幽門側切除術(ロボット支援)	日本胃癌学会		1392
既	303202	胃悪性腫瘍手術・全摘(ロボット支援)	日本胃癌学会		1397

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、  
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	303203	胃悪性腫瘍手術・噴門側切除術(ロボット支援)	日本胃癌学会		1402
未	304101	死体移植腎機械灌流保存技術	日本移植学会		1407
未	305101	開腹を伴う門脈塞栓術	日本インターベンショナルラジオロジー学会		1412
未	305102	経頸静脈的肝生検	日本インターベンショナルラジオロジー学会		1417
未	306101	拡散型圧力波疼痛治療術	日本運動器科学会		1421
未	306102	小関節テーピング	日本運動器科学会		1426
既	306201	腱鞘内注射(増点)	日本運動器科学会		1431
既	306202	トリガーポイント注射と神経ブロックの併算定	日本運動器科学会		1435
既	306204	超音波骨折治療法の疲労骨折への適応拡大	日本運動器科学会		1443
未	307101	慢性疼痛リハビリテーション料	日本運動器疼痛学会		1448
未	308101	マイボーム腺機能検査	日本角膜学会		1452
未	308102	涙液動態検査	日本角膜学会		1457
未	308103	眼瞼光線治療(IPL)	日本角膜学会		1462
既	308201	前眼部三次元画像解析の適応拡大	日本角膜学会		1466
既	308202	羊膜移植術(通則14の適用)	日本角膜学会		1471
未	309101	肩腱板断裂手術(腱板断裂5cm未満、関節授動術を伴う)(関節鏡下)	日本肩関節学会		1476
未	309102	肩甲骨烏口突起移行術	日本肩関節学会		1480
未	309103	肩関節唇形成術(肩甲骨烏口突起移行術を伴うもの)(関節鏡下)	日本肩関節学会		1484
未	310101	前眼部デジタル撮影	日本眼科医会		1489
未	310102	洗眼	日本眼科医会		1494
既	310203	疾患に応じた眼底三次元画像解析の算定頻度の変更	日本眼科医会		1509

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、  
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	310206	眼鏡処方箋発行加算	日本眼科医会		1524
未	311101	実用視力検査	日本眼科学会		1529
既	311201	未熟児網膜症に対する硝子体内注射	日本眼科学会		1534
既	311203	幼児及び学童の近視に対する眼軸長測定	日本眼科学会		1544
既	311205	超音波断層検査(眼瞼腫瘍等の適応拡大)	日本眼科学会		1553
未	312101	大腿骨遠位骨切り術	日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会		1558
未	312102	半月板制動術(関節鏡視下)	日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会		1563
未	313101	膵中央切除術(腹腔鏡下)	日本肝胆膵外科学会		1568
未	313102	膵中央切除術(ロボット支援)	日本肝胆膵外科学会		1573
既	313201	膵体尾部切除(リンパ節郭清を伴う)(腹腔鏡下)	日本肝胆膵外科学会		1578
既	313202	膵体尾部切除(リンパ節郭清を伴う)(ロボット支援)	日本肝胆膵外科学会		1583
未	314101	不可逆的全脳機能不全管理料	日本救急医学会		1588
未	314102	人工呼吸(腹臥位療法)	日本救急医学会		1593
未	314103	尿中薬物簡易スクリーニング検査	日本救急医学会		1597
未	314104	救命のための骨髄路確保	日本救急医学会		1601
既	314201	切開創局所陰圧閉鎖処置機器加算	日本救急医学会		1610
未	315101	ロボット支援下弁置換術(1弁)	日本胸部外科学会		1615
未	315102	胸腔鏡下心房中隔欠損閉鎖術	日本胸部外科学会		1620
未	315103	ロボット支援下心房中隔欠損閉鎖術	日本胸部外科学会		1625
未	315104	ロボット支援下弁置換術(2弁)	日本胸部外科学会		1630
既	315201	同種心移植術	日本胸部外科学会		1635

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、  
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	315202	植込型補助人工心臓設置術においてK601人工心肺を同時算定できるようにする	日本胸部外科学会		1640
既	315203	植込型補助人工心臓設置術においてK552 冠動脈バイパス術、K554 弁形成術、K555 弁置換手術、K557 大動脈弁上狭窄手術、K560 大動脈瘤切除術、K594 不整脈手術 を同時算定できるようにする	日本胸部外科学会		1645
既	315204	補助人工心臓設置術においてK552、K552-2 冠動脈バイパス移植術、K554 弁形成術、K555 弁置換手術、K557 大動脈弁上狭窄手術、K560、K560-2 大動脈瘤切除術、K594 不整脈手術 を同時算定できるようにする	日本胸部外科学会		1650
未	316101	皮膚良性腫瘍摘出術・皮下良性腫瘍摘出術・露出部、長径8cm以上	日本形成外科学会		1655
未	316102	皮膚良性腫瘍摘出術・皮下良性腫瘍摘出術・露出部、長径4cm以上-8cm未満	日本形成外科学会		1660
未	316103	ケロイド(肥厚性瘢痕)内注射	日本形成外科学会		1665
未	316104	慢性膿皮症手術	日本形成外科学会		1670
既	316201	自家脂肪注入の適応拡大	日本形成外科学会		1675
既	316202	切開創局所陰圧閉鎖処置機器加算 適応拡大-ハイケアユニット入院管理料の追加(施設基準)	日本形成外科学会		1680
既	316203	超音波凝固切開装置等加算適応拡大	日本形成外科学会		1685
既	316204	性同一性障害に対する乳房切除術増点(通則4 性同一障害の患者に対する手術)	日本形成外科学会		1690
既	316205	乳房再建術(ゲル充填人工乳房によるもの)適応拡大	日本形成外科学会		1695
未	317101	手術部位感染予防対策加算	日本外科学会		1700
既	317201	手術通則14の改正	日本外科学会		1705
既	317202	自動縫合器・吻合器加算の適応拡大	日本外科学会		1709
未	318101	プレハビリテーション加算	日本外科代謝栄養学会		1712
未	318102	腸管不全治療マネジメント加算	日本外科代謝栄養学会		1717
既	318201	重症腸管不全治療患者における特殊管理加算	日本外科代謝栄養学会		1722
既	318202	小児重症腸管不全治療患者における特殊管理加算の引き上げ	日本外科代謝栄養学会		1727
既	319201	高気圧酸素治療 治療回数制限の追加と見直し	日本高気圧環境・潜水医学会		1732
既	320201	寛骨臼移動術	日本股関節学会		1737

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、  
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	320202	股関節唇縫合術(関節鏡下)における関節鏡下骨軟骨形成加算	日本股関節学会		1742
未	321101	胸腔鏡下肺切除術区域切除(内視鏡手術用支援機器を用いた) →肺切除術(区域切除)(ロボット支援)	日本呼吸器外科学会		1747
未	321102	胸腔鏡下肺切除術肺葉切除又は1肺葉を超えるもの(内視鏡手術用支援機器を用いた) →肺切除術(肺葉切除)(ロボット支援)	日本呼吸器外科学会		1752
未	321103	肺悪性腫瘍手術(肺全摘)(胸腔鏡下)	日本呼吸器外科学会		1757
既	321201	胸腔鏡手術での肺腫瘍手術と縦隔腫瘍手術の組み合わせ(同一手術野又は同一病巣手術)	日本呼吸器外科学会		1762
既	321202	移植用肺採取術(死体)(両側)	日本呼吸器外科学会		1767
既	321203	胸腔内(胸膜内)血腫除去術(胸腔鏡下)	日本呼吸器外科学会		1772
既	321204	肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)(胸腔鏡下)	日本呼吸器外科学会		1777
既	322201	経気管支凍結生検法	日本呼吸器内視鏡学会		1792
既	322202	全肺洗浄術	日本呼吸器内視鏡学会		1797
未	323101	コンピューター支援骨形態制御手術(創外固定器による)	日本骨折治療学会		1802
未	323102	関節内変形治癒骨折矯正手術	日本骨折治療学会		1807
未	323103	インプラント周囲偽関節手術(単純)	日本骨折治療学会		1812
未	323104	インプラント周囲偽関節手術(複雑)	日本骨折治療学会		1817
既	323201	緊急骨折観血の手術・大腿	日本骨折治療学会		1822
既	323202	緊急人工骨頭挿入術・股関節	日本骨折治療学会		1827
未	324101	子宮悪性腫瘍手術(広汎切除)(ロボット支援)	日本産科婦人科学会		1832
既	324201	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術適応拡大と増点	日本産科婦人科学会		1837
既	324202	子宮付属器腫瘍切除術(腹腔鏡下)	日本産科婦人科学会		1842
既	324203	ロボット支援下子宮悪性腫瘍手術(単純)(傍大動脈リンパ節郭清を含む)	日本産科婦人科学会		1847
既	324204	子宮付属器腫瘍切除術(開腹)	日本産科婦人科学会		1852

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、  
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
未	325101	子宮内膜ポリープ切除術(子宮鏡下電解質利用・組織切除回収システムによるもの)	日本産科婦人科内視鏡学会		1857
未	325102	子宮鏡下子宮癒痕部修復術	日本産科婦人科内視鏡学会		1861
未	325103	ロボット支援下腔断端挙上術	日本産科婦人科内視鏡学会		1866
未	325104	子宮鏡下子宮筋腫摘出術(組織摘出回収システムによるもの)	日本産科婦人科内視鏡学会		1871
既	325201	腹腔鏡下子宮全摘術または腹腔鏡下子宮筋腫摘出術におけるIn-bag morcellation加算	日本産科婦人科内視鏡学会		1876
既	326201	流産手術(妊娠11週までのもの)	日本産婦人科医学会		1881
未	327101	子宮腺筋症病巣除去術	日本産婦人科手術学会		1885
未	328101	乳房トモシンセシス	日本磁気共鳴医学会		1890
未	328102	先進画像加算:肝細胞特異性造影剤を用いた肝悪性腫瘍MR	日本磁気共鳴医学会		1895
未	328103	急性期脳梗塞における脳MRI灌流画像検査	日本磁気共鳴医学会		1900
未	328104	小児脳MRS加算	日本磁気共鳴医学会		1905
既	328201	全身MRI撮影加算悪性腫瘍適応拡大	日本磁気共鳴医学会		1910
既	328202	心臓MRI撮影加算の増点	日本磁気共鳴医学会		1915
既	328203	肝エラストグラフィ撮影加算	日本磁気共鳴医学会		1920
既	328204	骨軟部全身MRI撮影加算	日本磁気共鳴医学会		1925
既	328205	全脊椎MRI撮像加算 全脊椎適応拡大	日本磁気共鳴医学会		1930
既	328206	小児全身(拡散強調画像)MRI撮像加算	日本磁気共鳴医学会		1935
未	329101	自己血貯血(全血200mLごと)(保存前白血球除去)	日本自己血輸血・周術期輸血学会		1940
既	329201	貯血式自己血輸血管理体制加算	日本自己血輸血・周術期輸血学会		1945
未	330101	鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(片側あるいは両側頭部郭清術を伴うもの)	日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会		1950
未	330102	内視鏡下鼻中隔手術Ⅲ型(前弯矯正術)(内視鏡下)、内視鏡下鼻中隔手術Ⅳ型(外鼻形成術を伴う)(内視鏡下)	日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会		1955

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、  
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
未	330103	鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(経鼻内視鏡下)	日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会		1959
未	330104	内視鏡下上咽頭擦過療法(Endoscopic Epipharyngeal Abrasive Therapy:E-EAT)	日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会		1964
既	330201	脊髄誘発電位測定等加算 耳科手術に用いた場合の追加	日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会		1968
既	330202	超音波凝固切開装置等加算	日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会		1973
既	330203	鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)、鏡視下喉頭悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会		1978
既	330204	上顎洞、篩骨洞鼻外手術	日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会		1983
既	330205	前頭洞、篩骨洞鼻外手術	日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会		1987
既	330206	篩骨洞、蝶形骨洞鼻外手術	日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会		1991
既	330207	上顎洞、篩骨洞、蝶形骨洞鼻外手術	日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会		1995
既	330208	上顎洞、篩骨洞、前頭洞鼻外手術	日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会		1999
既	330209	前頭洞、篩骨洞、蝶形骨洞鼻外手術	日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会		2003
未	331101	母子(胎児・胎盤・臍帯)MRI撮影加算	日本周産期・新生児医学会		2007
既	331201	経鼻栄養・薬剤投与用チューブ挿入術に対する乳幼児加算	日本周産期・新生児医学会		2011
未	332101	大腸内視鏡のAI診断支援	日本消化器内視鏡学会		2014
未	332102	内視鏡治療後欠損部閉鎖法	日本消化器内視鏡学会		2019
未	332103	上部消化管内視鏡検査(AI診断支援あり)	日本消化器内視鏡学会		2024
既	332201	内視鏡的胃食道逆流防止術	日本消化器内視鏡学会		2029
既	332202	POEMの増点	日本消化器内視鏡学会		2033
既	332203	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術(5cm超)	日本消化器内視鏡学会		2038
既	332204	内視鏡的胃静脈瘤組織接着剤注入術の特定保険材料算定	日本消化器内視鏡学会		2043
未	333101	潰瘍性大腸炎関連腫瘍大腸粘膜下層剥離術	日本消化器病学会		2048

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、  
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	334201	内視鏡的小腸ポリープ切除術	日本消化管学会		2053
既	334202	高解像度食道運動機能検査	日本消化管学会		2057
未	335101	連続携帯式腹腔灌流用カテーテル腹腔内留置術(腹腔鏡下)	日本小児外科学会		2062
既	335201	腸重積症整復術 1 非観血的なもの 複数回算定	日本小児外科学会		2072
既	335203	シロリムスを投与している難治性リンパ管疾患の患者への特定薬剤治療管理料の算定	日本小児外科学会		2079
既	335204	ヒルシუსプルング病診断のための直腸粘膜生検に対する「組織試験採取、切採法、直腸(D417 11)」の加算	日本小児外科学会		2083
未	336101	腹腔鏡下膀胱尿管逆流手術(膀胱外アプローチ)	日本小児泌尿器科学会		2086
未	336102	ロボット支援下膀胱尿管逆流手術(膀胱外アプローチ)	日本小児泌尿器科学会		2091
未	336103	精巣部分切除術	日本小児泌尿器科学会		2096
未	336104	腹腔鏡下停留精巣内精巣動脈結紮術	日本小児泌尿器科学会		2101
未	337101	空気容積脈波	日本静脈学会		2106
既	337202	四肢血管拡張術	日本静脈学会		2116
未	338101	在宅創傷治療指導管理料	日本褥瘡学会		2121
既	338201	局所陰圧閉鎖処置(算定期間の延長)	日本褥瘡学会		2136
未	339101	食道悪性腫瘍切断術(頸部食道)(喉頭温存)(消化管再建を伴う)(頸部、腹部の操作)(血管吻合を伴うもの)	日本食道学会		2141
既	339201	脊髄誘発電位測定等加算 食道悪性腫瘍手術に用いた場合の増点	日本食道学会		2146
既	339202	内視鏡的食道狭窄拡張術(拡張用バルーンによる)(非透視)の一連の限定解除	日本食道学会		2151
既	340201	経皮的冠動脈ステント留置術(急性心筋梗塞に対する)	日本心血管インターベンション治療学会		2155
既	340202	経皮的冠動脈形成術(急性心筋梗塞に対する)	日本心血管インターベンション治療学会		2159
既	340203	経皮的中隔心筋焼灼術	日本心血管インターベンション治療学会		2163
既	340204	ラディアル加算(橈骨動脈アプローチ加算)	日本心血管インターベンション治療学会		2167

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、  
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	340205	血管内視鏡	日本心血管インターベンション治療学会		2172
未	341101	人工関節置換術・股関節(ロボット支援)	日本人工関節学会		2176
未	341102	人工関節置換術・膝関節(ロボット支援)	日本人工関節学会		2180
既	342201	同一手術野における複数手術の加算。対外式または小児または植込型補助人工心臓(K603またはK603-2またはK604-2)を以下の手術と同時に行った場合、「複数手術に係る費用の特例」を適用。(K552, K554, K555, K557, K557-2, K557-3, K560, K594)	日本人工臓器学会		2185
既	342202	体外式膜型人工肺管理料(K916)のK602経皮的心肺補助法への適応拡大	日本人工臓器学会		2190
既	342203	周術期人工臓器療法チーム設置加算	日本人工臓器学会		2195
未	343101	胸腔鏡下心臓腫瘍摘出術(単独)	日本心臓血管外科学会		2200
未	343102	胸腔鏡下冠動脈血行再建術(1吻合)	日本心臓血管外科学会		2205
未	343103	胸腔鏡下冠動脈血行再建術(2吻合)	日本心臓血管外科学会		2210
既	343201	自動縫合器加算	日本心臓血管外科学会		2215
既	343202	超音波凝固切開装置等加算	日本心臓血管外科学会		2220
既	344201	術中脳酸素モニタリング加算項目に頸動脈遮断もしくは同様の操作を伴う手術を追加する	日本心臓血管麻酔学会		2225
既	344202	L008閉鎖循環式全身麻酔において麻酔が困難な患者に先天性心疾患の適応例を追加する	日本心臓血管麻酔学会		2228
既	345201	ストーマ処置の合併症加算	日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会		2231
既	345202	病病連携による外来排尿自立指導料	日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会		2236
未	346101	運動器ハイドロリリース療法	日本整形外科学会		2241
既	347201	K047-3超音波骨折治療法のK081 1人工骨頭挿入術(肩)への適応拡大	日本整形外科勤務医会		2246
既	347202	ガングリオン穿刺術(J116-3)ガングリオン圧砕(J116-4)に(片側)の注釈をつけての算定	日本整形外科勤務医会		2251
未	349101	脊柱管拡大減圧術・頸椎(顕微鏡下)	日本脊髄外科学会		2264
未	349102	脊髄ヘルニア修復術	日本脊髄外科学会		2268
既	349201	顕微鏡下腰部脊柱管拡大減圧術加算	日本脊髄外科学会		2272

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、  
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	349202	癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)	日本脊髄外科学会		2277
既	349203	脊髄腫瘍摘出術・髄外腫瘍	日本脊髄外科学会		2281
既	349204	脊髄腫瘍摘出術・髄内腫瘍(グリオーマ)	日本脊髄外科学会		2285
既	349205	画像等手術支援加算 患者適合型手術支援ガイドに脊椎手術を追加	日本脊髄外科学会		2289
既	349206	空洞・くも膜下腔シャント術(脊髄空洞症に対するもの)	日本脊髄外科学会		2294
既	349207	脊髄血管腫摘出術	日本脊髄外科学会		2298
既	349208	脊椎披裂手術(神経処置を伴う)	日本脊髄外科学会		2302
未	350101	起立性低血圧予防訓練(脊髄損傷患者)	日本脊髄障害医学会		2306
未	350102	用手的呼気補助を併用した肺、気管支内喀痰吸引法(脊髄損傷者)	日本脊髄障害医学会		2311
未	350103	脊髄損傷患者退院支援リハビリテーションカンファレンス	日本脊髄障害医学会		2316
未	351101	腰椎固定術(ロボット支援)	日本脊椎脊髄病学会		2321
未	351102	脊椎側彎症手術 固定術(ロボット支援)	日本脊椎脊髄病学会		2325
既	351201	内視鏡下椎弓形成術における複数椎間加算	日本脊椎脊髄病学会		2329
既	351202	通則14の追加:内視鏡下椎間板切除術、内視鏡下椎弓切除術、内視鏡下椎弓形成術	日本脊椎脊髄病学会		2333
既	351203	椎間板内酵素注入療法(椎間板髄核融解術)	日本脊椎脊髄病学会		2337
既	351204	脊椎複数回手術後癒着剥離術加算	日本脊椎脊髄病学会		2342
既	351205	超音波凝固切開装置等加算	日本脊椎脊髄病学会		2347
未	352101	大腸局所切除(腹腔鏡下・内視鏡併用)	日本大腸肛門病学会		2351
既	352201	在宅経肛門的自己洗腸指導管理料(C119:800点)の適用拡大	日本大腸肛門病学会		2356
既	352202	自動吻合器加算(K732の2イ及びK732-2)の適用拡大	日本大腸肛門病学会		2361
既	352204	自動縫合器の適応拡大(腹腔鏡下結腸切除術)	日本大腸肛門病学会		2369

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、  
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	352205	電動自動吻合器加算	日本大腸肛門病学会		2374
未	353101	術中ICGイメージング(蛍光胆道造影)	日本胆道学会		2379
既	354201	超音波エラストグラフィ	日本超音波医学会		2383
既	355201	集束超音波による機能的定位脳手術	日本定位・機能神経外科学会		2387
既	355202	重症痙性麻痺治療薬髄腔内持続注入用植込型ポンプ交換術	日本定位・機能神経外科学会		2391
既	355203	脳刺激装置植込術	日本定位・機能神経外科学会		2394
既	355204	疼痛等管理用送信機加算	日本定位・機能神経外科学会		2399
既	355205	在宅振戦等刺激装置治療指導管理料	日本定位・機能神経外科学会		2402
既	356201	手術通則14へのK059-2関節鏡下自家骨軟骨移植術の追加	日本手外科学会		2406
既	356202	複雑な腱手術に対する入院外手術加算	日本手外科学会		2411
既	356203	K098手掌屈指筋縫合術	日本手外科学会		2416
未	357101	てんかんに対する機能的定位脳手術(破壊術)	日本てんかん学会		2420
既	358201	経皮的体外循環補助装置設置術(カフ型)	日本透析医学会		2425
既	358202	経皮的体外循環補助装置設置術(短期型)	日本透析医学会		2430
未	359101	骨盤内臓全摘術(腹腔鏡下)	日本内視鏡外科学会		2435
未	359102	骨盤内臓全摘術(ロボット支援)	日本内視鏡外科学会		2439
既	359201	ロボット支援直腸癌手術の手術分類適正	日本内視鏡外科学会		2443
既	359202	膝頭十二指腸切除術(ロボット支援)	日本内視鏡外科学会		2448
未	360101	対側乳房縮小・固定術(乳房再建、乳房部分切除後)	日本乳癌学会		2453
既	360201	遺伝性乳癌卵巣癌症候群に対する予防的乳房切除の保険点数増点	日本乳癌学会		2457
既	360202	乳腺悪性腫瘍手術(内視鏡下手術の適応拡大)	日本乳癌学会		2462

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、  
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	360203	組織拡張器による再建手術(乳房一次再建)併施の増点	日本乳癌学会		2466
未	361101	人工乳房除去術	日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会		2471
未	361102	乳房インプラント周囲漿液穿刺	日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会		2475
未	361103	ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(内視鏡下によるもの)	日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会		2479
未	361104	組織拡張器による再建手術(乳房の場合)(内視鏡下)	日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会		2484
既	361201	ゲル充填人工乳房 併施の増点	日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会		2489
既	361202	ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術の適応の修正	日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会		2494
未	363101	緊急穿頭血腫除去術	日本脳神経外科学会		2503
未	363102	脳硬膜血管結紮術	日本脳神経外科学会		2507
既	363201	水頭症手術におけるナビゲーション加算	日本脳神経外科学会		2511
既	363202	体温維持療法	日本脳神経外科学会		2515
既	363203	画像等手術支援加算 術前脳血管CT、特殊脳MRI等によるもの	日本脳神経外科学会		2519
既	363204	画像等手術支援加算 術中MRIによるもの	日本脳神経外科学会		2323
既	364201	経皮的脳血栓回収術(経皮的頸動脈ステント留置術併用加算)	日本脳神経血管内治療学会		2527
未	365101	尿失禁手術・再生幹細胞移植(経尿道)	日本排尿機能学会		2532
未	365102	内圧尿流検査(プレッシャーフロースタディ)	日本排尿機能学会		2537
未	365103	膀胱蓄尿監視(3日間)	日本排尿機能学会		2542
既	365201	排尿自立支援指導料の改訂	日本排尿機能学会		2552
未	366101	尿道狭窄根治的再建術	日本泌尿器科学会		2557
未	366102	プロスタグランジンE1陰茎海綿体注射テスト(PGE1テスト)	日本泌尿器科学会		2562
未	366103	膀胱結石、異物摘出術(経尿道)(レーザー)	日本泌尿器科学会		2567

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、  
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	366201	経尿道的レーザー前立腺切除・蒸散術(ツリウムレーザーを用いるもの)	日本泌尿器科学会		2571
既	366202	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)に係る施設基準の緩和	日本泌尿器科学会		2576
既	366203	腹腔鏡下副腎摘出手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下副腎髄質腫瘍摘出手術(褐色細胞腫)(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)の施設基準の緩和	日本泌尿器科学会		2581
既	366204	「経尿道的レーザー前立腺切除・蒸散術 ツリウムレーザーを用いるもの」、あるいは「経尿道的前立腺吊上術」と経尿道的膀胱結石摘出術の併施	日本泌尿器科学会		2586
既	367201	「K939 画像等手術支援加算 1 ナビゲーションによるもの(2,000点) 2 実物大臓器立体モデルによるもの(2,000点)」の腎部分切除術(K773、K773-2、K773-3、K773-4、K773-5、K773-6、K769、K769-2、K769-3)への適応拡大	日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会		2591
既	367202	「K939 画像等手術支援加算 1 ナビゲーションによるもの(2,000点) 2 実物大臓器立体モデルによるもの(2,000点)」の経皮的尿路結石除去術(K764)への適応拡大	日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会		2596
未	368101	皮膚病像撮影料	日本皮膚科学会		2601
既	368201	爪甲除去(麻酔を要しないもの)	日本皮膚科学会		2606
既	368202	皮膚科光線療法(2)長波紫外線又は中波紫外線療法(3)中波紫外線療法	日本皮膚科学会		2611
既	368203	パッチテスト	日本皮膚科学会		2615
既	368204	皮膚科軟膏処置	日本皮膚科学会		2620
既	368206	鶏眼、胼胝処置	日本皮膚科学会		2629
未	369101	スリープ状胃切除・バイパス術(腹腔鏡下)	日本肥満症治療学会		2633
既	369201	スリープ状胃切除術(腹腔鏡下)(適応拡大について)	日本肥満症治療学会		2643
既	369202	スリープ状胃切除術(腹腔鏡下)(増点について)	日本肥満症治療学会		2648
既	369203	スリープ状胃切除術(腹腔鏡下)(適応疾患追加について)	日本肥満症治療学会		2653
既	369204	スリープ状胃切除術(腹腔鏡下)(施設基準緩和について)	日本肥満症治療学会		2658
未	370101	酵素阻害剤・抗生物質持続動注療法	日本腹部救急医学会		2663
未	370102	腹腔内圧測定	日本腹部救急医学会		2668
未	371101	センチネルリンパ節生検術(子宮悪性腫瘍手術)	日本婦人科腫瘍学会		2673
未	371102	センチネルリンパ節生検術(女子外性器悪性腫瘍)	日本婦人科腫瘍学会		2678

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、  
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	372201	経皮的カテーテル心筋焼灼術(付加手技を伴う) (単独肺静脈隔離術および単独肺静脈隔離術を除くもの)	日本不整脈心電学会		2683
既	372202	「K598両心室ペースメーカー移植術」「K598-2両心室ペースメーカー交換術」「K599植込型 除細動器移植術」「K599-2植込型除細動器交換術」「K599-3両心室ペースメーカー機能付き 植込型除細動器移植術」「K599-4両心室ペースメーカー機能付き植込型除細動器交換術」に おける特掲診療料の施設基準の改訂(様式61・様式62・様式63)	日本不整脈心電学会		2688
既	372203	経静脈電極除去術 レーザーシースを用いないもの	日本不整脈心電学会		2693
既	372204	経静脈電極除去術 (レーザーシース使用)	日本不整脈心電学会		2698
既	372205	植込型ループ式連続モニター装置移植術	日本不整脈心電学会		2703
未	373101	伏在神経ブロック	日本ペインクリニック学会		2708
未	373102	脛骨神経ブロック	日本ペインクリニック学会		2713
未	373103	腓骨神経ブロック	日本ペインクリニック学会		2718
既	373201	L100にあるがL101にない神経ブロックのパルス高周波法適応(腕神経叢・深 頸神経叢・肩甲上・肩甲骨・筋皮・腋窩・正中・尺骨・橈骨)	日本ペインクリニック学会		2723
既	373202	椎間板内酵素注入療法に対する施行医師技術の適応拡大	日本ペインクリニック学会		2727
未	374101	鼠径ヘルニア手術(ロボット支援下)	日本ヘルニア学会		2732
未	374102	傍ストーマヘルニア手術	日本ヘルニア学会		2737
未	374103	腹腔鏡下傍ストーマヘルニア手術	日本ヘルニア学会		2741
未	375101	術中筋弛緩モニタリング加算	日本麻酔科学会		2746
未	375102	術中脳波麻酔モニタリング加算	日本麻酔科学会		2751
既	375201	低血圧麻酔の見直し	日本麻酔科学会		2755
未	376101	デジタル手術加算	日本網膜硝子体学会		2760
未	376102	眼底直視下微小視野検査(片側)	日本網膜硝子体学会		2765
既	376201	眼底カメラ撮影 広角眼底撮影加算の適応拡大	日本網膜硝子体学会		2770
未	377101	毛様体光凝固術(眼内内視鏡を用いるもの)	日本緑内障学会		2775
既	377201	緑内障手術(濾過手術)の増点	日本緑内障学会		2780

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、  
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	377202	緑内障手術(流出路再建術)(眼内法)の施設基準の見直し	日本緑内障学会		2784
未	378101	手術困難肥満加算	日本臨床外科学会		2789
既	378201	腹腔鏡下直腸脱手術(K742-2)メッシュ代の償還	日本臨床外科学会		2793
未	379101	超音波ガイド下腕神経叢麻酔	日本臨床整形外科学会		2796
未	379102	伝達麻酔:超音波ガイド下大腿・膝窩麻酔	日本臨床整形外科学会		2801
未	379103	エコー下関節内注射(股関節)	日本臨床整形外科学会		2806
未	379104	大関節テーピング(肘関節、手関節)	日本臨床整形外科学会		2810
未	379105	ギプス包帯固定管理	日本臨床整形外科学会		2815
既	379201	創傷処理(筋・臓器に達しない長径5cm以下)を指ごとに算定可とする	日本臨床整形外科学会		2819
既	379202	消炎鎮痛等処置複数部位加算	日本臨床整形外科学会		2823
既	380202	硬膜外自家血注入療法	日本臨床脳神経外科学会		2832
既	381201	尿路ストーマカテーテル交換法(片側)	日本臨床泌尿器科医会		2836
既	382201	リンパ浮腫複合的治療	日本リンパ浮腫治療学会		2846
未	402101	顎関節症検査(顎関節・咀嚼筋検査)	日本顎関節学会		2851
未	402102	習慣性顎脱臼に対する、自己血注射療法	日本顎関節学会		2856
既	402201	歯科口腔リハビリテーション料2	日本顎関節学会		2861
既	402202	顎関節人工関節全置換術における超音波切削器加算	日本顎関節学会		2866
既	402203	顎関節人工関節全置換術における術前模型診断加算	日本顎関節学会		2871
既	402204	顎関節人工関節全置換術における画像等手術支援加算(ナビゲーションによるもの)	日本顎関節学会		2876
既	403201	広範囲顎骨支持型装置埋入手術における画像等手術支援加算	日本顎顔面インプラント学会		2881
既	403202	下顎無歯顎高度顎堤吸収患者への広範囲顎骨支持型装置埋入手術	日本顎顔面インプラント学会		2886

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、  
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	403203	広範囲顎骨支持型装置埋入手術・適応イ	日本顎顔面インプラント学会		2891
既	403204	広範囲顎骨支持型装置埋入手術・適応二	日本顎顔面インプラント学会		2896
既	403205	広範囲顎骨支持型補綴	日本顎顔面インプラント学会		2901
既	403206	広範囲顎骨支持型装置埋入手術・増点	日本顎顔面インプラント学会		2906
既	403207	広範囲顎骨支持型装置における歯科疾患管理料等	日本顎顔面インプラント学会		2911
既	404201	歯科口腔リハビリテーション料1項目2(算定制限の見直し)	日本顎顔面補綴学会		2916
既	407201	上顎骨形成術ならびに下顎骨形成術における三次元シミュレーション	日本顎変形症学会		2925
既	407202	顎変形症患者を対象とした咀嚼能力検査	日本顎変形症学会		2929
既	407203	顎変形症患者を対象とした歯科口腔リハビリテーション	日本顎変形症学会		2933
既	407204	画像支援下(ナビゲーションによる)上顎骨形成術ならびに下顎骨形成術	日本顎変形症学会		2937
既	408201	厚生労働大臣が定める疾患に起因した咬合異常に係る適応症の拡大	日本矯正歯科学会		2942
未	409101	歯槽骨密度評価	日本口腔インプラント学会		2946
既	409201	インプラント周囲炎揺爬術(広範囲顎骨支持型装置揺爬術の一般インプラント装置への拡大)	日本口腔インプラント学会		2951
未	410101	重度歯周病発症リスク判定細菌検査	日本口腔衛生学会		2956
既	412201	三叉神経ニューロパチーに対する近赤外線レーザー機器加算	日本口腔顔面痛学会		2960
既	412202	口腔外科領域の周術期疼痛に対する三叉神経ブロック	日本口腔顔面痛学会		2965
未	413101	口腔悪性腫瘍光線力学療法	日本口腔外科学会		2970
未	413102	通信情報機器を用いた歯科オンライン連携診療	日本口腔外科学会		2974
既	413201	上顎骨悪性腫瘍手術ならびに下顎骨悪性腫瘍手術における超音波切削機器加算	日本口腔外科学会		2978
既	413202	神経再生誘導術(即時)	日本口腔外科学会		2983
既	413203	歯科特定疾患療養管理料(菌原性角化嚢胞)	日本口腔外科学会		2987

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、  
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	413204	歯科特定疾患療養管理料(口腔内母斑)	日本口腔外科学会		2991
既	413205	口腔粘膜蛍光観察検査の適応拡大(口腔病理診断料への加算の新設)	日本口腔外科学会		2995
未	418101	歯科特定疾患療養管理料における触覚機能検査	日本口腔リハビリテーション学会		3000
既	418201	口腔細菌定量検査	日本口腔リハビリテーション学会		3004
既	418202	歯科口腔リハビリテーション料1	日本口腔リハビリテーション学会		3008
既	421201	歯科疾患管理料に対する後期高齢(75歳以上)有病患者への管理加算新設	日本歯科医療管理学会		3012
既	421202	歯科衛生実地指導料の実施指導時間の統一及び同月2回目指導時の加算	日本歯科医療管理学会		3016
既	421203	歯周病安定期治療(2月1回算定)に対する糖尿病患者の治療間隔短縮症例(毎月算定)への位置づけ明確化	日本歯科医療管理学会		3020
未	424101	CAD/CAM冠のコーティング	日本歯科審美学会		3024
未	426101	医科医療機関連携加算	日本歯科放射線学会		3029
未	426102	歯槽骨密度検査	日本歯科放射線学会		3033
未	426103	歯科用X線ビームアライメント装置加算	日本歯科放射線学会		3037
既	426201	歯科部分パノラマ断層撮影	日本歯科放射線学会		3041
未	427101	根面露出象牙質硬さ検査	日本歯科保存学会		3044
未	427102	CAD/CAMインレー修復に対する光学印象法	日本歯科保存学会		3048
既	427201	唾液等飛沫による感染防止と患歯隔離のためのラバーダム防湿加算	日本歯科保存学会		3058
既	427202	歯髄温存療法(AIPC)	日本歯科保存学会		3063
既	427203	臼歯複雑窩洞充填時の隔壁加算	日本歯科保存学会		3067
既	427204	重度要介護高齢者等に対する充填処置加算	日本歯科保存学会		3072
未	428101	地域歯科麻酔連携体制加算	日本歯科麻酔学会		3077
既	428201	静脈内鎮静法『複雑な場合』	日本歯科麻酔学会		3081

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、  
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	430201	チタンおよびチタン合金によるブリッジ補綴	日本歯科理工学会		3086
未	432101	PISA(Periodontal Inflamed Surface Area: 歯周炎症表面積)検査	日本歯周病学会		3091
未	432102	結合組織移植術	日本歯周病学会		3096
未	432103	インプラント周囲組織検査	日本歯周病学会		3101
未	433102	抜髄時の高周波通電	日本歯内療法学会		3110
既	433201	NiTiロータリーファイルによる根管形成加算の施設基準の見直し	日本歯内療法学会		3115
既	433202	根管治療歯における歯冠修復物・支台築造物除去の個別算定	日本歯内療法学会		3120
未	434101	超重症児等在宅歯科医療管理加算	日本障害者歯科学会		3125
未	434102	障害児における幼保・学校への情報提供料	日本障害者歯科学会		3129
既	434201	咬傷防止装置(口腔内装置3)の調整料・修理料の算定	日本障害者歯科学会		3133
既	436201	小児の舌圧検査	日本小児歯科学会		3138
既	436202	小児保険装置	日本小児歯科学会		3143
既	436203	エナメル質初期う蝕管理加算(小児かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所)	日本小児歯科学会		3148
既	436204	小児、障がい児(者)における行動調整ラバーダム法	日本小児歯科学会		3153
未	437101	閉塞性睡眠時無呼吸症候群に対する気道確保のための歯科タイトレーション法	日本睡眠歯科学会		3157
未	437102	閉塞性睡眠時無呼吸症における口腔内装置適応診断のための簡易型睡眠評価装置	日本睡眠歯科学会		3162
既	437201	頭部エックス線規格写真	日本睡眠歯科学会		3166
既	439201	CAD/CAMインレー修復における象牙質レジンコーティング法加算	日本接着歯学会		3171
既	439202	間接法による複合レジンコア装着時の保険医療材料算定	日本接着歯学会		3177
未	440101	CAD/CAM法による臼歯部チタンクラウン	日本デジタル歯科学会		3182
未	441101	接着カンチレバー装置	日本補綴歯科学会		3186

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、  
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
未	441103	チタンクラスプ	日本補綴歯科学会		3195
未	441104	チタンバー	日本補綴歯科学会		3200
未	441105	義歯製作・調整時に行う発音検査	日本補綴歯科学会		3204
未	441106	O-リングアタッチメントを支台とする有床義歯治療	日本補綴歯科学会		3208
未	441107	3Dプリンティングデンチャー	日本補綴歯科学会		3212
未	441108	口蓋補綴および顎補綴に対する光学印象法	日本補綴歯科学会		3217
未	441109	総義歯製作前の治療用義歯としての複製義歯	日本補綴歯科学会		3221
未	441110	金属アレルギー患者への前歯部ジルコニアブリッジ	日本補綴歯科学会		3225
未	441111	PEEKによる大臼歯歯冠修復物	日本補綴歯科学会		3229
既	441201	顎堤吸収が高度に進行した下顎総義歯の仮床製作のためのフレンジテクニク	日本補綴歯科学会		3234
既	441202	大臼歯CAD/CAM冠(エンドクラウン)	日本補綴歯科学会		3239
既	441203	軟質材料を用いた有床義歯内面適合法の下顎多数歯欠損および遊離端欠損症例への適用拡大	日本補綴歯科学会		3243
既	441204	CAD/CAM冠の連結冠	日本補綴歯科学会		3247
既	441205	ブリッジの支台装置としての第二小臼歯レジン前装冠	日本補綴歯科学会		3252
既	444201	糖尿病罹患患者の歯科治療に係る指導管理	日本臨床歯周病学会		3257
既	445201	光学式う蝕検出検査	日本レーザー歯学会		3262
既	445202	レーザー機器加算	日本レーザー歯学会		3267
未	446101	在宅がん歯科医療総合診療料	日本老年歯科医学会		3272
未	446102	複数名訪問歯科衛生指導加算、および複数名歯科訪問診療補助加算	日本老年歯科医学会		3277
未	446104	有病高齢者対応型病院歯科診療情報連携共有料加算	日本老年歯科医学会		3286
未	446105	認知症疾患診療情報連携共有料(仮)	日本老年歯科医学会		3291

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、  
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	446201	口腔機能低下症における口腔衛生状態不良の検査	日本老年歯科医学会		3297
既	446202	総合医療管理加算(歯科疾患管理料)対象疾患の追加(筋萎縮性側索硬化症)	日本老年歯科医学会		3301
既	446203	歯科治療時医療管理料	日本老年歯科医学会		3305
既	446204	認知症専門医療機関紹介加算(診療情報提供料Ⅰ)	日本老年歯科医学会		3310
既	446205	総合医療管理加算(歯科疾患管理料)	日本老年歯科医学会		3315
既	446206	在宅患者歯科治療時医療管理料	日本老年歯科医学会		3320
既	501202	無菌製剤処置料1投与経路撤廃	日本薬学会		3332
既	501203	無菌製剤処置料1イの増点	日本薬学会		3337
既	601201	BRCA1/2遺伝子検査(血縁者診断、確定診断)	日本遺伝看護学会	280205と重複。	3346
既	601202	乳癌サーベイランス	日本遺伝看護学会	280204と重複。	3351
既	601203	卵巣癌サーベイランス(適応拡大)	日本遺伝看護学会	280206と重複。	3354
既	601204	遠隔連携遺伝カウンセリング(遺伝性腫瘍への適応)	日本遺伝看護学会		3361
既	602201	がん患者指導管理料イにおける算定回数制限の緩和	日本がん看護学会		3366
未	603101	がん患者妊孕性相談指導管理料	日本緩和医療学会		3369
既	603201	がん患者指導管理料ロ	日本緩和医療学会		3373
既	604201	在宅酸素療法指導管理料 遠隔モニタリング加算の増点と回数制限の緩和	日本在宅ケア学会		3377
未	605101	心不全患者指導管理料の新設	日本循環器看護学会		3382
既	606201	乳腺炎重症化予防ケア・指導料	日本助産学会		3387
既	607201	ストーマ処置の合併症加算	日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会	345201と重複。	3392
既	607202	病病連携による外来排尿自立指導料	日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会	345202と重複。	3397
既	608201	B001_33 生殖補助医療管理料	日本生殖看護学会		3402

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、  
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
未	609101	アドバンス・ケア・プランニング(ACP)支援管理料	日本専門看護師協議会		3407
既	610201	情報通信機器を用いた専門性の高い看護師による同行訪問:在宅患者訪問看護・指導料3の算定要件の拡大	日本創傷・オストミー・失禁管理学会		3412
既	610202	包括的排便ケア追加に伴う排尿自立支援加算・外来排尿自立指導料(既収載)算定要件拡大と「排泄自立支援加算・外来排泄自立指導料」への名称変更	日本創傷・オストミー・失禁管理学会		3417
未	611101	C101「在宅自己注射指導管理料」に「遠隔モニタリング加算」の適用を要望	日本糖尿病教育・看護学会		3421
未	612101	脳卒中再発・重症化予防指導料(仮称)	日本ニューロサイエンス看護学会		3426
未	613101	【SANE-Jによる、性暴力被害にあった子どものリプロダクティブヘルス指導管理料】	日本フォレンジック看護学会		3430
未	700101	周術期血糖管理料	日本糖尿病学会		3434
未	700102	糖尿病先進機器データ管理料	日本糖尿病学会		3439
未	701101	small dense LDLコレステロール(酵素法)	日本動脈硬化学会		3444
既	701201	超音波法によるアキレス腱厚の測定	日本動脈硬化学会		3459
既	704201	遊離メタネフリン・遊離ノルメタネフリン分画	日本内分泌学会		3476
未	705101	頭皮冷却法	日本乳癌学会		3481
既	705201	セルブロック法による病理組織標本作製および免疫染色(免疫抗体法)(乳癌の追加)	日本乳癌学会		3486
既	705202	D409-2 センチネルリンパ節生検(片側)	日本乳癌学会		3491
既	705203	遺伝性乳癌卵巣癌症候群に対するリスク低減乳房切除術(施設基準の変更)	日本乳癌学会		3496
既	705204	乳房病変に関する病理標本作製における対称器官の通則変更(両側→片側)	日本乳癌学会		3501
未	706101	ポジトロン断層撮影(アミロイドイメージング)	日本認知症学会		3506
未	706102	脳脊髄液アミロイドβアッセイ	日本認知症学会		3512
未	706104	認知症専門療養指導料	日本認知症学会		3517
未	707102	時間外緊急遠隔診療料	日本脳神経外科学会		3527
未	709101	急性期脳梗塞における灌流画像解析	日本脳卒中学会		3532

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、  
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
未	710101	外来腫瘍化学療法・症状自己記録加算	日本肺癌学会		3537
既	711201	電磁波温熱療法	日本ハイパーサーミア学会		3542
未	712101	前立腺癌監視療法指導管理料	日本泌尿器科学会		3547
未	712102	特定薬剤治療管理料対象薬として「アキシチニブ」を追加	日本泌尿器科学会		3552
未	712103	特定薬剤治療管理料対象薬として「カボザンチニブ」を追加	日本泌尿器科学会		3557
既	712201	「B001-9 外来栄養食事指導料」の再発性尿路結石への適応拡大	日本泌尿器科学会		3562
未	713101	皮膚貼付試験	日本皮膚科学会		3567
既	713201	排泄物、滲出物又は分泌物の細菌顕微鏡検査	日本皮膚科学会		3572
既	713202	リンパ球刺激試験(LST)	日本皮膚科学会		3577
未	717102	がんゲノムプロファイリング検査病理組織標本作製料	日本病理学会		3587
未	717103	国際標準病理診断管理加算	日本病理学会		3592
未	717104	病理診断デジタル化加算	日本病理学会		3597
未	717105	病理検体電子処理加算(トラッキング)	日本病理学会		3602
未	717108	がんゲノムプロファイリング検査病理組織標本加算(病理医の技術評価)	日本病理学会		3617
既	717201	組織診断料(毎回算定)	日本病理学会		3622
既	717203	迅速細胞診(検査中の場合)	日本病理学会		3632
既	717204	悪性腫瘍病理組織標本加算	日本病理学会		3637
既	717207	特殊染色病理組織標本作製加算	日本病理学会		3651
既	717209	ミスマッチ修復タンパク免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製における遺伝カウンセリング加算の算定	日本病理学会		3661
未	718101	自己記入式YALE-BROWN 強迫観念・強迫行為評価スケール(Y-BOCS)	日本不安症学会		3666
既	718201	公認心理師による認知行動療法実施料	日本不安症学会		3671

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、  
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	721202	植込型除細動器一次予防 適応基準通知	日本不整脈心電学会		3681
未	723101	ヘリコバクターピロリ菌除菌療法前の抗菌薬感受性試験	日本ヘリコバクター学会		3686
未	723102	血清ペプシノゲンによる胃炎診断と治療経過観察(ピロリ菌感染胃炎、自己免疫性胃炎を含む)	日本ヘリコバクター学会		3691
既	723201	ヘリコバクターピロリ菌感染診断で偽陽性が疑われた場合のもう一法での感染診断検査の追加	日本ヘリコバクター学会		3701
既	723202	上部消化管疾患疑い患者における非侵襲的ヘリコバクター・ピロリ感染診断	日本ヘリコバクター学会		3706
既	723203	胃がんや胃・十二指腸潰瘍の家族歴を有する若年者(40歳以下)における非侵襲的ヘリコバクター・ピロリ(ピロリ菌)検査	日本ヘリコバクター学会		3711
未	724101	即時適応放射線治療加算	日本放射線腫瘍学会		3716
未	724102	AIを利用した放射線治療の管理加算	日本放射線腫瘍学会		3722
既	724201	体外照射料の見直し	日本放射線腫瘍学会		3728
既	724202	標的移動対策加算	日本放射線腫瘍学会		3732
既	724203	IMRTの適応(「限局性固形悪性腫瘍に限る」の解釈)の明確化	日本放射線腫瘍学会		3737
既	724204	医療機器安全管理料2の密封小線源治療への拡大	日本放射線腫瘍学会		3742
既	724205	外来放射線照射診療料における医師の要件(放射線治療経験5年以上)の診察要件からの撤廃	日本放射線腫瘍学会		3747
既	724206	婦人科癌の小線源治療における放射線治療管理料の算定回数の増加	日本放射線腫瘍学会		3752
既	724207	寡分割照射法の加算の増点	日本放射線腫瘍学会		3757
既	724208	遠隔放射線治療計画の適応拡大	日本放射線腫瘍学会		3762
既	724209	外来放射線照射診療料における専門/認定看護師加算(有資格看護師配置の場合の増点)	日本放射線腫瘍学会		3767
既	724210	小児放射線治療加算の粒子線治療への適応拡大	日本放射線腫瘍学会		3772
既	724211	乳がんに対する寡分割照射法について、常勤医不在でも可、全乳房照射への限定の撤廃	日本放射線腫瘍学会		3777
既	724212	乳癌温存手術後の加速乳房部分照射	日本放射線腫瘍学会		3782
既	724213	頭頸部固定具の適応に良性疾患の追加	日本放射線腫瘍学会		3787

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、  
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	724214	強度変調放射線治療の同部位1日2回目(2時間以上の間隔)	日本放射線腫瘍学会		3792
既	724215	陽子線治療の適応拡大	日本放射線腫瘍学会		3797
既	724216	重粒子線治療の適応拡大	日本放射線腫瘍学会		3802
既	724217	IMRTの施設基準の見直し(常勤換算の見直し)	日本放射線腫瘍学会		3807
未	726102	血液製剤院内分割加算	日本輸血・細胞治療学会		3817
未	726104	輸血機能評価加算	日本輸血・細胞治療学会		3827
既	726201	輸血管理料Ⅲ	日本輸血・細胞治療学会		3832
既	726202	輸血適正使用加算:基準変更 血漿交換使用分の新鮮凍結血漿全量の除外	日本輸血・細胞治療学会		3837
既	728201	多発血管炎性肉芽腫症および顕微鏡的多発血管炎に対するリツキシマブの外来化学療法加算	日本リウマチ学会		3842
既	728202	全身性エリテマトーデス(SLE)疑いの患者での抗核抗体と抗DNA抗体の同時測定	日本リウマチ学会		3847
既	728203	関節リウマチ治療における生物学的製剤・JAK阻害薬に変更時の抗シトルリン化ペプチド(GCP)抗体定性、定量測定	日本リウマチ学会		3852
既	728204	成人発症スティル病に対するアクテムラ点滴療法の外来化学療法算定	日本リウマチ学会		3857
既	728205	全身性エリテマトーデスに対するアニフロルマブの外来化学療法加算	日本リウマチ学会		3862
既	729201	リハビリテーション総合計画評価料における運動量増加機器加算	日本リハビリテーション医学会		3867
既	729202	がん患者リハビリテーション料	日本リハビリテーション医学会		3872
既	729203	神経ブロック(ボツリヌス毒素使用)	日本リハビリテーション医学会		3877
既	729204	重心動揺計による検査の適応拡大	日本リハビリテーション医学会		3882
既	730201	血清セレン測定(検査 D007 血液化学検査)	日本臨床栄養学会		3887
未	731101	凝固因子(第Ⅷ因子、第Ⅸ因子)(合成基質法)	日本臨床検査医学会		3892
既	731201	細菌培養同定検査(口腔・気道又は呼吸器からの検体)	日本臨床検査医学会		3897
既	731202	ABO血液型	日本臨床検査医学会		3902

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、  
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	731203	血液採取・静脈	日本臨床検査医学会		3907
既	731204	排泄物、滲出物又は分泌物の細菌顕微鏡検査(その他のもの)	日本臨床検査医学会		3912
既	731205	細菌培養同定検査(消化管からの検体)	日本臨床検査医学会		3917
既	731206	細菌培養同定検査(血液および穿刺液)	日本臨床検査医学会		3922
既	731207	細菌培養同定検査(泌尿器又は生殖器からの検体)	日本臨床検査医学会		3927
既	731208	細菌培養同定検査(その他の部位からの検体)	日本臨床検査医学会		3932
既	731209	細菌薬剤感受性検査 1菌種	日本臨床検査医学会		3936
既	731210	細菌薬剤感受性検査 2菌種	日本臨床検査医学会		3941
既	731211	細菌薬剤感受性検査 3菌種以上	日本臨床検査医学会		3946
既	731212	Rh(D)血液型	日本臨床検査医学会		3951
既	731213	Rh(その他因子)血液型	日本臨床検査医学会		3956
既	731214	不規則抗体	日本臨床検査医学会		3961
既	731215	迅速微生物核酸同定・定量検査加算	日本臨床検査医学会		3966
既	731216	ヘモグロビンA1cの分類見直し	日本臨床検査医学会		3971
既	731217	2, 5-オリゴアデニル酸合成酵素活性	日本臨床検査医学会		3976
既	731218	セクレチン	日本臨床検査医学会		3981
既	731219	癌関連ガラクトース転移酵素(GAT)	日本臨床検査医学会		3986
既	731220	細菌核酸検出(白血球)(1菌種あたり)	日本臨床検査医学会		3991
既	732201	血小板凝集能	日本臨床検査専門医会		3996
既	732202	国際標準検査管理加算	日本臨床検査専門医会		4001
既	732203	末梢血液像(鏡検法)・特殊染色加算	日本臨床検査専門医会		4006

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、  
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	732204	骨髄像・特殊染色加算	日本臨床検査専門医会		4011
既	732205	蛋白分画	日本臨床検査専門医会		4016
既	732206	診療情報提供料(Ⅰ)・検査・画像情報提供加算	日本臨床検査専門医会		4021
未	733101	婦人科子宮頸部細胞診機械判定加算	日本臨床細胞学会		4026
既	733201	婦人科細胞診への細胞診断料の付与	日本臨床細胞学会		4031
既	733202	体腔液(胸水、腹水、髄液)細胞診での免疫染色病理標本作成	日本臨床細胞学会		4036
既	733203	乳癌、甲状腺癌への迅速細胞診(検査中の場合)の適応拡大	日本臨床細胞学会		4041
既	733204	液状化検体細胞診加算の見直し	日本臨床細胞学会		4046
未	734101	特定薬剤治療管理料対象薬として「フルオロウラシル(5-FU)注射液」を追加	日本臨床腫瘍学会		4051
既	734201	がんゲノムプロファイリング検査	日本臨床腫瘍学会		4057
既	734202	外来腫瘍化学療法診療料の注1に規定する厚生労働大臣が定める外来化学療法の追加	日本臨床腫瘍学会		4063
既	734203	G-CSF製剤自己注射	日本臨床腫瘍学会		4068
既	734204	情報通信機器を用いた診療(いわゆる「遠隔診療」)について	日本臨床腫瘍学会		4073
未	735101	皮膚コンダクタンス計測	日本臨床神経生理学会		4078
未	735102	ICU脳波モニタリング	日本臨床神経生理学会		4084
未	735103	筋電図検査判断料1, 2	日本臨床神経生理学会		4089
既	735201	超音波検査 断層撮影法	日本臨床神経生理学会		4094
未	737101	ロコモ・フレイル指導管理料	日本臨床整形外科学会		4104
既	737201	運動量増加機器加算の適応拡大	日本臨床整形外科学会		4109
既	737202	二次性骨折予防継続管理料1:算定施設要件の緩和	日本臨床整形外科学会		4114
既	737203	運動器リハビリテーション急性増悪の定義の変更	日本臨床整形外科学会		4119

1-① 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出された技術のうち、  
医療技術評価分科会における評価の対象となるもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	737205	運動器リハビリテーション起算日の変更	日本臨床整形外科学会		4129
既	738201	処方箋料	日本臨床内科医会		4134
既	738202	処方料	日本臨床内科医会		4139
未	739101	真菌培養	日本臨床微生物学会		4154
未	739102	細菌培養同定検査 血液 直接感受性試験	日本臨床微生物学会		4159
未	739103	ウイルス・細菌・寄生虫核酸多項目同時検出(糞便)	日本臨床微生物学会		4164
既	739201	マイコバクテリウム・アピウム及びイントラセラー(MAC)核酸検出	日本臨床微生物学会		4169
未	741101	認知機能・生活機能質問票(DASC-8)を用いた高齢者糖尿病管理目標値の設定と管理	日本老年医学会		4174
未	741102	ABC認知症スケール	日本老年医学会		4179

1-①-i 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出があった技術のうち、  
先進医療会議において科学的根拠等に基づく評価が行われる予定の技術に係るもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	先進医療としての 現時点での取扱い			
				告示番号(※)		先進医療技術名	提案書の ページ
未	324101	子宮悪性腫瘍手術(広汎切除)(ロボット支援)	日本産科婦人科学会	B	②	内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下 広汎子宮全摘術	1832
未	336101	腹腔鏡下膀胱尿管逆流手術(膀胱外アプローチ)	日本小児泌尿器科学会	A	6	腹腔鏡下膀胱尿管逆流防止術	2086
未	369101	スリーブ状胃切除・バイパス術(腹腔鏡下)	日本肥満症治療学会	A	14	腹腔鏡下スリーブ状胃切除術及び十二指腸 空腸バイパス術	2633
既	724215	陽子線治療の適応拡大	日本放射線腫瘍学会	A	2	陽子線治療	3797
既	724216	重粒子線治療の適応拡大	日本放射線腫瘍学会	A	3	重粒子線治療	3802
既	734201	がんゲノムプロファイリング検査	日本臨床腫瘍学会	B	④	マルチプレックス遺伝子パネル検査	4057

※ 丸囲み数字の場合は、整理番号を示す。

1-② 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出のあった技術のうち、  
医療技術評価分科会における評価の対象にならないもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
未	202103	アルコール脱水素酵素1B(ADH1B)とアルデヒド脱水素酵素2(ALDH2)の遺伝子多型検査	日本アルコール・アディクション医学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	21
未	204102	ネットワーク型画像管理加算	日本医学放射線学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	47
既	204202	画像診断管理加算2 休日又は夜間緊急読影 算定要件の拡大	日本医学放射線学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	62
未	207101	アスペルギルス抗体IgG	日本医真菌学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	92
既	208202	遺伝カウンセリングの医学的管理区分への変更	日本遺伝カウンセリング学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	107
未	209101	がんゲノム医療における遺伝学的検査によって2次的所見が見つかった患者の血縁者に対する遺伝カウンセリング	日本遺伝子診療学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	112
未	209102	遺伝性疾患患者の血縁者に対する遺伝カウンセリング	日本遺伝子診療学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	117
既	209202	難聴の遺伝学的検査	日本遺伝子診療学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	127
既	210203	再診時、他医で撮影したMRI、CT読影料の算定	日本運動器科学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	142
既	210206	運動器リハビリテーション：施設基準の緩和	日本運動器科学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	157
未	215103	M000-2 放射性同位元素内用療法管理料 神経芽腫に対するもの	日本核医学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	177
既	215201	「E101-2 ポジトロン断層撮影」及び「E101-3 ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影」 不明熱診断	日本核医学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	183
既	215204	PET検査、PET/CT検査、PET/MRI検査の画像検査技術(院内製造がないPET診断薬の場合)	日本核医学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	198
既	217201	微生物核酸同定・定量検査 2 クラミジア・トラコマチス核酸検出、3 淋菌核酸検出、5 淋菌及びクラミジア・トラコマチス同時核酸検出	日本眼科学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	235
未	225102	トキソプラズマ症遺伝子診断検査	日本血液学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	306
未	228102	随時尿ナトリウム、クレアチニン測定に基づく推定1日食塩摂取量を指標とした減塩指導	日本高血圧学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	336
既	230204	特発性肺線維症の急性増悪に対する吸着式血液浄化法	日本呼吸器学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	378
既	230206	在宅酸素療法中の火災時酸素供給遮断装置加算	日本呼吸器学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	389
未	232102	在宅医療機器点検指導料	日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	405
未	235102	学校・保育園・幼稚園でのカンファレンス	日本在宅医療連合学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	445

1-② 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出のあった技術のうち、  
医療技術評価分科会における評価の対象にならないもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	235201	看取り介護加算(Ⅱ)と在宅患者訪問診療料の看取り加算の併算定の制限撤廃	日本在宅医療連合学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	470
既	235202	在宅時医学総合管理料における単一建物診療患者に関する除外要件の追加	日本在宅医療連合学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	475
既	235203	施設入居時医学総合管理料における単一建物診療患者に関する除外要件の追加	日本在宅医療連合学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	480
既	235204	在宅患者緊急時等カンファレンス料	日本在宅医療連合学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	485
未	239102	児童相談所等連携指導料	日本児童青年精神医学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	548
未	239103	通院・在宅精神療法 児童思春期共同指導加算	日本児童青年精神医学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	553
未	249101	要支援児童・慢性疾患等地域連携指導料	日本小児科医会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	691
既	249201	小児科外来診療料	日本小児科医会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	696
既	249202	小児科かかりつけ診療料	日本小児科医会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	701
既	250202	在宅患者共同診療料	日本小児科学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	716
既	250204	在宅がん医療総合診療料(小児加算)	日本小児科学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	726
未	251101	殺菌能検査	日本小児感染症学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	731
既	253203	がんゲノムプロファイリング検査	日本小児血液・がん学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	751
未	254102	PHOX2B遺伝子検査	日本小児呼吸器学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	762
既	257201	診療情報提供料(1)	日本小児心身医学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	797
既	258202	腎代替療法指導管理料	日本小児腎臓病学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	807
既	259201	脳血管疾患等リハビリテーション料	日本小児精神神経学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	822
未	280101	リンチ症候群診断目的の遺伝学的検査	日本人類遺伝学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	1024
未	280102	多遺伝子パネル検査	日本人類遺伝学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	1029
既	280201	遺伝学的検査(遺伝性腫瘍)	日本人類遺伝学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	1034

1-② 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出のあった技術のうち、  
医療技術評価分科会における評価の対象にならないもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
既	280202	遺伝学的検査の適用拡大(難病領域)	日本人類遺伝学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	1039
未	287103	認知症患者栄養マネジメント料	日本精神科病院協会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1164
既	287202	権利擁護支援管理料	日本精神科病院協会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1174
未	288102	抗NMDA受容体抗体測定	日本精神神経学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	1215
未	294102	造血幹細胞移植後キメリズム解析 PCR法	日本造血・免疫細胞療法学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	1287
未	298101	てんかん紹介料連携加算	日本てんかん学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1317
既	306203	体外衝撃波疼痛治療術(集束型)の腱付着部症への適応拡大	日本運動器科学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	1439
既	310201	短期滞在手術等基本料3の増点	日本眼科医会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1499
既	310202	短期滞在手術等基本料3における片眼、両眼の区別	日本眼科医会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1504
既	310204	短期滞在手術等基本料3の改正	日本眼科医会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1514
既	310205	短期滞在手術等基本料3と無関係な検査の承認	日本眼科医会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1519
既	311202	視能訓練 ロービジョン視能訓練	日本眼科学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1539
既	311204	眼瞼下垂筋前転法の短期滞在手術基本料の算定	日本眼科学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1549
未	314105	病院救急自動車搬送料	日本救急医学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	1606
未	322101	胸腔内視鏡検査(凍結生検法)	日本呼吸器内視鏡学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	1782
未	322102	気管支鏡下術前肺マーキング	日本呼吸器内視鏡学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	1787
未	335102	胎便関連イレウスに対する注腸療法	日本小児外科学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	2067
既	335202	肝芽腫の肺転移切除に対する術中血管等描出撮影加算の適応拡大	日本小児外科学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	2075
既	337201	静脈圧迫処置および療養費支給	日本静脈学会	制度や指導管理、基本診療料等に関する提案。	2111
未	338102	褥瘡電気刺激療法管理料	日本褥瘡学会	使用する医薬品・医療機器等の承認が確認できない。	2126

1-② 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出のあった技術のうち、  
医療技術評価分科会における評価の対象にならないもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
未	338103	重度褥瘡栄養療法指導管理料	日本褥瘡学会	制度や指導管理、 基本診療料等に関 する提案。	2131
未	348101	体外衝撃波治療(骨折後偽関節に対する治療)	日本整形外科スポーツ医学会	使用する医薬品・医 療機器等の承認が 確認できない。	2256
未	348102	体外衝撃波治療(疲労骨折に対する治療)	日本整形外科スポーツ医学会	使用する医薬品・医 療機器等の承認が 確認できない。	2260
既	352203	短期滞在手術等基本料の適応拡大	日本大腸肛門病学会	制度や指導管理、 基本診療料等に関 する提案。	2365
既	362201	局所陰圧閉鎖処置(入院)	日本熱傷学会	使用する医薬品・医 療機器等の承認が 確認できない。	2499
未	365104	ハンナ型間質性膀胱炎の食事指導	日本排尿機能学会	制度や指導管理、 基本診療料等に関 する提案。	2547
既	368205	全身温熱性発汗試験	日本皮膚科学会	使用する医薬品・医 療機器等の承認が 確認できない。	2624
未	369102	減量・代謝改善手術周術期管理加算	日本肥満症治療学会	制度や指導管理、 基本診療料等に関 する提案。	2638
既	380201	SSIハイリスク群閉頭加算	日本臨床脳神経外科学会	使用する医薬品・医 療機器等の承認が 確認できない。	2827
未	382101	IGGによる近赤外線リンパ管・リンパ節造影	日本リンパ浮腫治療学会	使用する医薬品・医 療機器等の承認が 確認できない。	2841
未	407101	上顎骨形成術ならびに下顎骨形成術におけるCAD/CAMサージカルガイド プレート	日本顎変形症学会	使用する医薬品・医 療機器等の承認が 確認できない。	2921
未	427103	う蝕リスク検査	日本歯科保存学会	使用する医薬品・医 療機器等の承認が 確認できない。	3053
未	433101	ノズルを用いた接着性シーラーによる根管充填法	日本歯内療法学会	使用する医薬品・医 療機器等の承認が 確認できない。	3106
未	441102	前歯部に対する固定性暫間補綴装置	日本補綴歯科学会	使用する医薬品・医 療機器等の承認が 確認できない。	3191
未	446103	歯科オンライン診療	日本老年歯科医学会	制度や指導管理、 基本診療料等に関 する提案。	3282
既	446207	歯科疾患管理料 総合医療管理加算の適用拡大	日本老年歯科医学会	制度や指導管理、 基本診療料等に関 する提案。	3324
未	501101	救急外来薬剤業務管理料	日本薬学会	制度や指導管理、 基本診療料等に関 する提案。	3328
既	502201	特定薬剤治療管理料 ロ「特定薬剤治療管理料2」	日本薬学会	使用する医薬品・医 療機器等の承認が 確認できない。	3342
未	701102	ステロール分画	日本動脈硬化学会	使用する医薬品・医 療機器等の承認が 確認できない。	3449
未	701103	アポリポ蛋白B-48測定(化学発光酵素免疫測定法)	日本動脈硬化学会	使用する医薬品・医 療機器等の承認が 確認できない。	3454

1-② 学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出のあった技術のうち、  
医療技術評価分科会における評価の対象にならないもの

未・既 区分	整理番号	申請技術名	申請団体名	備考	提案書の ページ
未	703101	注射処方料	日本内科学会	制度や指導管理、 基本診療料等に関 する提案。	3464
未	703102	人工呼吸器装着時意思決定支援管理料	日本内科学会	制度や指導管理、 基本診療料等に関 する提案。	3470
未	707101	悪性腫瘍組織検査 IDH1/2遺伝子変異	日本脳神経外科学会	使用する医薬品・医 療機器等の承認が 確認できない。	3522
未	717101	悪性腫瘍遺伝子病理組織標本加算	日本病理学会	使用する医薬品・医 療機器等の承認が 確認できない。	3582
未	717106	DNAメチル化プロファイル病理組織標本作製	日本病理学会	使用する医薬品・医 療機器等の承認が 確認できない。	3607
未	717107	病理診断管理加算3(人工知能AIプログラムによる病理診断支援加算)	日本病理学会	使用する医薬品・医 療機器等の承認が 確認できない。	3612
既	717202	施設基準通知 第84の3 100分の80の規制緩和	日本病理学会	制度や指導管理、 基本診療料等に関 する提案。	3627
既	717205	ミスマッチ修復タンパク免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製	日本病理学会	使用する医薬品・医 療機器等の承認が 確認できない。	3642
既	717206	迅速細胞診(手術中の場合)	日本病理学会	制度や指導管理、 基本診療料等に関 する提案。	3646
既	717208	連携病理診断の体制強化 第84の3 施設基準の見直し	日本病理学会	制度や指導管理、 基本診療料等に関 する提案。	3656
既	721201	遺伝学的検査のカテコラミン誘発多形性心室頻拍(CPVT)、ブルガダ症候 群(BrS)、不整脈原性右室心筋症・不整脈原性心筋症(ARVC・ACM)への適 応拡大	日本不整脈心電学会	使用する医薬品・医 療機器等の承認が 確認できない。	3676
未	723103	自己免疫性胃炎診断における抗壁細胞抗体検査	日本ヘリコバクター学会	使用する医薬品・医 療機器等の承認が 確認できない。	3696
未	726101	CD34陽性細胞測定	日本輸血・細胞治療学会	使用する医薬品・医 療機器等の承認が 確認できない。	3812
未	726103	輸血関連情報提供料	日本輸血・細胞治療学会	制度や指導管理、 基本診療料等に関 する提案。	3822
未	736101	血漿および尿中BKV-DNA定量検査	日本臨床腎移植学会	使用する医薬品・医 療機器等の承認が 確認できない。	4099
既	737204	運動器リハビリ:(I)の点数の適正評価	日本臨床整形外科学会	制度や指導管理、 基本診療料等に関 する提案。	4124
既	738203	在宅時医学総合管理料における処方箋を交付しない場合の加算	日本臨床内科医会	制度や指導管理、 基本診療料等に関 する提案。	4144
既	738204	入院患者に対する診療情報提供料	日本臨床内科医会	制度や指導管理、 基本診療料等に関 する提案。	4149

## 2 先進医療会議において科学的根拠等に基づく評価が行われる予定の技術

先進医療における現時点の取扱い		
告示番号(※)	申請技術名	
A	2	陽子線治療
A	3	重粒子線治療
A	4	抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子検査
A	5	家族性アルツハイマー病の遺伝子診断
A	6	腹腔鏡下膀胱尿管逆流防止術
A	9	ウイルスに起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断(PCR法)
A	10	細菌又は真菌に起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断(PCR法)
A	11	多項目迅速ウイルスPCR法によるウイルス感染症の早期診断
A	12	CYP2D6遺伝子多型検査
A	13	糖鎖ナノテクノロジーを用いた高感度ウイルス検査
A	14	腹腔鏡下スリーブ状胃切除術及び十二指腸空腸バイパス術
A	15	血中TARC濃度の迅速測定
A	16	細胞診検体を用いた遺伝子検査
A	17	内視鏡的憩室隔壁切開術
A	18	内視鏡的胃局所切除術
A	19	子宮内膜刺激術
A	20	タイムラプス撮像法による受精卵・胚培養
A	21	子宮内膜擦過術
A	22	ヒアルロン酸を用いた生理学的精子選択術
A	23	子宮内膜受容能検査1
A	24	子宮内細菌叢検査1
A	25	強拡大顕微鏡を用いた形態学的精子選択術
A	26	二段階胚移植術
A	27	子宮内細菌叢検査2
A	28	子宮内膜受容能検査2
A	29	流死産検体を用いた遺伝子検査
A	30	膜構造を用いた生理学的精子選択術
B	①	NKT細胞を用いた免疫療法
B	②	内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下広汎子宮全摘術
B	③	自家嗅粘膜移植による脊髄再生治療
B	④	マルチプレックス遺伝子パネル検査
B	⑤	骨髄由来間葉系細胞による顎骨再生療法
B	⑥	遺伝子パネル検査による遺伝性網膜ジストロフィーの遺伝子診断

※ 丸囲み数字の場合は、整理番号を示す。

### 3 保険医療材料等専門組織において審議を行った医療技術

申請技術名	申請団体名	共同作成学会	備考	提案書のページ
インフルエンザ核酸検出(迅速)	東ソー株式会社	日本感染症学会 日本臨床微生物学会	3-①に該当	4184
在宅難治性疼痛指導管理料	株式会社P・マインド	日本線維筋痛症・慢性痛学会	3-①に該当	4188
プログラム医療機器を用いた不眠障害に対する認知行動療法	サスマド株式会社	日本睡眠学会	3-①に該当	4194
大腸内視鏡検査における大腸上皮性病変の検出支援技術	サイバネットシステム株式会社	—	3-②に該当	4200

#### 3-①

保険医療材料等専門組織において審議を行った医療技術のうち、医療技術評価分科会での審議が必要とされた医療技術

#### 3-②

保険医療材料等専門組織において審議を行った医療技術のうち、技術料に一体として包括して評価される医療機器についてのチャレンジ申請により、保険医療材料等専門組織において技術料の見直しを行うことが適当とされた医療技術